

**コンゴ民主共和国  
国立職業訓練校  
指導員能力強化プロジェクト  
中間レビュー調査報告書**

平成 25 年 1 月  
( 2013 年 )

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

人間
J R
13-057

**コンゴ民主共和国  
国立職業訓練校  
指導員能力強化プロジェクト  
中間レビュー調査報告書**

平成 25 年 1 月  
( 2013 年 )

**独立行政法人国際協力機構  
人間開発部**

# 目 次

目 次  
地 図  
写 真  
略語表

中間レビュー調査評価結果要約表

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査日程	2
1-3 調査団構成	3
1-4 主要面談者	3
第2章 プロジェクトの概要	5
2-1 基本計画	5
2-2 職業訓練プログラムにおける位置づけ	5
2-3 実施体制	6
第3章 評価の方法	7
3-1 評価の手法	7
3-2 主な調査項目とデータ収集方法	7
3-3 合同レビュー調査	8
第4章 プロジェクトの実績と実施プロセス	9
4-1 投入実績	9
4-2 活動実績	11
4-3 成果の達成状況	14
4-4 プロジェクト目標の達成状況	16
4-5 上位目標の達成見込み	16
4-6 実施プロセス	17
第5章 評価結果	19
5-1 評価5項目による評価結果	19
5-2 貢献要因と阻害要因の検証	24
5-3 プロジェクト計画修正の要否	24
5-4 結論	24
第6章 プロジェクトへの提言	25

付属資料

1. 協議議事録 (M/M) .....	29
2. 評価グリッド (英・仏) .....	116
3. カウンターパートリスト .....	122
4. INPPによるプロジェクト進捗報告資料 .....	123

地 図



INPP 本部及び INPP キンシャサ校

写 真



INPP キンシャサ校入口



INPP キンシャサ校改修工事の様子



トロンコマン研修



指導技法研修



プロジェクト評価協議



ミニッツ署名

## 略語表

略語	正式名称（仏語・英語）	日本語
ANEP	Association Nationale des Entreprises du Portefeuille (英) National Enterprise and Professional Association	コンゴ公営企業連盟
BTC-CTB	Belgian Technical Cooperation	ベルギー技術協力機構
CFPT	Centre de Formation Professionnelle et Technique Senegal/Japon (英) Senegal-Japan Vocational and Technical Training Center	日本・セネガル職業訓練センター
C/P	Counterpart	カウンターパート
CUDBAS	Curriculum Development Method Based on Ability Structure	カリキュラム作成手法
DSCR2	Document de Stratège de Croissance et de Réduction de la Pauvreté : deuxième génération	第2次貧困削減戦略文書
FEC	Fédération des Entreprises du Congo (英) Congo Enterprise Federation	コンゴ民間企業連盟
INPP	Institut National de Préparation Professionnelle (英) National Institute of Preparation Professional	国立職業訓練校
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリ ックス
R/D	Record of Discussions	討議議事録
TVET	Technical and Vocational Education and Training	産業技術教育・職業訓練
WG	Working Group	ワーキング・グループ

## 中間レビュー調査評価結果要約表

<b>1. 案件の概要</b>	
国名：コンゴ民主共和国	案件名：国立職業訓練校指導員能力強化プロジェクト
分野：職業訓練	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部	協力金額（評価時点）：5.5億円
協力期間 (R/D)	2011年1月～2013年12月 (3年間)
	先方関係機関：国立職業訓練校（INPP） 日本側協力機関：厚生労働省
<b>1 - 1 協力の背景と概要</b>	
<p>コンゴ民主共和国（以下、「コンゴ民」と記す）の首都キンシャサ校に本部を置く国立職業訓練校（Institut National de Préparation Professionnelle：INPP）は、コンゴ民の労働力強化を目的に設置され、経済発展のための重要な政策である雇用・労働の改善に向けた産業人材の育成に資するコンゴ民最大規模の職業訓練機関である。日本は1980年代にINPPへ専門家派遣と機材供与を組み合わせた協力を実施していたが、内戦の影響により現在は、指導員の能力不足や高齢化、機材や施設の老朽化、収容量の限界など、さまざまな問題を抱えている。このような状況に基づき、コンゴ民政府は日本政府に対してINPPの訓練実施能力強化を目的とする協力の要請をした。この要請に対し、日本政府は支援を行うことに合意し、国際協力機構（JICA）は①指導員の指導技術強化を目的とする技術協力プロジェクト、②INPPキンシャサ校の施設・機材の整備を行う無償資金協力、③INPP本部の能力強化を目的とした個別専門家派遣を組み合わせた「職業訓練プログラム」としての包括的な協力を実施することとなった。本プロジェクトは、①のINPPをカウンターパート（Counterpart：C/P）機関として指導員の能力強化を中心とする活動を進めている。</p>	
<b>1 - 2 協力内容</b>	
(1) 上位目標	
INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心に質の高い訓練が提供される。	
(2) プロジェクト目標	
INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心とした指導員の訓練指導技術が向上する。	
(3) 成果	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎共通研修の実施体制が強化される。</li> <li>2. 専門技術研修の実施体制が強化される。</li> <li>3. 指導法研修の実施体制が強化される。</li> </ol>	
(4) 投入（中間レビュー時点）	
【日本側】	
専門家派遣：7職種9名（日本人専門家）、4職種3名（セネガル人） ローカルコスト負担：1,893万400円（23万1,135.00アメリカドル） 本邦研修：冷凍・空調学科2回、自動車学科1回 第三国研修：基礎共通研修（機械学科2回、電気・電子学科2回）	
【コンゴ民側】	
人員配置：活動に基づく各種委員会、5つのワーキング・グループ（Working Group：WG）の設置など	



ローカルコスト負担：1,859万8,100円（2億2,133万8,974.00コンゴフラン）  
 その他：専門家執務室、研修施設、消耗品、光熱費、  
 研修参加者のキンシャサ内の交通費・日当・宿泊費など

## 2．評価調査団の概要

調査者	担当分野	氏名	所属
	総括	米崎 英朗	JICAコンゴ民主共和国事務所所長
	協力企画	櫛田 眞美	JICA人間開発部 社会保障課 主任調査役
	評価分析	三谷 絹子	アイ・シー・ネット株式会社 コンサルタント
調査期間	2012年11月2日～22日		評価種類：中間レビュー調査

## 3．評価結果の概要

### 3 - 1 実績の確認

#### (1) 成果の達成状況

指標		進捗状況
<b>成果1</b>		
1-1	各年度において基礎共通研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	基礎研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、研修は計画どおり実施中。
1-2	基礎共通研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	コア・トレーナーの研修に満足する結果は、83%となった。
1-3	基礎共通研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	基礎共通研修の指導案・教材が作成された。中間レビュー調査時までには評価結果に沿って、研修時間数が見直され、7時間追加された。
<b>成果2</b>		
2-1	各年度において専門技術研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門技術研修（冷凍・空調）の本邦研修、本邦研修に基づく伝達研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。計画どおり研修が実施されている。</li> <li>専門技術研修（自動車）の本邦研修と専門家による研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。研修は計画どおり実施中。</li> </ul>
2-2	専門技術研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍・空調技術の伝達研修に関する指標1-2を満足する結果は、78%となった。</li> <li>専門家による自動車技術研修に関する指標1-2を満足する結果は、100%となった。</li> </ul>
2-3	専門技術研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	冷凍・空調技術に関する伝達研修の指導案・教材が作成された。本邦研修を伝達する研修のため、見直しは行っていない。今後、標準カリキュラムを基に普及研修を実施していく時点で、その結果を基に見直しをしていく。
<b>成果3</b>		
3-1	各年度において指導技法研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	専門家による指導技法計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。計画に沿って研修は実施中。普及研修の標準カリキュラム、実施計画が策定された。計画に沿って研修は実施中。
3-2	指導技法研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	専門家による指導技法研修を受講した指導員研修に関する指標1-2を満足する結果は、100%となった。第1回の普及研修は2012年10月29日から11月16日まで実施した。
3-3	指導技法研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	指導技法に関する普及研修の指導案・教材が作成された。普及研修は実施中。見直しは研修実施後となる。

## (2) プロジェクト目標の達成状況

本プロジェクトの目標は、「INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心とした指導員の訓練指導技術が向上する」ことである。プロジェクト目標の達成度を測るための指標は、プロジェクト終了間近に定量的データが収集できるデザインになっている。そのため、中間レビュー調査時には、正確にプロジェクト目標の達成度を測ることは時期早尚である。

## (3) 上位目標の達成状況

中間レビュー調査時においては大きな進捗は確認できなかった。しかしながら、本プロジェクトで確立・強化される実施体制モデルをINPPキンシャサ校以外で展開する想定は、プロジェクト目標と上位目標の因果関係を明らかにしている。上位目標は通常プロジェクト終了時から3年から5年後に達成が期待される目標であるため、今回の中間レビュー調査時に達成度が確認されなかったことは想定内である。

### 3 - 2 評価結果の要約

#### (1) 妥当性

本プロジェクトの妥当性は事前評価時と同様に依然として高い。その要因は、プロジェクトの目標と期待される成果が、コンゴ民政府の政策、日本政府の対コンゴ民主共和国別援助計画と合致しているからである。

#### (2) 有効性

本プロジェクトは、成果2と3の達成に向けた活動の進捗がやや遅れぎみである。しかしながら、プロジェクトチーム（専門家及びC/P）は、この遅延は残りの活動期間内に挽回可能であると示しているため、終了までにプロジェクト目標を達成させる見込みが高いことから、有効性はやや高いと判断できる。プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）バージョン2に示された3つの成果は、プロジェクト目標を達成する手段として妥当である。

#### (3) 効率性

両国から当初の計画どおりの投入がなされており、本邦研修、第三国研修（セネガル）の実施結果も、その後の活動に有効に活用されている。よって、プロジェクトの効率性はある程度高いと判断できる。

#### (4) インパクト

本邦研修と第三国研修、コンゴ民におけるコア・トレーナー能力強化研修を通じて、研修の質が改善されてきている。他方で全国のINPPの能力強化・質の向上に向けては、施設・資機材整備などにかかる財政面での不安要素が指摘された。よって、上位目標の達成に向けた取り組みには検討・改善の余地がある。よって、インパクトは中程度である。

#### (5) 持続性

本プロジェクトの持続性は、(1) 組織・制度面、(2) 財政面、(3) 技術面から評価し、やや高いと判断できる。組織・制度的観点からは、労働法と第2次貧困削減戦略文書〔Document de Stratège de Croissance et de Réduction de la Pauvreté:deuxième génération : DSCR2 (2011－2015)〕にて、INPPにおける職業訓練の重要性が言及されている。財政的観点では、今後のINPP全校への取り組みについては、その計画が定義されていないことから、その見込みを判断することは困難である。技術的観点からは、本プロジェクトを通じた技術移転による

能力強化は確認されていることから、プロジェクト修了後においても同様な持続的活動が期待できる。

### 3 - 3 効果発現に貢献した要因

- コンゴ民間企業連盟（Fédération des Entreprises du Congo : FEC）とコンゴ公営企業連盟（Association Nationale des Entreprises du Portefeuille : ANEP）がINPPにもっている組織イメージが改善されて、信頼の回復に寄与していること。
- 対コンゴ民職業訓練分野では、日本を含む開発パートナーからの支援が前進していること。
- INPPキンシャサ校に、訓練生の訓練修了後の就職率・就職先などのモニタリングやフォローアップを担う部署が設置されたこと。
- INPP本部は、今後の更なる訓練生受入れの増加を見込み、新規指導員の採用を検討していること。

### 3 - 4 問題点及び問題を惹起した要因

- INPPが所有する研修に必要な資機材が量的に不十分であること。
- INPPが独自でINPP訓練校の施設整備・改修を実施するための資金が不足していること。

### 3 - 5 結論

プロジェクトはコンゴ民の必要性に基づいて当初計画の活動がほぼ予定どおり実施されていた。具体的には、コア・トレーナーの能力開発、研修実施計画と教材の開発などが挙げられる。コンゴ民側プロジェクトメンバーのプロジェクト目標の達成に向けた意識は高く、コンゴ民側が主体的に活動を実施している傾向があると判断できる。評価調査団は、プロジェクト目標は計画どおり達成される見込みがあると評する。

### 3 - 6 提言

- 研修の質の担保に向けた措置  
研修に集中できる環境づくり、研修結果に基づく指導員の能力評価体制の整備
- 機材リストの早期整備  
本プロジェクト機材台帳の整備を通じた全国展開へ向けた機材インベントリーの作成
- 専科（本邦）研修の改善  
コンゴ民側のニーズを反映させるための本邦研修内容の更なる充実化・有効化
- 指導員普及研修の体制整備と適切な実施  
全国の指導員へ向けた研修のオペレーショナルな計画整備と適切な実施
- 関係機関間の協働体制強化  
意思決定レベルのINPP本部と実施レベルのINPPキンシャサ校との更なる連携と確実な協働体制の構築
- 研修実施マニュアルの早期整備  
研修実施プロセスの確実化と質の担保へ向けた研修サイクルマニュアルの作成と活用
- INPP訓練校の全国整備へ向けた計画  
本プロジェクトの成果を活用して全国のINPP訓練校の能力強化へ向け、INPP側の中期計画の策定にあたる地方各校の現状を踏まえた計画。

## 第1章 中間レビュー調査の概要

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

コンゴ民主共和国（以下、「コンゴ民」と記す）の首都キンシャサ市に本部を置く「国立職業訓練校（Institute National de Préparation Professionnelle : INPP）」は、コンゴ民の労働力強化を目的に設立され、経済発展のための重要な政策である「雇用・労働の改善」に向けた産業人材の育成に資するコンゴ民最大規模の職業訓練機関である。わが国も1980年代にINPPに対する専門家派遣と機材供与を組み合わせた協力を実施していたが、1991年以降に激化した内戦の影響により、現在は、指導員の能力不足や高齢化、機材や施設の老朽化、収容キャパシティの限界などさまざまな問題を抱えている。

このような状況においてコンゴ民は、わが国にINPPの訓練実施能力強化を目的とする協力を要請し、国際協力機構（JICA）は①指導員の指導技術強化を目的とする技術協力プロジェクト、②INPPキンシャサ校の施設・機材の整備を行う無償資金協力、③INPP本部の能力強化を目的とした個別専門家派遣を組み合わせた「職業訓練プログラム」としての包括的な協力を実施することとなった。

上記①にあたる「国立職業訓練校指導員能力強化プロジェクト」は、INPPをカウンターパート（Counterpart : C/P）機関として、2011年1月から2013年12月までの3年間の予定で実施しており、現在、8名から成るコンサルタントチーム（総括、訓練計画、研修・企画管理、訓練運営管理、指導技法、ベースライン調査Ⅰ、同Ⅱ、及び業務調整/訓練計画補助）と自動車整備訓練専門家（1名）が派遣され、活動を進めている。

今回の中間レビュー調査は、C/Pと合同で本プロジェクトの目標達成度や成果などを分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、合同評価報告書に取りまとめ、合意することを目的に実施された。

## 1-2 調査日程

現地調査は、2012年11月2日から11月22日までの期間で実施された。

調査日程の概要は以下のとおりである。

		団長 Leader	協力企画 Cooperation Planning	評価分析 Evaluation Analysis
2012/10/30	tue			Study before the departure
2012/10/31	wed			
2012/11/1	thu			
2012/11/2	fri			1 1245成田→1715パリ
2012/11/3	sat			2 0030パリ→0810キンシャサ 1600 JICAコンゴ民事務所でのブリーフィング
2012/11/4	sun			3 0900 日本人専門家チームへのインタビュー調査 1100 JICAアドバイザー（武藤氏）へのインタビュー調査
2012/11/5	mon			1000 INPP総裁への表敬訪問 1100 INPP本部技術部長へのインタビュー調査 4 1300 INPPキンシャサ校長へのインタビュー調査 1430 基礎共通研修リーダーへのインタビュー調査 1600 自動車研修リーダーへのインタビュー調査
2012/11/6	tue			0800 自動車コアトレーナーへのインタビュー調査 1000 対処方針会議 1130 第1回基礎共通・普及研修の受講者（指導員5名）へのインタビュー調査 5 1300 基礎共通研修コアトレーナーへのインタビュー調査 1430 冷凍空調科コアトレーナーへのインタビュー調査 1600 冷凍空調科リーダーへのインタビュー調査
2012/11/7	wed		対処方針会議	0900 指導技法科へのインタビュー調査 1030 指導技法科研修リーダーへのインタビュー調査 6 1300 INPP本部調査部へのインタビュー調査 1430 INPP本部視学部へのインタビュー調査 1600 INPP本部資金回収部へのインタビュー調査
2012/11/8	thu			0900 質問票に基づく主要カウンターパートとの質疑応答・意見交換 1230 INPPキンシャサ校訓練生5名へのインタビュー調査 1330 INPPキンシャサ校進路相談室へのインタビュー調査 7 1400 INPPキンシャサ校自動車科インスペクターへのインタビュー調査 1430 INPPキンシャサ校副校長へのインタビュー調査（5S活動） 1600 INPP地方校の指導員5名へのインタビュー調査（第3回基礎共通研修に参加中）
2012/11/9	fri			0900 ベルギー開発公社へのインタビュー調査 8 1045 雇用労働社会保障省・職業訓練課長へのインタビュー調査 1300 FECへのインタビュー調査 1430 ANEPへのインタビュー調査
2012/11/10	sat			9 MMレポート案と添付資料の作成
2012/11/11	sun	1 キンシャサにて合流	0130羽田→0620パリ1045→1830キンシャサ 若後ホテルにて打合せ	10 MMレポート案と添付資料の作成
2012/11/12	mon		0900 JICA事務所にて団内協議 2 1400 INPP総裁表敬 1500 INPPキンシャサ校視察 1800 レポート案協議	0900 JICA事務所にて団内協議 11 PM レポート案修正 1800 レポート案協議
2012/11/13	tue	3	0900 団内レポート指合せ（JICA事務所） →仏訳レポートの暫定 PM プロジェクトチームとのレポート共有・協議	12 官団員と同行
2012/11/14	wed	4	1000 INPP側によるプロジェクト進捗プレゼン 1300 INPP側へのレポート案説明（事務レベル） @DIPRO-KIN	13
2012/11/15	thu	5	1000 労働大臣表敬 1300 レポート案の確認、M/M協議（総裁含む） @DIPRO-KIN	14
2012/11/16	fri	6	AM M/M案、レポート案の最終確認 @DIPRO-KIN 11/19発表会の事前協議 @DIPRO-KIN 1500 指導技法普及研修の開講式 @DIPRO-KIN	15
2012/11/17	sat	7	場合によっては、INPP側とM/M最終確認	16
2012/11/18	sun	8	団内会議 資料準備	17
2012/11/19	mon	9	1100 JCC、M/M署名 @DIPRO-KIN 1400 プロジェクト発表会 @DIPRO-KIN 夜：米崎所長宅にてレセプション	18
2012/11/20	tue	10	0900 アーリーチェックイン 1000 日本大使館報告 1600 空港へ出発 2155 キンシャサー	19
2012/11/21	wed	11	→0545パリ 1100パリ→	20 →0545パリ 1335パリ→
2012/11/22	thu	12	→0655羽田	21 →0920成田

### 1-3 調査団構成

担当分野	氏名	所属
総括	米崎 英朗	JICA コンゴ民主共和国事務所長
協力企画	櫛田 眞美	JICA 人間開発部 社会保障課 主任調査役
評価分析	三谷 絹子	アイ・シー・ネット株式会社 コンサルタント

### 1-4 主要面談者

#### (1) コンゴ民側関係者

組織	氏名	役職
雇用・労働・社会保障省	Jacques Bekwomi Ngwin	職業訓練課長
INPP本部	Maurice Tshikuya Kayembe	総裁/プロジェクトディレクター
	Paul Nkongolo Badikila	技術部長/プロジェクトマネジャー
	Kandolo Mbombo	調査部長
	Nanga Mahamba	視学部長
	Mulumba Ngindu	資金回収部長
INPPキンシャサ校	Joseph Bondjeke Mwenindaka	校長/プロジェクトコーディネーター
	Makumbi	副校長 (SS活動担当)
	Mbongo Lokole Joseph	基礎共通研修ワーキング・グループメンバー
	Mbonda Tete	基礎共通研修ワーキング・グループメンバー
	Monsevigna Albert	基礎共通研修コア・トレーナー
	Ntambwe Jean Mpiana	基礎共通研修コア・トレーナー
	Lutondo lukiese Joly	基礎共通研修コア・トレーナー
	Kalala Mwadia Nvita	基礎共通研修コア・トレーナー
	Ngongo Kashisha Jean Louis	基礎共通研修コア・トレーナー
	Lutete Mufu	指導技法学科長
	Booto Bola	指導技法コア・トレーナー
	Ikamba Bolekila	指導技法コア・トレーナー
	Booto Wiyambe	指導技法コア・トレーナー
	Mavinga Wila	指導技法コア・トレーナー
	Pambu	指導技法コア・トレーナー
	Mwangatayi	自動車学科長
	Makumbi	自動車学科監査担当
	Mbiya Mukania	自動車学科ワーキング・グループリーダー
	Egbolo Mosau	自動車学科コア・トレーナー
	Mpoyi Pikalaku	自動車学科コア・トレーナー
	Kavul Mpasi	自動車学科コア・トレーナー (カタンガ校)
	Nguzi Mpasi	自動車学科コア・トレーナー (ボマ校)
	Mokomba	冷凍・空調学科長
	Nkialulendo Ponde Junior	冷凍・空調学科コア・トレーナー
	Nsoni Mansanga Jules	冷凍・空調学科コア・トレーナー
	Lema Lubanzadio Fabien	冷凍・空調学科コア・トレーナー
	Ngoma Nzita Aaron	冷凍・空調学科コア・トレーナー
	Mokomba Mata Joel	冷凍・空調学科コア・トレーナー
	Bienvenue	訓練生相談室担当
	Kabuk Mungie	中間レビュー調査時にINPPキンシャサ校に通学している訓練生5名 (学生)
	Kiyedi Sofia	
	Makaya Puati	
	Mazela Kiminu	
Muyongele Baruani		

INPPボマ校	Mayimona Solo	指導員（基礎共通研修受講中）
INPPキサングニ校	Ekam Wina	指導員（基礎共通研修受講中）
INPPキクウィット校	Kabolo Meda	指導員（基礎共通研修受講中）
INPPルバムバシ校	Kabwika Kamwanga	指導員（基礎共通研修受講中）
INPPゴマ校	Lufwa Mbasu	指導員（基礎共通研修受講中）
FEC	Ambroise Tshiyoyo	全国渉外委員会 担当理事
ANEP	Partick Ngulu Mbiobawhul Gilbert Luzaza Dongo	技術部長 財務部長
ベルギー	Joel Leroy Augustin Baharanyi Desire Nkoy Elela	プロジェクトコーディネーター ナショナルフォーカルポイント 指導技法専門家

(2) 日本側関係者

組 織	氏 名	役 職
在コンゴ民大使館	富永 純正 二木 孝 山内 貴美子	特命全権大使 参事役 二等書記官
JICAコンゴ民事務所	米崎 英朗 興津 圭一 徳田 真人	所長 次長 所員
INPP本部	武藤 小枝里	JICA職業訓練アドバイザー
プロジェクト専門家	藤本 篤 高中 克明 田代 治徳 上田 耕治 関 秀馬 坂東 愛	総括 訓練計画 研修企画・管理 指導技法専門家 自動車整備技術専門家 業務調整

## 第2章 プロジェクトの概要

### 2 - 1 基本計画

本プロジェクトは、INPPキンシャサ校を拠点に、本邦/第三国研修や専門家による技術移転を通じて、各訓練科を担う中核人材「コア・トレーナー」を育成し、更にコア・トレーナーによる他の指導員へ各種伝達研修を実施しサイクルを構築することで、INPP指導員の訓練指導技術が強化されることをめざす。

- (1) 協力期間：2011年1月～2013年12月（3年間）
- (2) 上位目標：INPPの自動車科、冷凍・空調科を中心に、質の高い訓練が提供される。
- (3) プロジェクト目標：  
INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心とする指導員の指導技術が強化される。
- (4) 成果 ①基礎共通研修の実施体制が強化される。  
②専門技術研修の実施体制が強化される。  
③指導技法研修の実施体制が強化される。

表 - 1 プロジェクト対象学科

基礎共通研修	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電気工学及び機械分野の基礎的内容（電子、電気、空気圧、自動車機械、機械全般、水圧・油圧、パソコン）に関する研修</li><li>• 対象科は、電気科、電子科、機械科、自動車科、冷凍・空調科、板金・溶接科、車検センターの7科</li></ul>
専門技術研修	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自動車、冷凍・空調分野の専門的内容に関する研修</li><li>• 対象科は、自動車科、冷凍・空調科の2科</li></ul>
指導技法研修	<ul style="list-style-type: none"><li>• 指導技法に関する研修</li><li>• 対象科は指導員教育科</li></ul>

#### (5) 協力対象校

プロジェクトの拠点はキンシャサ校とし、同校を拠点に指導員研修を実施する。

キンシャサ校以外の地方校は、研修実施に必要な施設・機材の問題と治安上の配慮により邦人立ち入りが限定的であることから、各校の指導員をキンシャサへ集合させて研修実施することで対応する。

### 2 - 2 職業訓練プログラムにおける位置づけ

本プロジェクトは「職業訓練プログラム」として包括的な協力を実施しているなかで、INPPキンシャサ校を拠点に実施する指導員能力強化を通じた訓練の質向上を担っている。

同プログラムの協力内容は以下のとおり。

#### (1) プログラム目標

INPPにおいて市場ニーズに応える技能人材が育成され、労働市場に輩出される。



(2) プログラム構成要素

スキーム	内 容	時 期
1) 個別専門家 「職業訓練アドバイザー」	プログラムの立ち上げと全体調整 INPP本部の運営能力強化	派遣中： 2011年1月～2014年1月 (現地活動は2013年12月迄)
2) 技術協力プロジェクト 「INPP指導員能力強化プロジェクト」(*)	INPPキンシャサ校を拠点に指導員の指導技術を中心とする能力強化を通じた訓練の質の向上を図る。 自動車、冷凍空調(及び電子・電気)分野を対象	実施中： 2011年1月～2014年1月 (現地活動は2013年12月迄)
3) 無償資金協力 「キンシャサ特別州職業訓練校整備計画」	INPPキンシャサ校における指導員訓練施設の建設と機材の整備	実施中： 2012年9月～2014年9月

※技術協力プロジェクトでは、第三国リソース(「日本・セネガル職業訓練センター」)との連携も行っている。

2 - 3 実施体制

各活動はさまざまな関係者の役割分担と連携体制にて相乗効果の最大化を図っている。

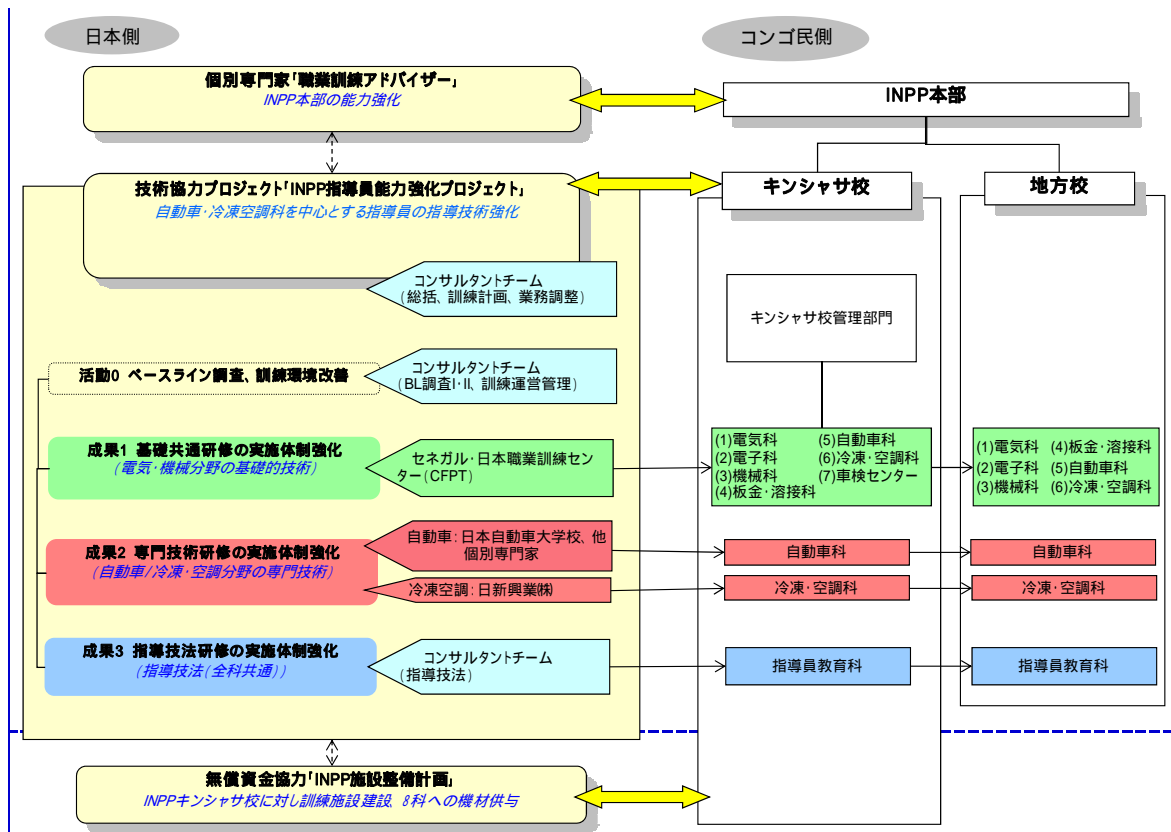


図 - 1 プログラム関係図

## 第3章 評価の方法

### 3-1 評価の手法

本中間レビュー調査は「新JICA事業評価ガイドライン第1版」に従い、プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix：PDM）を活用して実施した。

### 3-2 主な調査項目とデータ収集方法

#### (1) 主な調査項目

##### 1) 実績確認と実施プロセスの把握

- ① 日本・コンゴ民双方の投入、プロジェクト活動の進捗、プロジェクトの成果とプロジェクト目標の達成度合いを確認した。
- ② プロジェクトの進捗は、日本人専門家やC/P（コンゴ民側のプロジェクトメンバー）による自己評価に沿って、適切な活動が実施されたかを確認した。

##### 2) 評価5項目による評価

確認されたプロジェクトの進捗や実施プロセスについて、以下の5つの視点から評価を行った。

- ① 妥当性：プロジェクトのめざしている効果（プロジェクト目標）が、受益者のニーズに合致しているか、コンゴ民側と日本側の政策との整合性はあるかなどを問う視点。
- ② 有効性：プロジェクトの実施により、本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているか（あるいは、もたらされるのか）を問う視点。
- ③ 効率性：主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいは、されるか）を問う視点。
- ④ インパクト（見込み）：プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的・間接的効果や波及効果を見る視点。予期していなかった正・負の効果・影響を含む。
- ⑤ 持続性（見込み）：プロジェクトが終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続されるか、その見込みを問う視点。

##### 3) 結論

評価5項目による評価結果を受けて、プロジェクトの進捗状況についての結論を示した。

##### 4) 提言

結論に基づき、プロジェクトや関係機関に対し教訓を示し提言を行った。

#### (2) 情報・データ収集方法

##### 1) 文献資料調査

討議議事録（Record of Discussions：R/D）、年次業務完了報告書のような既存の文献・報告書や、その他プロジェクトが作成した資料などから必要な情報を収集した。

##### 2) 質問票調査

事前に質問票を作成して、日本人専門家チームとC/Pに配布し、情報収集を行った。

##### 3) インタビュー調査

本プロジェクトに従事する専門家、C/P（本邦研修の研修員を含む）、JICAコンゴ民事務所員などに対してインタビューを行い、プロジェクトの実績と実施プロセスの現状、今後

の方針などの情報を収集・整理した。INPPの運営費の一部拠出を法律で定められているコンゴ民間企業連盟（Fédération des Entreprises du Congo : FEC）とコンゴ公営企業連盟（Association Nationale des Entreprises du Portefeuille : ANEP）、ベルギー技術協力機構（Belgian Technical Cooperation : BTC-CTB）コンゴ民事務局においては、職業訓練分野の担当者に対しINPP支援方針を聞き取り、本プロジェクトとの連携の可能性などに関する意見交換を行った。

#### 4) 現地視察

INPPキンシャサ校については、現地視察を実施した。その際、基礎共通研修、自動車学科対象のコア・トレーナー研修、指導技法研修の授業及び、既に本プロジェクトで供与された資機材の活用方法などの目視確認を行った。

### 3 - 3 合同レビュー調査

今回の中間レビュー調査は、日本とコンゴ民による合同調査であった。1 - 3の示すとおり、コンゴ民側6名、日本側3名、合計9名で今次調査団は構成された。この調査は、2012年11月2日から22日までの21日間にわたり行われた（調査日程の詳細は1 - 2を参照）。日本側が合同評価報告書案を作成し、コンゴ民側と内容を検討した。その後、INPPの代表者と専門家チームに事実誤認がないかを確認するとともに、必要な修正を行った。

## 第4章 プロジェクトの実績と実施プロセス

本プロジェクトの実施期間は、2011年1月から2013年12月の3年間で、以下のように大きく2つのフェーズに分かれている。

- フェーズ1：コア・トレーナー<sup>1</sup>研修
- フェーズ2：コア・トレーナーによるINPP指導員研修

プロジェクトの直接的受益者は、INPPキンシャサ校の指導員と他校の一部指導員である。間接的受益者はINPP全校の指導員と訓練生、FECとANEPである。

### 4-1 投入実績

締結済みR/Dに沿って、日本・コンゴ民双方は専門家とC/P、活動予算、資機材、その他について、プロジェクトを計画どおり実施するために必要な投入を行った。

#### 4-1-1 日本側の投入実績

##### (1) 専門家の派遣

日本人専門家は、以下のような7職種9名<sup>2</sup>が業務実施型専門家（8名）と個別専門家（1名）として派遣された。

- 総括
- 訓練計画
- 研修企画・管理（2名）
- 指導技法
- ベースライン調査（2名）
- 業務調整
- 自動車技術（個別専門家）

セネガル人専門家は、4職種3名が日本・セネガル職業訓練センター（Centre de Formation Professionnelle et Technique Senegal/Japon：CFPT）<sup>3</sup>から派遣された。これらの専門家は基礎共通研修向けの人員である。

---

<sup>1</sup> 本プロジェクトでは、INPP指導員研修の計画・実施を担うC/Pをコア・トレーナーと呼んでいる。コア・トレーナーは専門家チームとINPP幹部間の協議に沿って選出されたINPP指導員である。

<sup>2</sup> 日本側の投入として冷凍・空調学科専門家の現地派遣は計画されていない。同学科への技術移転は本邦研修を通じて実施中である。そのため、中間レビュー調査時点では、同専門家の現地派遣はなく専門家数にも含まれていない。

<sup>3</sup> CFPTはセネガルにおいて1984年に日本の無償資金協力を得て設置された。その後、日本の技術協力を受け、セネガルの経済開発の担い手である工業分野を対象にした中等・高等技術者の育成を担っている。1999年から10カ国以上の仏語圏アフリカ諸国の職業訓練指導員を対象に第三国研修を実施している。2006年には、マリ共和国への第三国専門家派遣も実施している（「コンゴ民共和国職業訓練プログラム協力準備調査報告書、2010年3月」）。

## (2) 研修

### ① 本邦研修<sup>4</sup>

日本側が研修費用を負担して実施された本邦研修は、表－2のとおりである。冷凍・空調学科はコア・トレーナー5名、自動車学科もコア・トレーナー5名が日本での研修を受講している。プロジェクト終了時まで1回/年のペースで冷凍・空調学科は合計3回、自動車学科は合計2回実施される計画である。今後の活動としては、両学科ともプロジェクト終了時まで各1回（最終回）の研修が実施される計画に変更はない。

表－2 本邦研修の実績

学 科	日 程（日 数）
冷凍・空調	2011年5月16日～ 7月 1日（47日）
	2012年8月16日～ 9月29日（45日）
自動車	2012年9月18日～11月 2日（46日）

### ② 第三国研修

第三国研修はセネガルで実施された。主な研修目的は、コア・トレーナー向けの基礎共通研修であった。表－3のとおり、機械分野はコア・トレーナー8名、電気・電子分野もコア・トレーナー8名がセネガルでの研修を修了している。本邦研修同様、これらの研修は日本側が研修費用を負担した。

表－3 第三国研修の実績

分 野	日 程（日 数）
機械	2011年1月14日～2月19日（47日）
	2011年7月11日～8月19日（40日）
電気・電子	2011年1月14日～2月26日（54日）
	2011年8月 2日～8月19日（17日）

## (3) 携行機材

本プロジェクトでは、日本・コンゴ民双方で合意した資機材が調達された。調達された資機材は、適切な研修環境を確保するためのジェネレーター、ノートパソコン、プロジェクター、大型スクリーンなどが含まれる（協議議事録の付属資料3-8を参照）。これら機材の稼働状況と維持管理状態は良好である。

## (4) プロジェクト経費

これまでのプロジェクトのローカルコスト負担額は、1,893万400円（23万1,135.00アメリカドル<sup>5</sup>）である。日本側が負担したプロジェクト経費の内訳は、協議議事録の付属資料3-9

<sup>4</sup> 本プロジェクトで計画・実施している本邦研修以外では、JICA課題別研修（主に職業訓練分野）に対してもコンゴ民からはINPP職員と指導員が優先的に派遣されている。この取り組みは、JICAのコンゴ民への効果的な人材育成戦略と判断できる。

<sup>5</sup> 2012年11月29日現在の為替レート、1アメリカドル＝81.90円で計算した（OANDAによる）。

のとおりである。

#### 4-1-2 コンゴ民側の投入実績

##### (1) C/Pの配置

プロジェクト当初の計画どおり、以下のようなC/P（主要決定レベルの人員）がINPP本部と訓練校から配置された。その他のC/P（実務レベルの人員）もINPP訓練校の指導員が配置された（詳細は付属資料3を参照）。

- プロジェクトディレクター：INPP総裁
- プロジェクトマネジャー：INPP本部技術部長
- プロジェクトコーディネーター：INPPキンシャサ校長

##### (2) 施設・消耗品の提供

専門家の執務室として、INPPキンシャサ校の建物の一部をコンゴ民側から無償で提供された。この執務室の電気代、水道代、専門家用の机と椅子、機材通関費などはコンゴ民側が負担している。その他、プロジェクト活動に参加する研修参加者のキンシャサ内の交通費・宿泊費・食費などは、コンゴ民側が負担した。

##### (3) プロジェクト経費

コンゴ民側が負担したプロジェクト活動支出額は、1,859万8,100円（2億2,133万8,974.00コンゴフラン<sup>6</sup>）であった。この金額は全国研修時の日当・宿泊費を含む。

#### 4-2 活動実績

中間レビュー調査時点でプロジェクト活動は、一部を除き、ほぼ計画どおり実施されていることが確認された。多少の遅れが確認された活動は、自動車学科を対象にした指導員訓練の計画・実施に向けた作業である。遅れが生じた要因は、プロジェクト開始後に東日本大震災が起きたため、当初計画していた初年度の本邦研修が実施できなくなったことにある。その後、この技術移転を補うことを目的に、自動車技術を専門とする個別専門家が派遣され、現地における技術移転と、本邦研修の技術サポートを行っている。プロジェクト全体を統括する専門家チームは、この遅れを挽回可能な範囲内とみている。

各活動の進捗状況は、表-4に示す。

---

<sup>6</sup> 2012年11月29日現在の為替レート、1コンゴフラン=0.08円で計算した（OANDAによる）。

表－４ 中間レビュー調査時の活動進捗状況

活動		進捗状況
0-1	ベースライン調査を実施する。	PDMの具体的な評価指標、レベル設定を行うこと、INNP修了生数、修了生の就職・起業状況、企業訓練への評価、業界ニーズなどを把握して、プロジェクト活動への反映、効果的なプロジェクトの実施を目的としたベースライン調査が、2011年3月から5月に実施された。調査結果は同年5月16日の合同調整委員会においてワーキング・グループ（Working Group：WG）により発表され、関係者間での共有が行われた。報告書は日本語と仏語が作成された。
0-2	対象訓練科の必要機材を導入し、維持管理体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• INNP本部、INNPキンシャサ校における機材の維持管理体制を調査し、今後の管理体制について協議が行われた。</li> <li>• 基礎共通研修用技術支援機材の選定と現地調達への支援が行われ、2011年8月から9月に現地調達分の資機材はINNPへ引き渡された。本邦研修機材は、2012年7月から8月にかけてINNP側に供与された。</li> <li>• 専門技術研修用機材は、本邦研修機関との協議により選定され、2012年8月から9月にINNP側に供与された。</li> </ul>
0-3	訓練環境改善体制を整備する。	訓練環境を整えるため環境改善の基本として5S活動が紹介され、5SのWGが設置された。このWGを通じてINNPキンシャサ校の指導員に5S活動について説明をし、5S活動を実施中である。副校長が中心となって活動成果のモニタリングが行われている。
<b>成果1 基礎共通研修の実施体制の強化</b>		
1-1	基礎共通研修（トロンコマン研修）（対象7学科：電気、電子、機械、自動車、冷凍・空調、板金・溶接、車検）のためのWGを設置する。	2011年3月にWGが設置された。メンバーは、INNPキンシャサ校校長を含む、電気科、溶接・板金科、電子科、機械科の科長と指導員、視学官、学生課担当官の10名である。
1-2	基礎共通研修の訓練計画を策定する。	2010年5月にINNPとCFPTとの協働にて策定された。
1-3	CFPTが基礎共通研修の指導案と教材を作成する。	2010年にCFPTが基礎共通訓練教材を作成した。作成された教材は、指導員能力強化用の資料として整理され、基礎共通研修WGが保管している。この資料を参考に本プロジェクトで基礎共通研修標準カリキュラムが立案・作成された。
1-4	CFPTにおいてコア・トレーナーへの研修を行う。	CFPTでコア・トレーナー向けの研修が2回実施された。
1-5	1-3で作成された指導案・教材を参考にコア・トレーナーが伝達研修の指導案・教材を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2011年3月に、1-3で作成された教材とCFPT研修資料などを参考にコア・トレーナーがCFPT第1次研修用の伝達研修の教材が作成された。</li> <li>• 2012年3月に、CFPT研修を改編したINNP版基礎共通研修用カリキュラム、指導案と教材などが作成された。</li> </ul>
1-6	養成されたINPPのコア・トレーナーによる指導員への伝達研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2011年5月から上記1-5で作成された教材を使用して、CFPT第1次研修に関する伝達研修（指導員向け研修）がINPPキンシャサ校で実施された。同様の研修は同年6月にボマ校においても実施された。</li> <li>• 上記の第1次研修と同様7月から8月に実施された第2次CFPT研修における協議・作業の結果に沿って、9月からCFPT研修内容を改編したINPP版基礎共通研修用カリキュラムが作成された。</li> <li>• 中間レビュー調査時において、計画された指導員向け研修は実施中である。</li> </ul>

1-7	研修効果をモニタリングし、基礎共通研修計画と指導案に反映する。	上記1-6とCFPT版基礎共通研修内容 <sup>7</sup> 、指導案、教材などが専門家チームによって精査され、同チームからの提言に沿ってこれら研修資料が改編された。 INNP版基礎共通研修については、2012年3月に上記1-5のとおりコア・トレーナーによって研修用カリキュラム、指導案、教材などが作成された。
<b>成果2 専門技術研修の実施体制の強化</b>		
2-1	専門技術研修（対象2学科：自動車、冷凍・空調）のためのWGを設置する。	2011年3月に専門技術研修WGが設置された。このWGは2つに分かれて作業が行われた（冷凍・空調科5名、自動車科7名）。研修計画の検討、指導員評価手法に関する勉強会、研修カリキュラムの内容などについてコア・トレーナーと意見交換が行われた。
2-2	企業の訓練ニーズ調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：2011年8月と2012年1月に自動車整備訓練専門家が主体となりコンゴ民の企業を訪問して、企業の訓練ニーズ調査が実施された。</li> <li>冷凍・空調学科：2010年に本邦研修の実施機関がコンゴ民へ渡航し、企業ニーズ調査が実施された。</li> </ul>
2-3	指導員の既存技術・知識のレベルに関する現状を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：自動車整備訓練専門家によって、自動車科指導員全員を対象にカリキュラム作成手法（Curriculum Development Method Based on Ability Structure：CUDBAS）<sup>8</sup>手法を用いた指導員の既存技術・知識レベルの現状把握（テスト）が実施された。このテスト結果に沿って、コア・トレーナーの選出と、選出された指導員の既存技術・知識レベルに関する確認調査が行われた。</li> <li>冷凍・空調学科：上記2-2の調査団によって、指導員の既存技術・知識が確認され、プロジェクト専門家チームに共有された。2011年5月から7月に実施された第1次本邦研修の実施前後には、同専門家チームによって、CUDBAS手法を用いた指導員の既存技術・知識レベルの現状把握が実施された。</li> </ul>
2-4	専門技術研修の計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：2012年1月に派遣された自動車整備訓練専門家により、自動車科指導員の対象分野として、①電子制御システム、②供与機材を用いた訓練指導が提案された。</li> <li>冷凍・空調学科：プロジェクト開始前の2010年にJICAから派遣された本邦研修実施機関調査団により、コンゴ民側の企業ニーズ確認調査が実施された。</li> </ul>
2-5	専門家派遣・本邦研修を通じたコア・トレーナーの能力強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：自動車整備訓練専門家によって、第1次研修（電子制御システム）がコア・トレーナー3名を対象に、また第2次研修が5名を対象に実施された。</li> <li>冷凍・空調学科：2011年5月から7月にコア・トレーナー5名を対象に第1次本邦研修、2012年8月から9月に第2次本邦研修が実施された。</li> </ul>
2-6	指導員向けの指導案と教材を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：中間レビュー調査時点では未実施。2012年12月から電子制御システムに関する指導案と教材が作成される計画である。</li> <li>冷凍・空調学科：第1次本邦研修、及び第2次本邦研修に沿って、それぞれの教材が作成された。</li> </ul>

<sup>7</sup> CFPT版は、基本的・基礎的な分野を中心として8つのモジュールにより研修が構成されている。INNP版は、専門基礎を中心とした（油圧、空圧、特殊溶接、自動制御）4つのモジュールで構成されている。

<sup>8</sup> CUDBASは、日本の職業訓練分野で適用されている教育訓練カリキュラム作成手法である。CUDBASは主に職場や職務に求められる能力資質を抽出して、その能力をもとにコース設定、カリキュラム作成、指導案作成までをトータルに管理するシステムである（職業能力開発総合大学校による）。



2-7	養成されたコア・トレーナーによる指導員への伝達研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車科：未実施（中間レビュー調査実施以降の活動であるため）</li> <li>冷凍・空調科：2012年7月から8月にかけて第1次研修が実施された。</li> </ul>
2-8	研修効果をモニタリングし、専門技術研修計画と指導案・教材に反映する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車学科：未実施（中間レビュー調査実施以降の活動であるため）</li> <li>冷凍・空調学科：モニタリングは実施されたが、指導案・教材への反映は未実施（中間レビュー調査実施以降の活動であるため）。</li> </ul>
<b>成果3 指導技法<sup>9</sup>研修の実施体制の強化</b>		
3-1	指導員教育科のためのWGを設置する。	キンシャサ校から指導員教育科の指導員4名とボマ校から1名、INPP本部調査部と視学部から各1名、合計7名の構成でWGが設置された。
3-2	指導技法研修の現状を把握する。	専門家が2011年3月から4月に派遣され、指導員教育科職員からの聞き取り調査、INPPが（当時）使用しているカリキュラムなどを含む資料を収集・現状把握が行われた。
3-3	指導技法研修の訓練計画を策定する。	専門家の指導に基づき、WGとINPP本部視学部によって全国普及のための標準カリキュラムは立案されたが、まだINPP本部の承認は得ていない。同カリキュラムによる指導技法研修の訓練計画も策定された。
3-4	指導技法研修の指導案と教材を作成する。	2012年10月から上記3-3で作成されたカリキュラムに沿って、指導案と教材が作成された。
3-5	指導員教育科の指導員に対する指導技法研修を実施する。	2011年3月より専門家が3回派遣され、コア・トレーナー7名に対して指導技法研修が実施された。その際、上記3-3の標準カリキュラム開発が研修の一環として実施された。
3-6	養成された指導員教育科のコア・トレーナーによる指導員への伝達研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記3-5で専門家が実施した第1回、第2回の研修については、2011年7月、7学科の代表14名を対象に「作業分解」に基づく指導技法の伝達研修を実施した。</li> <li>第2次に上記3-3と3-4を使用して、指導員向け研修が2012年10月から実施中である。</li> </ul>
3-7	研修効果をモニタリングし、指導技法研修計画と指導案に反映する。	未実施（中間レビュー調査実施以降の活動内容であるため）

#### 4-3 成果の達成状況

今後期待される3つの成果達成に向けて、5つのワーキング・グループ（Working Group：WG）が設置された。5つのうち4つのWGは、専門家チームとともに以下に示す研修実施体制の強化をめざした研修の計画・実施を担っている。残りの1つのWGは、INPPキンシャサ校副校長のリーダーシップの下、5S活動<sup>10</sup>を計画・実施している。

- 成果1：基礎共通研修の実施体制が強化される（担当：基礎共通WG）。
- 成果2：専門技術研修の実施体制が強化される（担当：自動車学科WG、冷凍・空調学科WG）。
- 成果3：指導技法研修の実施体制が強化される（担当：指導技法WG）。

本プロジェクトではINPP本部に研修普及委員会を設置した。同委員会は、プロジェクトで計画・実施している研修の全国展開・定着に向けたINPPの意思決定部隊としての役割がある。

今回の調査ではPDM（バージョン2）に沿って、成果の進捗状況を確認した。主な確認方法は、

<sup>9</sup> PDM（和文）には「指導法」と記載があるが、専門家チームはプロジェクトの活動をとおして「指導技法」としている。よって、この報告書では「指導技法」を使用する。

<sup>10</sup> 5Sは各行動を英語で示した時のローマ字の頭文字を示す。Seiri（整理）、Seiton（整頓）、Seisou（清掃）、Seiketsu（清潔）、Shitsuke（しつけ）の5つ。5S活動とは、5S理念にそって職場環境の維持改善や業務管理を行うことである。

専門家チームとC/Pへの聞き取り調査と、専門家チームが作成した業務完了報告書など既存文書のレビューである。中間レビュー調査時の成果の進捗状況は、表－5に示す。専門家チームとINPP幹部によると、主に担当者として配置されたC/Pへの技術移転が行われ、彼らの能力向上は図られている。成果の全体的な進捗状況は、やや高め程度であると判断できる。

表－5 成果の進捗状況\*

指 標		進捗状況
<b>成果1 基礎共通研修の実施体制が強化される。</b>		
1-1	各年度において基礎共通研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	基礎研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、研修は計画どおり実施中。
1-2	基礎共通研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	コア・トレーナーの研修への満足度は、83%となった。
1-3	基礎共通研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	基礎共通研修の指導案・教材が作成された。中間レビュー調査時までには第1回目の評価結果に沿って研修時間数が見直され、7時間が追加された。
<b>成果2 専門技術研修の実施体制が強化される。</b>		
2-1	各年度において専門技術研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍・空調科の本邦研修と、本邦研修内容に基づく伝達研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。研修は計画どおり実施されている。</li> <li>自動車科の本邦研修と、専門家による現地研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。研修は計画どおり実施中。</li> </ul>
2-2	専門技術研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍・空調技術の伝達研修に関する指標1-2を満足する結果は、78%となった。</li> <li>専門家による自動車技術研修に関する指標1-2を満足する結果は、100%となった。</li> </ul>
2-3	専門技術研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍・空調技術に関する伝達研修の指導案・教材が作成された。本邦研修の内容を伝達するもののため、見直しは行っていない。</li> <li>今後、標準カリキュラムを基に普及研修を実施していく時点で、その結果を基に見直しをしていく。</li> </ul>
<b>成果3 指導技法研修の実施体制が強化される。</b>		
3-1	各年度において指導技法研修計画（研修内容、期間、対象人数）が策定され、計画に沿って研修が実施される。	専門家による指導技法計画（研修内容、期間、対象人数）が策定された。計画に沿って研修は実施中。普及研修の標準カリキュラム、実施計画が策定された。計画に沿って研修は実施中。
3-2	指導技法研修を受講した指導員の80%以上が研修内容に満足する。	専門家による指導技法研修を受講した指導員研修に関する指標1-2を満足する結果は、100%となった。第1回の普及研修は10月29日から11月16日の期間で実施した。
3-3	指導技法研修の指導案・教材が作成され、プロジェクト期間中に2回以上見直される。	指導技法に関する普及研修の指導案・教材が作成された。普及研修は実施中であり、見直しは研修実施後となる。

\*プロジェクトの進捗度は第2年次（2012年10月）時点の状態を示す。

成果の達成度はおおむね順調であると判断できる。よって、プロジェクト終了時までにはプロジェクト目標が達成される見込みはやや高いと考える。本プロジェクトでは、CUDBAS手法を紹介・

導入している。この手法は、INPPによるとコンゴ民の現状に即した適切な手法である。専門家チームとC/Pが共同で同手法に沿って研修を実施することにより、C/Pの基礎技術能力は確実に強化されてきている。

#### 4-4 プロジェクト目標の達成状況

本プロジェクトの目標は、「INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心とした指導員の訓練指導技術が向上する」ことである。プロジェクト目標の達成度を測るための指標は、プロジェクト終了間近に定量的データが収集できるデザインになっている。そのため、中間レビュー調査時には、正確にプロジェクト目標の達成度を測ることは時期早尚である。

専門家チームとC/Pへの聞き取り調査の結果、C/Pの意識とコミットメントの高さが活動の要であり、プロジェクト目標の達成度を左右していることが明確になった。プロジェクト目標の達成に向けた現状を表-6に示す。よって、プロジェクト終了時までにはプロジェクト目標は達成されると判断できる。

表-6 プロジェクト目標の達成に向けた現状

指標		現状
1	基礎共通研修を受講した80%以上の指導員がプロジェクトで実施する評価において、基礎分野に関する知識・技術について5段階評価中3以上の評価が付される。	指標1の達成に向けて、受益者である指導員を対象とした活動は実施中。よって、中間レビュー調査時では定性評価はできなかった。
2	専門技術研修を受講した80%以上の指導員がプロジェクトで実施する評価において、専門領域に関する知識・技術について5段階評価中3以上の評価が付される。	指標2の達成に向けて、受益者である指導員を対象とした活動は実施中。よって、中間レビュー調査時では定性評価はできなかった。
3	指導技法研修を受講した80%以上の指導員がプロジェクトで実施する評価において、指導技法について5段階評価中3以上の評価が付される。	指標3の達成に向けて、受益者である指導員を対象とした活動は実施中。よって、中間レビュー調査時では定性評価はできなかった。

#### 4-5 上位目標の達成見込み

本プロジェクトの上位目標は、「INPPの自動車学科、冷凍・空調学科を中心に質の高い訓練が提供される」である。上位目標の達成見込みは表-7のとおり、中間レビュー調査時には大きな進捗は確認できなかった。しかしながら、本プロジェクトで確立・強化される実施体制モデルをINPPキンシャサ校以外で展開する想定は、プロジェクト目標と上位目標の因果関係を明らかにしている。上位目標は通常、プロジェクト終了時から3年から5年後に達成が期待される目標であるため、今回の中間レビュー調査時に達成度が確認されなかったことは想定内である。

コンゴ民側のプロジェクト関係機関への聞き取り調査の結果、INPP、FEC、ANEPをはじめコンゴ民の職業訓練分野の方向性を決めるとともに、リードしていく組織の連携体制が強化されてきていることが判明した。その大きな要因は、上記の諸機関のスタッフがコンゴ民の雇用創出を担う主要機関としての意識改革をし始めたことが挙げられる。INPPは本プロジェクトを通じて重要な支援・協力機関であるFECやANEPとの信頼関係の回復を進めていると評価できる。INPPがこれら機関との連携を強化することは、INPPの財政面の充実をめざすためにも重要であるとともに、

これら機関がコンゴ民の市場ニーズを的確に把握・フィードバックし、またINPP全校の指導員の質の向上に必要な環境や財政の確保に協力することが求められる。この関係回復も、上位目標の達成に寄与すると判断できる。今後INNPに求められることは、以下のとおりである。

- 表－7で示す5つの指標をモニタリングするためのデータベースの構築、定期的な情報収集などの活動も実施する。
- 日本、フランス、インドやその他の開発パートナーとの建設的な連携関係を構築・強化し維持・継続する。

表－7 上位目標の達成の見込み

指 標		達成状況
1	対象学科のキンシャサ校の訓練修了生の就業率（起業・就職）がプロジェクト開始時と比べて上昇する。	INPPの記録によると、2004年には5,000名以下だった訓練生数が、2011年には24,688名に増加している。これは著しい増加ではあるが、今次調査団は本プロジェクトとの因果関係があるとは判断できなかった。
2	対象学科の修了生を受け入れた企業の訓練内容に関する満足度が向上する。	中間レビュー調査時においては、確認できなかった。調査団はINPPに対して、プロジェクト終了までに各指標を確認できるようなデータベースの構築が検討されるよう提案した。
3	対象学科の修了試験結果がプロジェクト開始時と比べ上昇する。	
4	対象学科の訓練を修了した訓練生の訓練内容に関する満足度が向上する。	
5	指導技法研修を受講した指導員に対する訓練評価の結果が向上する。	

上記のように、INPPの自助努力、INPPをとりまく環境の正の変化を考慮すると、上位目標は達成されることが見込まれる。

#### 4－6 実施プロセス

本プロジェクトは、日本とコンゴ民双方が投入した人員や資機材を効果的に活用している。プロジェクトの計画に沿って、合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）が設置された。その目的はプロジェクトに対するアドバイスや承認業務を担うことである。中間レビュー調査では、JCCが計画どおりの役割を果たしていることが確認できた。また、中間レビュー調査の一環として現地調査後半に開催されたJCC会合は、今回の調査結果の日本側とコンゴ民側の合意形成の場となった。中間レビュー調査において確認できた実施プロセスの現状はおおむね順調であるが、以下の点については改善の余地があることが明らかになった。

##### (1) 意思決定プロセス

普及研修として位置づけられた基礎共通研修を開始した当初、意思決定に関する混乱が生じた。具体的には、WGによって作成された指導案と教材の確認・承認プロセス、研修修了証の発行などについて、研修普及委員会とWG間での明確な役割分担、求められる作業（レビュー、承認など）、タイムラインなどが、専門家とC/Pにおいて協議・合意されていなかったこ

とが挙げられる。このような問題が生じた大きな要因は、専門家チームによる研修普及委員会と各WGに対するサポートが不十分であったためである。

## (2) 資機材の調達

INPPは本プロジェクトで調達された（今後も予定されている）資機材について詳細内容を把握していない。専門家チームは適切かつタイムリーに、どのような資機材が、何の目的で、どのように活用されるか、などの詳細情報をC/Pと共有する責任がある。よって、資機材の調達に関するコミュニケーションに関しては、プロジェクト実施者・関係者間で改善の余地がある。また、専門家チームによって作成される計画の機材管理台帳はまだ完成しておらず、速やかな完成が求められる。

また、プロジェクトの実施にあたり、日本側から資機材の投入が行われたが、INPPキンシャサ校、そして本プロジェクトの指導員研修を受講した（する）指導員が主に所属する地方の訓練校では、機材の量は決して十分ではない。

## (3) 研修実施体制

コア・トレーナーや指導員は、本来の通常業務に従事するかたわら、本プロジェクトで計画・実施されている多様な研修に参加している。そのため、研修中に本来業務関連で席を外すことや欠席することがこれまでに頻繁にあった。その結果、研修で計画された全講義に参加した指導員も、参加できなかった指導員も、同様に修了証を受理しているのが現状である。研修受講による能力強化を担保するためには、研修内容の達成度に基づいて修了の可否判断を検討することが求められる。

## (4) コミュニケーションと広報

専門家チームとC/Pからは、中間レビュー調査時にはプロジェクト内のコミュニケーションに関する大きな問題があるとの指摘はなかった。一方で、今次調査団は現地調査を通じて、INPP本部と全国の訓練校間のコミュニケーション、専門家チームとINPP本部（特にプロジェクトディレクター）との意見交換が、より活発になる自助努力の必要性を確認した。

プロジェクトの広報活動と位置づけられるニュースレターは発行されているが、プロジェクトのホームページは、まだ制作されていないため、早期の開設が望まれる。

## 第5章 評価結果

### 5 - 1 評価5項目による評価結果<sup>11</sup>

#### 5 - 1 - 1 妥当性

本プロジェクトの妥当性は、事前評価時と同様に依然として高い。その要因は、プロジェクトの目標と期待される成果が、コンゴ民政府の政策、日本政府の対コンゴ民主共和国国別援助計画とも合致しているからである。

#### (1) コンゴ民政府の政策との整合性

本プロジェクトは、コンゴ民の国家開発計画とコンゴ民側のニーズに合致している。1964年6月29日に制定された法令206号（Ordinance no. 206）はINPP設置法である。INPPが設置されて以降、コンゴ民政府はINPPをコンゴ民における職業訓練を提供する責任機関として位置づけた。そのため、INPPは産業界が求める労働者の育成をめざしてきた。2011年から2015年を対象にした貧困削減戦略文書においても、雇用率の増加が重要であると指摘している。

INPPはコンゴ民政府によって設置された省庁間委員会のメンバーである。INPPが所属する課題別委員会は技術・職業訓練委員会で、以下に示す省庁代表者で構成される。

- 雇用・労働・社会保障省
- 高等・アカデミック教育、科学研究省
- 初等・中等教育、職業訓練省
- 社会福祉・人的活動・国家結束省
- 青少年・スポーツ省

技術・職業訓練委員会は、コンゴ民の技術教育・職業訓練分野の改善・強化を目的に、メンバー省庁が政策レベルでの連携促進を担う機能を果たしている。この機能をリードするINPPは、コンゴ民の職業訓練分野における将来的方針を策定するために、適切な枠組みを確保していると判断できる。

#### (2) 日本政府、JICAの援助方針との整合性

本プロジェクトの内容は、経済の発展を主要課題と位置づける日本政府やJICAの援助方針とも合致している。日本政府は、第4回アフリカ開発会議において中等・高等教育分野の開発と経済成長の因果関係を指摘した。中等・高等教育分野は職業訓練を含み、今後コンゴ民の発展の糧となる熟練労働力の創出に直接貢献できる。

#### (3) 対象科目の妥当性

コンゴ民では、トヨタをはじめとする日本の中古車が非常に多く活用されており、中古車の約80%が日本車といわれている。そのため、日本式の自動車修理・点検技術を有する技術者のニーズは非常に高い。また、気候は温暖であり産業用建物・施設、4輪車両などを含む冷凍・空調に関する技術者のニーズが高まっている。よって、本プロジェクトの対象科目である自動車学科と冷凍・空調学科の選出は妥当である。

<sup>11</sup> 評価結果は、高い、やや高い、中程度、やや低い、低い、で判断する。

### 5-1-2 有効性

本プロジェクトの有効性はやや高いと判断できる。本中間レビュー調査時点では、プロジェクトの第1段階であるコア・トレーナー研修が実施中であること、第2段階であるコア・トレーナーによるINPP指導員訓練が開始されたばかりであることを考慮すると、3つの成果の達成状況を適切に評価することはできなかった。しかしながら、専門家チームとC/Pが引き続き計画どおりプロジェクト活動を実施することで、プロジェクト目標は達成されることが見込まれる。また、PDMバージョン2に示された3つの成果は、プロジェクト目標を達成する手段として妥当である。

日本側の専門家や資機材の投入はR/Dに沿って実施された。プロジェクト開始後、日本側の検討によって、コンゴ民への派遣日数を増やした専門家もいる。C/Pは日本側からの投入について、問題なしと評した。専門家チームとC/Pによると、日本・コンゴ民双方からの投入は有効であったと判断できる。一方で、本邦研修の参加者の同研修に対する満足度は高いものの、改善を求める声があったことも事実である。

本中間レビュー調査では、本邦研修と第三国研修の研修生に聞き取り調査を実施した。その結果、今回の調査団が収集できた指摘事項は以下のとおりである。

- 研修内容がコンゴ側のニーズに沿っていない場面があった。
- 研修内容が不十分であった。具体的には、配布資料がフランス語に翻訳されていなかったことが挙げられる。

INPPが所有する資機材不足がプロジェクト実施にあたり最大の課題であるが、本プロジェクトで投入された資機材でこの課題は一部解消された。

日本で実証されたCUDBAS手法の紹介と導入に関する知識・経験・ノウハウは、コンゴ民側にとって有効であると判断できる。CUDBAS手法で作成された指導案・教材は効果的に活用されている。

### 5-1-3 効率性

3つの成果達成へ向けて、プロジェクトはほぼ計画どおり順調に活動を実施している。よって、効率性はやや高めと判断できる。専門家によると、成果2と3の達成に向けた活動に多少の遅れが生じているが、プロジェクト終了時までには完了する見込みである。2011年の東日本大震災の影響を受け、自動車学科の本邦研修が計画どおり実施できなくなったことが1つの要因である。プロジェクトではその後、投入計画の一部を変更することを検討し、自動車訓練整備の専門家をINPPに派遣し、現地での技術移転を行うこととした。この遅れは一時的なものであり、今後の活動が予定どおり進められれば、プロジェクト目標の達成に向けて大きな影響はないとみられる。

#### (1) 投入と成果

日本側の要員はR/Dに基づき配置されている。専門家の派遣に関しては、プロジェクトの提案にそってJICAと協議が行われ、指導技法専門家の派遣日数がプロジェクト開始後に増加された。C/Pによると、日本側から移転された知識や技術は、コンゴ民側にとって適切で役に立っているという。C/Pへのインタビューの結果、コンゴ民側のプロジェクトメンバーと関係者は、日本側の投入実績に関して改善の余地はあるが特に大きな問題はないと評し

た。コンゴ民側は当初、専門家の派遣期間について延長・長期化を求めていたことが確認された。長期専門家のように、いつでも差し向かいで相談・協議などの技術指導を受けられる体制が最適であると説明した。今次調査団は、このコンゴ民側からの要請とプロジェクト目標の達成度との因果関係を確認・証明することはできなかった。一方で、プロジェクト関係者への聞き取り調査の結果、中間レビュー調査時までの専門家からの技術移転の内容・手法に関しては、ほぼ適切であったと評価することができる。

セネガル人専門家の派遣に関して日本人専門家チームは、「同じフランス語圏のアフリカ人であることの親しみと、同じ日本の協力による技術力の習得が共通点となっている。セネガル人専門家もつ技術力は、INPPが到達可能な技術的目標と定められた」と評した。この評価について、今次評価調査団は同意できる。

コンゴ民側の投入は、おおむねR/Dどおりに配置・提供された。コンゴ民側は成果別に専門家執務室を対象C/P機関の施設内に確保した。この点は高く評価できる。しかしながら、コンゴ民側の投入の一部では改善の余地があることも指摘された。その1つは、コンゴ民側が確保したプロジェクト予算である。具体的な金額の共有はなかったが、コンゴ民側の経費を一部日本側が負担している。もう1つは、C/Pの人員不足が挙げられる。総体的にC/Pとプロジェクト関係者の本プロジェクトに対するコミットメントレベルは高いが、通常業務と本プロジェクトの活動を一緒にやるには十分な人員と時間がないのが現状である。そのため、日本側はローカルスタッフを雇用して、C/P機関が担うべき活動を一部実施したことが確認された。プロジェクト終了後はコンゴ民側独自で活動を継続していくことが求められるため、この人員不足の解消はコンゴ民側にとって急務である。

## (2) 実施体制

このプロジェクトは、2009年に実施された協力準備調査で計画された職業訓練分野プログラムの一部である。プログラム実施にあたっては、別途、日本人専門家が職業訓練アドバイザーとしてINPP本部に派遣されている。2013年上旬には、無償資金協力も本格的に開始される予定である。

後に示す「表－9 成果の達成に向けた貢献・阻害要因」にあるように、R/Dどおりにプロジェクトは活動を実施している。本プロジェクトはC/Pにとって必要な技術移転を効果的に行うために、日本とセネガルから派遣された専門家の混合チームを結成して対応された。これら専門家は成果別に配置された。C/Pによると、専門家の長期派遣を望む声があった。その理由は日常的に相談にのってもらい、技術移転を受けられることを期待していたことが影響している。これまでの派遣実績に対して、プロジェクトの進捗度が大きく遅れているわけではない。今次調査団は、この混合チームの適性を判断するための因果関係は評価できない。その一番の理由は、比較できるプロジェクトが実施されていないためである。

本プロジェクトでは、WGが設置され、進捗状況のモニタリングを行った。この体制を通じて成果の達成状況を日本とコンゴ民側双方で共同管理する体制を構築したといえる。プロジェクトを通じてINPP本部と訓練校の間、また、クライアントであり協力機関であるANEPやFECとINPPとの交流は深まってきている。本プロジェクト実施期間内に限らず、これらの機関が連携を図り必要な情報の交換が組織的・定期的に行われることは、INPP本部の組織強化、訓練校の指導員の質の改善に向けて重要である。



#### 5-1-4 インパクト（見込み）

プロジェクトを通じてINPP指導員の能力強化に向けた基盤を構築するには約1年残っている。中間レビュー調査時において、プロジェクトのインパクトは中程度である。プロジェクトは進行中であるため、中間レビュー調査時に大きなインパクトが明確に確認されていないことは理解できる。

#### 5-1-5 持続性

本プロジェクトの持続性は、(1) 組織・制度面、(2) 財政面、(3) 技術面、から評価し、やや高いと判断できる。しかしながら、財政面には多少課題があるといえる。

##### (1) 組織・制度面

組織・制度面の持続性は高い。INPP設置法の執行によってINPPは、職業訓練分野における役割が明確になるとともに、労働人口の育成という重要な責任を委任された。加えて、1971年3月26日に施行された法令71-055号（Ordinance no. 71-055）5条のセクション2に記載がある研修に係る責任では、INPPが以下の業務を担うことになっている。

- 産業界のニーズに沿った研修の計画・実施
- 労働コード5条に沿った技術者への研修の計画・実施

同法令・号6条では、労働分野の責任機関の各大臣の要請を基に、必要に応じて研修を実施することも義務づけられている。このような背景を考慮すると、今次調査団はコンゴ民における技術者の育成はINPPが担っていると評価できる。妥当性で述べた2011年から2015年を対象にした貧困削減戦略文書においても、雇用率の増加が重要であると指摘している点も、INPPの重要性を後押ししていると判断できる。

組織面の今後の課題として、INPPでは適切な能力や資質をもつ指導員が不足していることが挙げられる。近年、コンゴ国内で市場の需要に沿った雇用につながるレベル・内容の訓練ニーズが高まり、これら需要は年々増加している。しかしながら、需要に対する供給はバランスが取れていないのが現状である。

##### (2) 財政面

中間レビュー調査時の財政面の持続性は中程度と判断する。INPPは、プロジェクト終了後に全国のINPPを対象とした研修展開をどのように実施・継続していくかなどの詳細計画が現段階で不明確である。そのため、今後財政面でどの程度の活動費が必要になり、コンゴ民の自助努力によりどの程度の予算確保が可能になるか、判断する材料を収集できなかった。INPP幹部への聞き取り調査の結果に沿って、本プロジェクトに対する支出額より多額の予算の確保は難しいことが想定できる。一方で、INPP幹部は今後も継続して十分な予算の確保に向けて啓発活動や必要な調整を実施していく姿勢でいることは確認できた。

INPP資金調達部への聞き取り調査の結果、INPPキンシャサ校の資金調達を担うINPP本部職員の意識改革が進んでいることが明らかになった。プロジェクト関連の活動としてINPPと産業界との連携促進が図られている。INPPの運営費の確保・増益を達成させるためには、営業の役割を担うINPP資金調達部職員の手腕が求められる。これら職員の営業能力はプロジェクト開始前と比べて、正の変化が生じている。具体例として、以下の行動変容が挙げ

られる。

- INPPの利点を的確にクライアントに伝える能力が蓄積されてきている。
- INPPキンシャサ校に足を運び、同校の良し悪しを目視するようになってきている。

上記のような正の変化が継続した場合、中・長期的にはINPPの運営費の拡大に寄与すると判断できる。現在産業界からINPPが回収できる運営資金率は、表-8のとおりである。

表 - 8 産業からINPPへの給付率

雇用人数（人）	各会社の負担率（％）
1から50	3
51から300	2
301以上	1

INPPは十分な活動予算の確保は課題であると認識している。そのため、プロジェクト終了後に、コンゴ民独自で本プロジェクトと同等の投入を行って活動を継続させることは困難であると説明している。したがって、フランスやインドなどを含む他の開発パートナーとの協力を戦略的に計画・実施することで、ある程度の財政面での支援を受ける体制が構築されることが必要になる。これは、今後日本がINPPへの支援を継続した場合においても、必要となる財政面での強化はINPPにとって課題であることを意味する。

### (3) 技術面

技術面の持続性はやや高いと判断する。中間レビュー調査では、プロジェクトで実施したベースライン調査と中間地点でのフォローアップ調査の結果に沿って定性的・定量的データを収集した。専門家チームとINPP幹部によると、プロジェクトを通じてC/Pの能力は向上してきている。専門家チームは、プロジェクト終了時までにC/Pの能力が更に強化される見込みは高いとみている。プロジェクト終了後には、C/P独自で同様のINPP指導員能力強化を図ることが期待される。

INPPキンシャサ校の管理能力の強化に向けて、本プロジェクトは機材管理台帳の作成を提案している。INPPはこの台帳に沿って、機材の活用状況のモニタリングと維持管理を実施していくことが期待される。このようなモニタリング体制はキンシャサ校以外でも将来的には導入することが求められる。加えて、キンシャサ校では5S活動を紹介・導入した。同校の副校長がリーダーとなり、5Sのような低コストで実施可能な訓練校の訓練環境の整備を進めている。この活動は訓練校のインフラ整備と比較した場合、取り組みやすい活動であることから、今後の全訓練校での実施可能性は高い。今次調査団は、INPPが5Sの意義を適切に理解して、率先して導入していることを高く評価した。

## 5 - 2 貢献要因と阻害要因の検証

コンゴ民側のプロジェクト関係機関であるINPP、FECとANEPの幹部職員と専門家チームへの聞き取り調査を通じて、貢献要因と阻害要因の検証を実施した。その結果、表-9で示すような両方の要因が確認された。

表 - 9 貢献要因と阻害要因

貢献要因	阻害要因
<ul style="list-style-type: none"><li>• FECとANEPがINPPにもっている組織イメージが改善されて、信頼の回復に寄与していること。</li><li>• 対コンゴ民職業訓練分野への日本を含む開発パートナーからの支援が前進していること。</li><li>• INPPキンシャサ校に、訓練生の訓練修了後の就職率・就職先などのモニタリングやフォローアップを担う部署が設置されたこと。</li><li>• INPP本部は、今後の更なる訓練生受け入れ増加を見込み、新規指導員の採用を検討していること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• INPPが所有する研修に必要な資機材が量的に不十分であること。</li><li>• INPPが独自でINPP訓練校の施設整備・改修を実施するための資金が不足していること。</li></ul>

本プロジェクトは、C/Pに必要な技術移転を効果的に行うために、日本とセネガルから派遣された専門家の混合チームを結成して対応し、これら専門家は成果別に配置された。C/Pによると、日常的な相談や技術移転に対応し得る長期専門家の派遣を望む声があったが、これまでの派遣実績に対して、プロジェクトの進捗が大きく遅れているわけではない。日本のノウハウをもった日本人専門家、日本の支援を受け能力が向上したセネガル人専門家の派遣は、INPPにとって刺激になったことは明らかである。

## 5 - 3 プロジェクト計画修正の要否

本評価結果を踏まえると、現行計画の修正の必要性は認められなかったため、プロジェクトフレーム（PDM）の修正は行わない。有効なPDMは合意文書（R/D）の付属資料2として改めて双方で確認した。

## 5 - 4 結論

プロジェクトはコンゴ民の必要性に基づいて当初計画の活動が予定どおり実施されており、本邦及びセネガルからの専門家派遣や研修実施によるコア・トレーナーの能力開発、研修実施計画や教材開発などいくつかの進捗が確認されている。また本プロジェクト活動を通じて指導員の能力強化を図ることへのコンゴ民側C/Pの意識は高く、主体的な活動が進められている。以上のことから、本プロジェクト目標は計画どおり達成される見込みである。

## 第6章 プロジェクトへの提言

残るプロジェクト期間の活動をより有効なものにするために、以下のことが提言された。

### (1) 研修の質の担保に向けた措置

プロジェクトで実施している研修の対象者である指導員は、日々の責任業務に関連して、しばしば研修を中座することが指摘されている。研修による能力強化効果を確実なものにするためには、同研修に参加中の指導員は、通常業務から離れて研修に集中できる環境を確保することが望まれる。

同時に、プロジェクト内で実施する指導員研修の受講成果を評価するためのシステム構築が必要であることが確認されている。コンゴ民C/Pと日本人専門家の協働によって、プロジェクト終了までに、研修評価システムが整備されることが期待される。

### (2) 機材リストの早期整備

INPPにおける設備や機材の不足について、本調査中にコンゴ民C/Pの管理運営者から現場の指導員に至る各レベルの者から言及された。INPPキンシャサ校に対しては、本プロジェクト活動に必要な機材の整備がなされ、学校運営機能強化の一環として、機材インベントリーの作成が開始されている。この機材インベントリーは、既存施設における機材状況と不足機材の把握のみならず、本プロジェクト以降にINPPが全国への活動展開を図るうえでの計画整備にとっても重要な基礎情報となるものであることから、同インベントリーの作成とデータベース管理体制の早期完成が求められる。

### (3) 専門学科に関する本邦研修の改善

冷凍・空調科及び自動車科の専門学科に関する研修に参加したコア・トレーナーから、今後の本邦研修実施に際し、研修期間 参加者からのニーズと期待への対応を含むいくつかの提言が示された。プロジェクト期間中に実施される今後の研修については、その実施方法と内容について、研修効果の最大化を図るために十分な検討をすることが期待される。

### (4) 指導員普及研修の体制整備と適切な実施

今後のプロジェクト活動は、コア・トレーナーがこれまでの活動によって身に着けた知識・経験を全国の指導員向けに普及する研修の実施が中心となる。効率的な研修実施のためには、研修の詳細日程と準備手続きを明確化したうえで、適切な実施と次回の研修実施へ向けたフィードバックに関する体制が重要になるところ、この早期整備が求められる。

### (5) 関係者間の協働体制強化

今後のコア・トレーナーによる指導員研修の効果的実施のためには、意思決定レベルのINPP本部及び研修普及委員会と、実務レベルであるINPPキンシャサ校及び研修管理改善委員会との間におけるコミュニケーションと協働体制を、より強固かつ確実なものにする必要がある。研修実施の初期段階で生じた、連絡ミスによる不明確な役割分担による混乱の再発は避けるべきであり、残されたプロジェクト期間中の効果的な活動実施に際しても、体制強化は重要

な事項であることが指摘された。

(6) 研修実施マニュアルの早期整備

専門家チームはこれまでの活動において、研修実施マニュアルの整備を提案した。このマニュアルは、効率的な全国研修実施のために、研修実施プロセスと品質管理システム、PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを共有する目的のものである。研修普及委員会は同マニュアルの活用を試みたが、困難な専門用語や、フランス語訳した際の混乱などにより、改訂が望まれている。将来的にINPPの活動をキンシャサ校から全国への展開するためには、この研修実施マニュアルをできる限り早期に最終化することが期待される。プロジェクト期間中に専門家チームの支援によりINPPとの協働でこれを整備し、全国のINPP校へ配布・活用普及を図ることが望まれる。

(7) INPPの全国整備へ向けた計画

本プロジェクトの成果は、全国のINPP指導員の能力強化に貢献することが見込まれている。しかしながら、プロジェクトフレームワークに基づく活動期間には限りがあることから、本プロジェクトの成果を活用した今後の継続的な活動計画を、本プロジェクト終了前にINPPにて整備することが期待される。計画検討のためにはまず、全国のINPPの現状評価とニーズ確認が必要となる。評価時に重要となる点は 指導員訓練によって期待されるレベル、学校施設の改修整備の必要性、訓練に活用可能な資機材の状況、であろう。本プロジェクトを通じてキンシャサ校で実施したパイロット活動を全国のINPPへ拡大・普及させるためには、INPP指導員の持続的な能力強化が必須となる。INPPによる全国展開へ向けた計画策定にあたり、専門家チームは、技術的観点及び指導技法的観点から助言することが期待される。

## 付 属 資 料

1. 協議議事録 (M/M) (署名済み仏語、参考英訳)
2. 評価グリッド (英・仏)
3. カウンターパートリスト
4. INPPによるプロジェクト進捗報告資料

1. 協議議事録 (M/M) (署名済み仏語、参考英訳)

COMPTE RENDU DE LA REUNION  
ENTRE  
LA MISSION JAPONAISE DE L'ÉVALUATION A MI-PARCOURS  
ET  
L'INSTITUT NATIONAL DE PREPARATION PROFESSIONNELLE  
SUR  
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE POUR LE PROJET  
« RENFORCEMENT DES CAPACITES DES FORMATEURS DE L'INPP »  
EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO

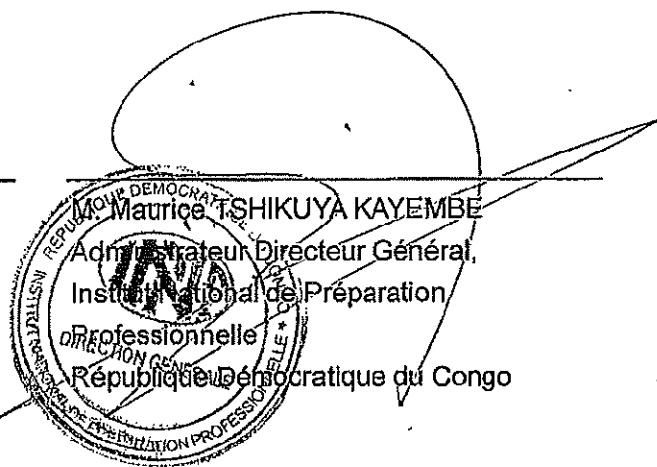
La Mission Japonaise de l'évaluation à Mi-parcours (ci-après désignée "la Mission"), mise en place par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (en sigle "JICA") dirigée par M. Eiro YONEZAKI, a séjourné en République Démocratique du Congo (la "RDC") du 3 au 20 novembre 2012.

Au cours de son séjour en RDC, la Mission Japonaise a eu une série de discussions avec l'Institut National de Préparation Professionnelle ("INPP"), et ont conjointement revu les réalisations du Projet du Renforcement des Capacités des Formateurs de l'INPP en RDC (ci-après désignée "le Projet"), et ont eu un échange de vues sur les activités du Projet pour accomplir le Procès Verbal (ci-après désigné "PV") signé le 12 novembre 2010.

Les deux parties ont aussi discuté sur la révision du modèle du Projet et le plan des activités. Comme résultat des discussions, la Mission Japonaise et l'INPP sont tombés d'accord sur les termes du document en annexe.

Kinshasa, le 19 novembre 2012

  
M. Eiro YONEZAKI  
Chef d'Equipe,  
Mission de l'évaluation à Mi-parcours  
Agence Japonaise de Coopération  
Internationale  
Japon

  
M. Maurice TSHIKUYA KAYEMBE  
Administrateur Directeur Général,  
Institut National de Préparation  
Professionnelle  
République Démocratique du Congo

## ANNEXE

1. **Introduction**.....
  - 1-1. Préface
  - 1-2. Objectifs de l'évaluation
  - 1-3. Calendrier de la Mission Japonaise
  - 1-4. Membres de l'Equipe d'Evaluation
  - 1-5. Méthodologie de l'évaluation
  
2. **Evaluation**.....
  - 2-1. Les réalisations du Projet
  - 2-2. Procédé de mise en œuvre du Projet
  - 2-3. Evaluation sur base de cinq Critères
  
3. **Revision de PDM**.....
  
4. **Conclusion**.....
  
5. **Recommandations**.....

### ANNEXES

#### ANNEXE 1. Evaluation

- 1-1. Réalisations du Projet
- 1-2. Progrès des activités du Projet – jusqu'au mois d'octobre 2012
- 1-3. Evaluation par Cinq Critères

#### ANNEXE 2. Cadre logique (PDM ver.2)

#### ANNEXE 3. Intrants au Projet

- 3-1. Liste d'Experts Japonais
- 3-2. Liste de Formations réalisées par les Experts Japonais en Pédagogie
- 3-3. Liste de Formations réalisées par les Experts Japonais en Motorisation
- 3-4. Liste de Formations réalisées au Japon en Froid et Climatisation
- 3-5. Liste de Formations réalisées au Japon en Motorisation
- 3-6. Liste de Formations réalisées par les Experts Sénégalais de CFPT
- 3-7. Liste de Formations réalisées au Sénégal
- 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet
- 3-9. Coût des locaux/local du côté Japonais
- 3-10. Liste d'homologues Congolais
- 3-11. Liste de groupes de travail organisés pendant ce Projet
- 3-12. Coût des locaux/local du côté Congolais





## 1. Introduction

### 1-1. Préface

Le Projet a été lancé en janvier 2011 et se termine en décembre 2013. Avec la période restante de ce Projet, la JICA a envoyé une Mission Japonaise en République Démocratique du Congo du 3 au 20 novembre 2012 pour évaluer les réalisations du Projet. L'évaluation à mi-parcours a été conjointement conduite par la Mission et les Autorités Congolaises concernées.

### 1-2. Objectifs de l'évaluation

Les Objectifs de l'évaluation à Mi-parcours sont:

- i) Examiner et évaluer les intrants, les activités et les réalisations du Projet;
- ii) Clarifier les problèmes et les questions à aborder pour la mise en œuvre réussie du Projet pour la période restante;
- iii) Evaluer la justification pour la continuation du Projet sur base de l'évaluation;
- iv) Formuler des recommandations pour les activités de la période restante; et
- v) Examiner et réviser le Cadre Logique du Projet (PDM) au besoin.

### 1-3. Calendrier de la Mission Japonaise

Date	Activités
2 Nov. Ven	Tokyo → Paris
3 Sam	Paris → Kinshasa Briefing de Sécurité à JICA
4 Dim	Interview aux experts Japonais
5 Lun	Visite de courtoisie à l'INPP Interview à INPP et à INPP Kinshasa
6 Mar	Interview aux Maîtres Formateurs Interview aux formateurs
7 Mer	Interview à INPP et Maîtres Formateurs
8 Jeu	Interview à INPP Kinshasa
9 Ven	Interview à partenaire Belgique Interview au Ministère de l'emploi, travail et prévoyance sociale Interview aux FEC et ANEP
10 Sam	Documentation
11 Dim	Documentation
12 Lun	Réunion interne Visite de courtoisie à l'INPP
13 Mar	Réunion interne
14 Mer	Présentation sur le progrès du Projet par INPP Discussion avec INPP sur le projet de rapport d'évaluation team
15 Jeu	Visite de courtoisie au Ministre de l'emploi, travail et prévoyance sociale Discussion avec INPP
16 Ven	Discussion avec INPP
17 Sam	Documentation
18 Dim	Documentation
19 Lun	Comité Conjointe de Coordination (Signature de compte-rendu) Présentation par l'INPP aux partenaires
20 Mar	Rapport à l'ambassade du Japon Départ de Kinshasa
21 Mer	→ Paris
22 Jeu	→ Tokyo

#### 1-4. Membres de l'équipe d'évaluation

##### (1) La partie japonaise

No.	Nom	Intitulé du Poste	Fonction	Période
1	M.Eiro YONEZAKI	Chef de la Mission	Représentant Résident, Agence Japonaise de la Coopération Internationale, Bureau en République Démocratique du Congo	11 – 20 nov.
2	Mme Mami KUSHIDA	Planification de la Coopération	Division de la Sécurité Sociale, Département du Développement Humain, Agence Japonaise de la Coopération Internationale	11 – 20 nov.
3	Mme Kinuko MITANI	Evaluation et Analyse	Consultant, IC Net Limited.	3 – 20 nov.

##### (2) La partie congolaise

No.	Nom	Intitulé du Poste	Fonction
1	M. Maurice TSHIKUYA KAYEMBE	Directeur du Projet	Administrateur Directeur Général de l'INPP
2	M. Paul NKONGOLO BADIKILA	Gérant du Projet	Directeur Technique, à la Direction Générale de l'INPP
3	M. Joseph BONDJEKE MWENINDAKA	Coordinateur du Projet	Directeur, INPP-Kinshasa
4	M. KANDOLO MBOMBO	Homologue concerné	Directeur des études, INPP
5	M. NYANGA MAHAMBA	Homologue concerné	Directeur de l'inspection, INPP
6	M. MULUMBA NGINDU	Homologue concerné	Directeur de recouvrement, INPP

#### 1-5. Méthodologie de l'évaluation

Conformément aux Directives d'Evaluation du Projet de la JICA, l'évaluation à mi-parcours du Projet a été conduite. La définition des cinq critères d'évaluation qui ont été appliqués dans l'analyse de cette évaluation est donnée dans le tableau ci-dessous.

Cinq critères d'Evaluation	Définition conformément aux Directives d'Evaluation de la JICA
<b>1. Pertinence</b>	La Pertinence du Projet se revoit selon la validité du But du Projet et de l'Objectif Global en rapport avec la politique gouvernementale de développement et les besoins du groupe cible et/ou des bénéficiaires ultimes en RDC.
<b>2. Efficacité</b>	L'Efficacité s'évalue par le niveau atteint par le Projet quant à son but, en clarifiant le rapport entre le But du Projet et ses résultats.
<b>3. Efficience</b>	L'Efficience de la mise en œuvre du Projet s'analyse avec un accent sur le rapport entre les résultats et les intrants en termes du calendrier, de la qualité et de la quantité.
<b>4. Impact</b>	L'Impact du Projet s'évalue en termes d'influence positive/négative, et prévue/imprévue, causée par le projet.

<b>5. Durabilité</b>	La Durabilité du Projet s'évalue en termes d'aspects institutionnel, financier et technique, en examinant l'ampleur à laquelle les réalisations du Projet seront durables après l'échéance du Projet.
----------------------	---

Voici les méthodes utilisées par la Mission Japonaise pour récolter les données de l'évaluation:

- i) Revue de la littérature/documentation (les Rapports du Progrès, les Rapports des experts de la JICA, les documents de la politique de la Pertinence, etc.);
- ii) Questionnaires (les experts de la JICA et leurs homologues de la RDC); et
- iii) Interviews (les experts de la JICA, leurs homologues de la RDC, les Maîtres Formateurs de l'INPP, etc.

## 2. Evaluation

Le Projet est en pleine mise en œuvre, il a commencé en janvier 2011. Il s'achève en décembre 2013 (36 mois). Le Projet a deux phases:

- La première phase: la formation des maîtres formateurs
- La seconde phase: la formation des formateurs

### 2-1. Les réalisations du Projet

Les réalisations du Projet ont été revues et évaluées par la Mission sur base du plan du Projet résumé dans le Cadre logique (PDM) (version 2). Le résumé du niveau des réalisations du Projet est exposé ci-dessous. Pour des plus amples détails sur l'évolution du Projet, voire Annexe 1-1 à 1-2.

#### 2-1-1. Les Intrants

Les deux côtés, la RDC et le Japon, fournissent des intrants tels que les ressources humaines, les équipements, les fonds et autres, pour la mise en œuvre du Projet tel que prévu, selon ce qui est déclaré dans le Procès-Verbal (PV) pour la plus part jusqu'à la période de l'évaluation à mi-parcours.

#### (1) Le côté japonais

Le résumé des intrants fournis par le côté japonais est comme suit. La liste détaillée des intrants est donnée en Annexe 3-1 à 3-9.

- L'envoi des experts du japon: au total, neuf catégories d'experts ont été envoyées en RDC.

Voici les domaines d'expertise couverts:

- Chef du projet
- La planification de la formation
- La gestion de la formation (deux personnes)
- Automobile
- Pédagogie

- Etude de base (deux personnes)
- Coordination du projet
- L'envoi des experts du Sénégal: trois experts du Sénégal ont été envoyés pour dispenser des formations aux maîtres formateurs qui faisaient partie de la Formation en Tronc Commun.
- Les contributions financières: Environ 231.135 \$ US ont été dépensés pour la mise en œuvre du Projet, y compris les dépenses des voyages des formateurs de l'INPP au niveau régional (entre Kinshasa et les provinces).
- Approvisionnement en équipements: les équipements nécessaires pour les formations prévues pendant la mise en œuvre tels que des groupes électrogènes, des ordinateurs portables, des projecteurs, des écrans, et des outils et machines spécifiques.
- Formation au Japon: Cinq maîtres formateurs de la Mécanique Automobile<sup>1</sup> ont participé à la première formation du 18 septembre au 2 novembre 2012 (46 jours). Cinq maîtres formateurs du Froid et Climatisation<sup>2</sup> ont participé à la première formation du 16 mai au 1<sup>er</sup> juillet 2011 (47 jours). Les mêmes maîtres formateurs ont participé à la deuxième formation du 16 août au 29 septembre 2012 (45 jours). En outre, le personnel de l'INPP a participé à d'autres groupes de formations dans le domaine de la formation professionnelle menée au Japon.
- Formation au Sénégal: Les formations organisées au Sénégal pour la Formation du Tronc Commun. Huit maîtres formateurs ont été formés en Mécanique : 1) du 4 janvier au 19 février 2011 (47 jours) et 2) du 11 juillet au 19 août 2011 (40 jours). Les huit autres maîtres formateurs ont été formés en Electrotechnique : 1) du 4 janvier au 26 février 2011 (54 jours) et 2) du 2 au 19 août 2011 (17 jours).

## (2) Le côté congolais

Les intrants majeurs fournis par l'INPP sont soulignés ci-dessous. Les détails des intrants fournis par le côté INPP sont attachés comme Annexe 3-10 à 3-12.

- Le placement des membres du Projet: au début du Projet, les membres du Projet, du côté congolais (les homologues), ont été affectés au Projet ; ce sont des représentants de l'INPP, de la Direction Générale au niveau des entités. En plus, le personnel de l'INPP a été affecté à la Commission de Diffusion, à la Commission de Gestion et d'Amélioration et les quatre groupes de travail.
- Contributions financières: 221.338.974.CDF (équivalent de 238.345<sup>3</sup> \$ US) ont été dépensés pour la mise en œuvre du Projet. En particulier, des consommables, des allocations, le transport journalier des formateurs, le logement, des rafraichissements et la restauration ont été supportés par le côté congolais.
- Contributions en nature: les bureaux et les espaces de travail, selon les besoins des experts

<sup>1</sup> Au total, deux formations seront menées au Japon pendant ce Projet.

<sup>2</sup> Au total, trois formations seront menées au Japon pendant ce Projet.

<sup>3</sup> Le taux d'échange appliqué était de 1\$ US pour 940CDF(2012)/911CDF(2011) (Source: INPP).

et des homologues, ont été assurés par l'INPP. D'autres articles tels que les mobiliers de bureau et les factures d'eau et d'électricité ont été assurés par l'INPP.

Conformément au PV, les personnels clés suivants de l'INPP jouent des rôles clés en tant que membres du Projet :

- Directeur du Projet: Administrateur Directeur Général de l'INPP
- Gérant du Projet: Directeur Technique de l'INPP
- Coordinateur du Projet: Directeur Provincial de l'INPP-Kinshasa

### 2-1-2. Résultats

Les membres du Projet, de deux côtés, la RDC et le Japon, travaillent ensemble pour réaliser les activités du Projet, planifiées lors de la formulation du Projet. Les trois résultats attendus et établis sont cités ci-dessous.

Résultat 1	Le dispositif de mise en œuvre de la formation de base en Tronc Commun est renforcé.
Indicateurs	<p>1-1 Le plan de formation de base en Tronc Commun (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>1-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en Tronc Commun sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>1-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation de base en Tronc Commun et révisés au moins à deux reprises au cours du Projet.</p>

Les activités pour réaliser le Résultat 1 sont en cours. Suivant les indicateurs cités ci-haut, l'Indicateur 1-1 est déjà réalisé. L'Indicateur 1-2 sera évalué à l'échéance ; donc il est trop tôt de faire l'évaluation finale. Au cours de l'évaluation à mi-parcours, les membres du Projet de deux côtés sont sûrs de réaliser cet indicateur avant la fin du Projet. Quant à l'Indicateur 1-3, la révision et la modification des modules de formation et des matériels pédagogiques sont considérées comme des activités en cours. Les homologues ont très bien compris les raisons de cette révision et modification, en raison du transfert de technique mené par les experts.

Résultat 2	Le dispositif de mise en œuvre de la formation spécialisée est renforcé.
Indicateurs	<p>2-1 Le plan de formation spécialisée (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>2-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>2-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation technique spécialisée et révisés au moins à deux reprises au cours du Projet.</p>

Il y a un retard dans l'évolution de la réalisation du Résultat 2. Une raison majeure de ce retard se rapporte à la Catastrophe de TOHOKU en 2011. Pour la Mécanique Automobile, la première

formation au Japon n'a pas pu avoir lieu à cause des événements de cette Catastrophe. Le Projet s'est arrangé autrement pour poursuivre les activités prévues. La décision, pour le moment, a été d'envoyer un expert en Automobile du Japon à l'INPP. Selon le Projet, ce retard n'influencera pas le niveau de réalisation du Résultat 2 d'ici la période de l'évaluation finale.

Quant au Froid et Climatisation, les activités se déroulent comme prévues. La formation des maîtres formateurs a aussi eu lieu au Japon comme planifié.

Résultat 3	Le dispositif de mise en œuvre de la formation pédagogique est renforcé
Indicateurs	<p>3-1 Le plan de formation pédagogique (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>3-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>3-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation pédagogique et révisés au moins à deux reprises au cours du Projet.</p>

Les activités planifiées pour réaliser le Résultat 3 sont en cours. Les maîtres formateurs ont été formés par les experts. Ils sont en train de dispenser la formation aux formateurs sous la supervision des experts. Conformément aux besoins identifiés au cours de la mise en œuvre du Projet, la durée de la présence de l'expert dont la spécialisation est la Pédagogie a été prolongée.

### 2-1-3. But du Projet

But du Projet	Les capacités techniques des formateurs sont renforcées principalement dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation de l'INPP.
Indicateurs	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en Tronc Commun obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> <li>2. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> <li>3. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> </ol>

Il est trop tôt d'évaluer le niveau de réalisation du but du Projet au cours de l'évaluation à mi-parcours. Ce Projet a été conçu pour évaluer les trois indicateurs après la fin de la formation dispensée par les maîtres formateurs. Le Projet a organisé des formations pour renforcer la capacité des maîtres formateurs jusqu'à la période de l'évaluation à mi-parcours. Sur base des résultats des interviews menées auprès des membres du Projet de deux côtés, la RDC et le Japon, il y a un changement positif de mentalité chez les maîtres formateurs et certains formateurs. Donc, la Mission croit que le Projet est sur la bonne voie pour réaliser le but du Projet.

Sur base des discussions entre les Experts et la Mission, les clarifications suivantes ont été



apportées pour une meilleure compréhension du niveau de réalisations des experts d'ici la fin du Projet :

- Les indicateurs 1 et 3 : le niveau des réalisations des Experts se rapporte aux formateurs de l'INPP qui reçoivent une formation pendant le Projet pour le renforcement de leurs capacités en vue de la mise en œuvre d'une formation nationale standardisée.
- L'indicateur 2 : le niveau des réalisations des Experts se rapporte au renforcement des capacités des maîtres formateurs pour une assimilation nécessaire de la nouvelle connaissance technique qui a été transmise par les Experts dans ce Projet.

#### 2-1-4. Objectif global

Objectif global	La formation professionnelle de qualité est offerte à l'INPP principalement dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation.
Indicateurs	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Le nombre d'anciens stagiaires de l'INPP-Kinshasa (filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation) ayant créé leur propre entreprise et/ou trouvé une situation dans une entreprise augmente par rapport au début du Projet.</li> <li>2. Accroissement du niveau de satisfaction des compagnies qui ont employé les anciens stagiaires de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation à l'INPP.</li> <li>3. Les stagiaires dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation de l'INPP améliorent les notes obtenues à l'examen de la fin de formation.</li> <li>4. Accroissement du niveau de satisfaction des stagiaires qui ont fini leur formation en Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation à l'INPP.</li> <li>5. Accroissement du résultat de critères d'appréciation d'une leçon de formateurs ayant suivi la formation pédagogique.</li> </ol>

La Mission n'a trouvé aucun document écrit pour évaluer le niveau de réalisation de l'objectif global. Il est compréhensible qu'aucun document ne soit disponible par rapport aux indicateurs quand on considère le fait que le temps consommé pour la mise en œuvre de ce Projet n'est que d'une année à peine. Selon l'INPP, l'effectif de stagiaires en 2011 était de 24.688. En le comparant à l'effectif de 2004, il était de moins de 5.000. Il y a eu une augmentation énorme en effectif. Pourtant, la Mission n'a pas pu faire un lien direct entre cette augmentation et le Projet.

En collaboration avec la Fédération des Entreprises du Congo (FEC) et l'Association Nationale des Entreprises du Portefeuille (ANEP), l'INPP est entrain de ménager des mécanismes de partenariat appropriés pour qu'il soit en mesure de réaliser l'objectif global. L'INPP est censé intégrer les structures organisationnelles pour récolter les données de référence afin d'évaluer la réalisation des cinq résultats décrits ci-haut. L'INPP est aussi censé coordonner l'assistance lui accordée par les partenaires de développement tels que le Japon, la France, l'Inde et d'autres pays dans les années à venir dans le but de moderniser et d'améliorer davantage la qualité de la formation. Comme résultat de tous les efforts fournis par l'INPP et ses partenaires de développement, on s'attend à ce que l'objectif global soit réalisé avec succès.

## 2-2. Procédé de mise en œuvre du Projet

Le Projet utilise les intrants fournis par les deux côtés. Le Comité Conjoint de Coordination (CCC) établi pour le Projet joue les rôles de conseiller et d'autorité dans le Projet comme prévu lors de la formulation du Projet. Dans le Projet, certaines activités serviraient à accroître la capacité de gestion de l'INPP. Dans cette perspective : 1) les 5S ont été introduits au côté congolais, et 2) l'élaboration d'une base des données des inventaires d'outils et équipements au niveau des entités; ceci a commencé.

Malgré le niveau élevé de motivation et d'engagement manifesté par les membres du Projet, de deux côtés, pour la mise en œuvre du Projet, la Mission a identifié quelques points à améliorer dans le mécanisme et la méthode de la mise en œuvre du Projet comme résultat de l'évaluation à mi-parcours.

Voici les problèmes trouvés dans ce Projet :

### (1) Le procédé de prise de décision

Au début de la mise en œuvre de la formation nationale, il y avait une confusion dans le procédé de prise de décision. Par exemple, les étapes telles que le procédé de revue des modules et des matériels pédagogiques du Projet pour la formation en Tronc Commun et l'octroi des certificats à la fin d'une formation n'ont pas été clairement comprises par tous les membres concernés par le Projet.

### (2) La disponibilité des outils et équipements aux entités de l'INPP

L'INPP n'est pas vraiment au courant du genre d'équipements que lui fournira le Projet d'ici la fin du Projet. Les experts ont la responsabilité de partager de telles informations à temps et avec exactitude avec le côté congolais. Les méthodes de communication utilisées par les experts pourraient ne pas être très transparentes pour donner une compréhension mutuelle du Projet par les deux côtés. En plus, la base des données des inventaires des équipements fournis par le Projet n'est pas encore élaborée pour un usage efficace de ces outils et équipements.

Bien que le Projet ait fourni certains outils et équipements selon les besoins des homologues et l'évaluation faite par le côté japonais au début du Projet, l'INPP n'a pas assez d'outils et d'équipements.

### (3) Les dispositions prises pour la participation des formateurs aux formations

Les homologues de ce Projet sont tenus responsables de leurs devoirs réguliers pendant la mise en œuvre du Projet. De temps en temps, ils étaient omis des activités du Projet alors qu'ils en avaient mandat urgent et/ou régulier.





### **2-3. Evaluation sur base de cinq Critères<sup>4</sup>**

Les points ci-après constituent le résumé de résultats de l'évaluation effectuée sur base de cinq critères d'évaluation tels que décrits au point 1-5 ; et les détails y afférent sont indiqués à l'annexe 1-3.

#### **2-3-1. Pertinence**

La pertinence de ce Projet est élevée parce que les objectifs lui assignés non seulement restent cohérents avec sa politique de mise en œuvre mais aussi sont en adéquation avec les besoins du gouvernement de la RDC. L'ordonnance-loi N° 206 du 29 juin 1964 a autorisé la création de l'Institut National de Préparation Professionnelle (INPP) en RDC. Depuis la mise en application de cette ordonnance, l'INPP a le statut d'un institut de formation professionnelle. Le DSCRP 2 (2011-2015) déclare également la nécessité d'augmenter le niveau de l'emploi à travers la formation professionnelle.

L'INPP est membre actif de la commission interministérielle<sup>5</sup>, organe institué en vue de la gestion et la mise en œuvre de l'enseignement technique et la formation professionnelle en RDC. Cette commission est composée des ministères ci-après :

- Ministère de l'emploi, travail et prévoyance sociale<sup>6</sup>
- Ministère de l'enseignement supérieur, universitaire et recherche scientifique
- Ministère de l'enseignement primaire, secondaire et professionnel
- Ministère des affaires sociales, actions humanitaires et de la solidarité nationale.
- Ministère de la jeunesse et sports.

Au niveau politique, la Commission est la plate-forme qui permet une meilleure coordination parmi les Ministères cités ci-haut, luttant pour l'amélioration de l'enseignement technique et la formation professionnelle en RDC. Sous la conduite de cette Commission, l'INPP est mieux placé pour réaliser ses objectifs.

Le gouvernement japonais n'a pas changé ses priorités en matière d'aide à la RDC et l'une de ces priorités est le développement économique. Lors de la quatrième Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique (TICAD IV) tenue à Tokyo en 2008, l'importance de développer le secteur de l'enseignement secondaire et universitaire s'est fait sentir. Parmi les

---

<sup>4</sup> L'équipe d'évaluation a appliquée les cotations suivantes: élevée, relativement élevée, assez faible, relativement faible et faible.

<sup>5</sup> Les responsabilités conférées à la commission Interministérielle sont les suivantes :

1) Etablir une synergie d'actions

2) Echanger des expériences entre ministères et institutions concernés par l'enseignement technique et la formation professionnelle

3) Appuyer le gouvernement de la RDC de plaider à l'égard des bailleurs de fonds en vue de hausser sensiblement les fonds que les différents bailleurs accordent à l'enseignement et à la formation professionnelle.

4) Encourager l'amélioration de la pédagogie, les programmes de formation ainsi que les systèmes d'évaluation en tenant compte des besoins économiques ainsi que ceux du marché du travail.

<sup>6</sup> L'INPP est sous tutelle du Ministère de l'emploi, travail et prévoyance sociale.

secteurs clés identifiés dans ce domaine, on y trouve la formation professionnelle, qui est un outil très important pour la création d'une main d'œuvre qualifiée en vue du développement de la RDC. Par conséquent, eu égard aux aspects susmentionnés qui constituent la finalité même du projet, l'on peut conclure que le projet INPP est en conformité avec la politique d'aide du gouvernement japonais pour la RDC.

### 2-3-2. Efficacité

L'efficacité du Projet est relativement élevée. La raison en est que la première phase du Projet qui a été consacrée à la formation des maîtres formateurs est toujours en cours. La deuxième phase du projet destinée à la formation de transfert par les maîtres formateurs aux autres formateurs des entités de l'INPP vient à peine de commencer de telle sorte qu'au stade actuel du Projet, l'équipe d'évaluation à mi-parcours ne peut pas procéder à l'évaluation globale de la pertinence et de la qualité de ses résultats. Cependant, l'équipe d'évaluation estime que l'objectif du projet INPP sera atteint si et seulement si le même niveau d'engagement dont ont fait preuve les homologues congolais ainsi que les experts japonais se poursuit jusqu'à la fin du projet.

A ce stade, il n'y a pas encore eu de problème majeur en ce qui concerne l'envoi des experts japonais ainsi que l'acquisition des équipements du Projet à l'INPP. D'après l'INPP, les formations organisées au Japon constituent une approche efficace qui donne l'opportunité à certains homologues congolais de palper du doigt les méthodes pratiquées depuis longtemps au Japon dans le secteur de la formation professionnelle.

Cependant, il y a une marge d'amélioration dans:

- 1) La conception du contenu de formation
- 2) Le processus de mise en œuvre de la formation.

Par exemple, les attentes des participants à la formation n'ont pas été entièrement satisfaites. De même, le temps requis pour l'élaboration des supports pédagogiques en français pourrait ne pas avoir été obtenu.

D'après les résultats des entrevues qui ont été menées de deux côtés, toutes les formations planifiées et celles en cours s'avèrent très utiles pour les formateurs de l'INPP.

La partie congolaise a fait remarquer que la mise en œuvre du projet INPP s'est butée à l'obstacle majeur de manque de matériels et équipements auxquels faisait face l'INPP.

Aujourd'hui, l'INPP a partiellement surmonté l'obstacle par l'acquisition des lots des matériels et équipements du Projet.

La méthode d'élaboration de programmes de formation basée sur la structure des habiletés professionnelles (CUDBAS) s'est avérée être une méthode appropriée pour l'élaboration de programmes de formation y compris les modules de formation ainsi que les matériels didactiques.



Cependant, l'équipe d'évaluation estime que la méthode CUDBAS s'avère une méthode modèle efficace pour le renforcement des capacités des formateurs de l'INPP.

### 2-3-3. Efficience

L'efficience du Projet est considérée comme relativement élevée étant donné que les niveaux de réalisation des résultats attendus évoluent sûrement. L'élément essentiel de cette évaluation est que les activités du Projet ont été réalisées telles que planifiées, du moins pour la plus part. Toutefois, d'après les experts du Projet, les résultats attendus 2 et 3 du projet connaissent un peu de retard de réalisation et s'attendent à ce que les activités restantes soient réalisées avant la fin du Projet.

Cependant, les apports de la partie japonaise ont été fournis tels que convenu dans le PV. Sur proposition faite par les experts du projet, le nombre d'experts envoyés en RDC par la partie japonaise a connu une hausse et aux vues de la partie congolaise, il n'y a pas de souci majeur en rapport avec les apports de la partie japonaise. D'après les homologues ainsi que les experts du Projet, la dotation des équipements, le transfert des connaissances et expériences par la partie japonaise à la partie congolaise se sont avérés appropriés et utiles.

D'après les participants à la formation de la contrepartie, la durée impartie à cette formation au Japon est trop courte pour répondre aux besoins et aux attentes de chaque participant. Eu égard à cela, certains participants ont déjà formulé des recommandations auprès des experts du projet avant et à leur retour de cette formation.

Les apports de la partie congolaise, pour la plupart, ont également été fournis tel que convenu dans les accords. Au moment de l'évaluation à mi-parcours, l'équipe d'évaluation a pu constater une relation étroite d'échanges entre les experts du Projet et le personnel de la Direction Générale de l'INPP impliqués dans le Projet en vue d'assurer la durabilité du Projet. En même temps, il convient de souligner que l'appui de la Conseillère Technique de la JICA en formation professionnelle est considérable et devrait être mis en évidence comme un des facteurs contributifs du Projet.

Cependant, il s'avère nécessaire du moins pour le temps restant de la mise en œuvre du Projet, que l'on crée du temps aux formateurs afin que ceux-là qui sont en formation soient à l'abri de tout dérangement en vue d'une bonne concentration. D'après les experts du Projet, les maîtres formateurs alors qu'ils donnent cours sont des temps en temps sollicités pour aller vaquer à d'autres tâches auxquelles ils sont assignés dans leurs Services respectifs. Par conséquent, des nouvelles dispositions et un nouvel environnement de formation sont à envisager par le projet pour permettre aux formateurs de se consacrer entièrement aux activités du projet.

#### 2-3-4. Impact (perspectives)

L'impact du Projet est assez élevé.

Il est probable que les formations planifiées et mises en œuvre dans le Projet, seront un facteur contributif de la réalisation de l'objectif global de la partie congolaise.

Les homologues congolais ont fait remarquer que les formations données aux formateurs de l'INPP dans le cadre du Projet, ont renforcé leur confiance bien qu'il ne soit pas si facile de déterminer clairement combien cela est imputable au Projet. La Haute Direction de l'INPP a fait remarquer également que la qualité de performance des formateurs impliqués dans le Projet s'améliore davantage.

Un des exemples concrets, la Fédération des Entrepreneurs de la RDC (FEC) manifeste plus d'intérêt actuellement de renforcer son partenariat avec l'INPP. Un autre cas, ce sont les demandes similaires de la part de l'ANEP (Association Nationale des Entreprises du Portefeuille) et le nombre croissant des nouveaux stagiaires sollicitant l'inscription à l'INPP.

Au moment de l'évaluation à mi-parcours, l'équipe d'évaluation a pu constater des facteurs positifs et négatifs par rapport à l'état actuel de réalisation. Les facteurs contributifs ainsi que facteurs entravant la réalisation du Projet ont été identifiés et sont repris dans le tableau 1 ci-dessous.

Les résultats du Projet devraient contribuer à l'amélioration de la qualité de formateurs de l'INPP à travers tout le pays, bien que cela nécessite encore une intervention supplémentaire pour que l'INPP puisse surmonter les obstacles auxquels il fera face dans les années à venir.

Par conséquent, l'équipe d'évaluation a pu constater qu'il y a suffisamment des facteurs qui contribuent à la réalisation de l'objectif global du Projet.

Tableau 1 Les Facteurs Contributifs et Facteurs entravant la réalisation de l'objectif global du Projet tels que identifiés par l'équipe d'évaluation

Facteurs Contributifs	Facteurs entravant
<ul style="list-style-type: none"><li>• L'image qu'avait l'opinion publique vis-à-vis de l'INPP a changé et l'INPP aux vues de FEC et ANEP est devenu un institut de formation plus fiable.</li><li>• L'assistance des autres partenaires au développement de l'INPP dans le domaine de la formation professionnelle est en train d'aller vers l'avant.</li><li>• Création d'un nouveau service qui sera chargé de mettre en place une structure de suivi des stagiaires ayant terminé leur formation à l'INPP.</li><li>• Le recrutement des nouveaux formateurs est aussi envisagé par la Direction Générale de l'INPP.</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Insuffisance des matériels et équipements nécessaires pour les formations qui se donnent à l'INPP.</li><li>• Budget non conséquent alloué à la réhabilitation des installations de l'INPP y compris les salles de classes et laboratoires.</li></ul>

### **2-3-5. Durabilité (perspectives)**

Bien qu'il soit trop tôt d'évaluer la durabilité du Projet au moment de l'évaluation mi-parcours, l'équipe d'évaluation a constaté que sa durabilité est néanmoins relativement élevée en se basant aux résultats des entrevues effectuées avec les membres impliqués dans le Projet du côté congolais comme du côté japonais.

#### **(1) Aspects organisationnels et politiques**

La durabilité du Projet du point de vue organisationnel et politique est élevée.

Dans la section II relative à la responsabilité dans la formation, l'article 5 de l'Ordonnance N0 71-055 du 26 mars 1971, stipule que l'INPP est assigné comme tâches : 1) d'organiser des formations qui sont en adéquation avec les besoins du monde industriel 2) de former des formateurs qualifiés conformément aux dispositions de l'article 5 du Code du Travail.

A l'article 6 de l'ordonnance, il est stipulé que l'INPP organisera des formations chaque fois que cela lui sera demandé par le Ministère en charge du Travail. Par conséquent, l'équipe d'évaluation a pu constater que l'INPP est réellement une institution de création d'emploi ainsi que des formateurs qualifiés en RDC.

Le DSCR 2 (2011-2015) déclare également la nécessité d'augmenter le niveau de l'emploi à travers la formation professionnelle.

#### **(2) Aspect financier**

La durabilité du Projet du point de vue financier est assez élevée.

Toutefois, il a été difficile d'évaluer la durabilité du Projet du point de vue financier au moment de l'évaluation à mi-parcours étant donné que la fréquence ainsi que le coût global des formations jusqu'à la fin du Projet n'a pas encore été déterminé par l'INPP.

D'après les entrevues effectuées auprès des homologues congolais, l'INPP essaie de se procurer certains outils et matériels qui lui sont demandés par la contrepartie pendant la mise en œuvre du projet et après l'achèvement du projet. Cependant, la date exacte pour réaliser le coût des formations n'a pas été déterminée au moment de l'évaluation à mi-parcours.

D'après l'INPP, les contrôleurs de recouvrement chargés du recouvrement des cotisations patronales auprès des entreprises affiliées à l'INPP sont plus capables d'illustrer le genre de service que l'INPP peut leur fournir dû à l'impact du Projet. Ceci est l'un des facteurs favorisant leur comportement vis-à-vis de l'INPP. Ce changement peut être traduit comme un facteur d'une probabilité élevée de croissance du revenu de l'INPP.

Le tableau 2 indique le pourcentage actuel des cotisations patronales des entreprises affiliées à l'INPP.

Tableau 2

Taux (%) de cotisations patronales par les entreprises

Effectifs du personnel	% de cotisations patronales par les entreprises (contre les effectifs du personnel)
1 à 50	3%
51 à 300	2%
300 et au-delà	1%

Malgré le mécanisme mis en place par l'INPP, le résultat des entrevues effectuées à la Direction Générale de l'INPP indiquent un déficit financier auquel ils sont confrontés. La FEC ainsi que l'ANEP, deux principaux partenaires de l'INPP, du point de vue financier, ils éprouvent des difficultés d'accorder des contributions financières conséquentes pour répondre aux besoins de l'INPP.

Ces affiliés ont des besoins et en vue d'y répondre, l'INPP est tenue de mettre en œuvre une synergie des stratégies communes pour sa modernisation avant la fin du Projet.

Dans le cas contraire, l'INPP ne sera pas en mesure de répondre aux besoins et demandes lui adressés par ses affiliés.

### (3) Aspect technique

La durabilité du point de vue technique est relativement élevée.

L'équipe d'évaluation a pu collecter des données tant qualitatives que quantitatives durant l'étude préliminaire du Projet et pendant la période de mise en œuvre du Projet avant l'évaluation à mi-parcours.

D'après les experts, la capacité technique des homologues congolais a été renforcée grâce au Projet. En outre, ils estiment que la capacité technique des homologues congolais sera davantage renforcée durant la période restante de mise en œuvre du Projet et l'INPP est tenu à continuer à faire la même chose et même à réaliser les formations similaires même après l'achèvement du projet.

Dans le cadre du renforcement de capacités de gestion de l'INPP-Kinshasa, le projet a fait des recommandations auprès du service des inventaires de procéder à l'inventaire des équipements du Projet. Cependant, l'INPP est tenu d'établir des listes des équipements pour un suivi en vue de l'entretien régulier. Cette méthode de suivi structurée devrait être institutionnalisée au sein de l'INPP. En plus de cela, l'INPP connaît déjà l'introduction des activités des 5S. A l'INPP-Kinshasa, le Sous-directeur Provincial en est le point focal et petit à petit, il fait le suivi des activités des 5S. Les 5S est une intervention moins coûteuse en vue de l'amélioration de l'environnement de travail/ de formation de l'INPP. L'équipe d'évaluation a apprécié le fait que l'INPP a compris la nécessité d'application des 5S.



### **3. Revision de PDM**

Sur base de l'évaluation, les deux côtés sont d'accord qu'il n'est pas nécessaire de modifier le PDM version 2 tel qu'attaché en ANNEXE 2.

### **4. Conclusion**

Dans l'ensemble, le Projet a été réalisé comme prévu, jusque là, d'après les besoins du Gouvernement de la RDC. Un certain progrès du Projet a été observé, tel que la formation des maîtres formateurs par les experts japonais et sénégalais, les formations au Japon et les formations au Sénégal. Les programmes de formation des formateurs menés par les maîtres formateurs formés sont établis et ont commencé. La révision et la modification des modules de formation et des matériels pédagogiques sont en cours. La motivation du côté congolais est élevée quant au renforcement des capacités des formateurs de l'INPP à travers ce Projet. Ainsi, si les membres du Projet, du côté congolais et du côté japonais, continuent à travailler ensemble dans la mise en œuvre des activités de ce Projet, le but du Projet sera atteint avec succès à la fin du Projet.

### **5. Recommandations**

Pour améliorer le mécanisme de la mise en œuvre et l'environnement des activités d'ici la fin du Projet, les recommandations suivantes sont faites par la Mission :

#### **5-1. L'assurance de la qualité des formations**

Certains participants à la formation des formateurs étaient appelés à quitter la salle de formation de temps en temps à cause des responsabilités qui leur sont confiées. Pour assurer la qualité de formation, garantir un temps sans dérangement dû aux obligations régulières des formateurs participants, il est recommandé de prendre des dispositions pour que les participants se concentrent entièrement sur les activités du Projet. Entre-temps, les deux cotés, congolais et japonais, ont compris la nécessité d'établir un système d'évaluation du niveau des formateurs après leur formation. Il est donc recommandé de le mettre au point avant la fin du Projet, par un travail de collaboration étroite entre les deux parties.

#### **5-2 L'élaboration de la base de données des inventaires des outils et équipements**

Selon les résultats des interviews accordées au côté congolais, le manque d'outils et d'équipements à l'INPP a été mentionné à différents niveaux. Le Projet les a fourni en partie, sur base des besoins des activités du Projet et a commencé à élaborer la base des données des inventaires des outils et équipements à l'INPP-Kinshasa comme une partie du renforcement de capacité de la gestion. L'achèvement de l'élaboration de cette base des données le plus tôt possible est recommandé pas seulement pour identifier le manque et clarifier la nécessité d'approvisionner le reste pour le Projet, mais aussi pour que l'INPP établisse le plan et la détermination d'étendre ces activités en dehors de Kinshasa, même après le Projet.

### **5-3 L'amélioration de la formation des compétences spécialisées au Japon**

Selon les participants aux formations au Japon en Mécanique Automobile et en Froid et Climatisation, quelques recommandations pour amélioration ont été données. Il s'agit des suggestions suivantes : 1) la durée de la formation, 2) le reflet des besoins et les attentes des participants. La Mission du Projet compte revoir attentivement les méthodes et les contenus des formations qui seront dispensées avant la fin du Projet pour maximiser les effets des formations.

### **5-4 L'établissement du cycle de mise en œuvre de la formation des formateurs**

Les activités du Projet, avant la fin du Projet, seront concentrées sur la mise en œuvre de la formation des formateurs pour élargir l'expérience et les autres connaissances techniques des maîtres formateurs, celles qu'ils ont acquises à travers le Projet jusque là. En vue d'une mise en œuvre efficace, il est recommandé qu'un calendrier détaillé soit établi et que les séries des procédés pour la préparation soient clarifiées ; l'exécution et le feed-back à la formation future, et une exécution correcte seraient recommandées.

### **5-5 Le renforcement de collaboration entre le niveau de la prise de décision et le niveau de la mise en œuvre**

Pour une mise en œuvre efficace de la formation prévue des formateurs, une communication soutenue et une collaboration solide sont nécessaires entre la Direction Générale de l'INPP, la Commission de Diffusion, en tant que niveau de prise de décision, et INPP-Kinshasa et la Commission de Gestion et d'Amélioration en tant que niveau de mise en œuvre. La raison principale est d'éviter la confusion comme celle qui a existée au début de la mise en œuvre de la formation nationale.

### **5-6 La finalisation du manuel d'exécution de formation**

L'équipe d'experts japonais a proposé l'élaboration d'un manuel d'exécution de formation. Ce manuel sert à partager le procédé et le système de gestion de qualité, le cycle planifier-faire-vérifier-action-planifier, pour une exécution efficace de la formation nationale. La Commission de Diffusion a essayé d'utiliser ce manuel. Compte tenu de l'application future du manuel de l'INPP-Kinshasa aux entités de l'INPP dans des provinces, il est prévu que ce manuel soit finalisé le plus tôt possible, en collaboration avec les homologues et les experts japonais. Par la suite, ce manuel devrait être disséminé à toutes ces entités.

### **5-7 Perspective des activités de l'INPP vers les provinces**

Il est prévu que les résultats du Projet contribuent à l'amélioration de la qualité des formateurs de l'INPP à travers le pays. Bien que la période et les activités du Projet dans le cadre du Projet soient limitées, il est prévu que l'INPP établisse un plan de mise en œuvre continue en utilisant les fruits de ce Projet avant la fin du Projet. Pour la planification, il est prévu qu'il évalue la





situation actuelle et les besoins de chaque entité de l'INPP. Les points d'évaluation pourraient être concentrés sur : 1) le niveau attendu pour mener la formation des formateurs, 2) les besoins de la réhabilitation des bâtiments des entités, 3) la disponibilité des outils et équipements. Etablir une vue d'ensemble pour l'expansion des activités du Projet aux entités provinciales de l'INPP, cela est nécessaire pour le renforcement des capacités durable des formateurs de l'INPP. Il est prévu que les experts japonais prodiguent des conseils à l'INPP du point de vue technique et pédagogique d'ici la fin du Projet.

## **ANNEXES**

### **ANNEXE 1. Evaluation**

- 1-1. Réalisations du Projet
- 1-2. Progrès des activités du Projet – jusqu'au mois d'octobre 2012
- 1-3. Evaluation par Cinq Critères

### **ANNEXE 2. Cadre logique (PDM ver.2)**

### **ANNEXE 3. Intrants au Projet**

- 3-1. Liste d'Experts Japonais
- 3-2. Liste de Formations réalisées par les Experts Japonais en Pédagogie
- 3-3. Liste de Formations réalisées par les Experts Japonais en Motorisation
- 3-4. Liste de Formations réalisées au Japon en Froid et Climatisation
- 3-5. Liste de Formations réalisées au Japon en Motorisation
- 3-6. Liste de Formations réalisées par les Experts Sénégalais de CFPT
- 3-7. Liste de Formations réalisées au Sénégal
- 3-8. Liste d'Équipements obtenus pendant ce Projet
- 3-9. Coût des locaux/local du côté Japonais
- 3-10. Liste d'homologues Congolais
- 3-11. Liste de groupes de travail organisés pendant ce Projet
- 3-12. Coût des locaux/local du côté Congolais

Handwritten mark

ANNEXE 1-1 Les réalisations du Projet

Intitulé du Projet: Renforcement de capacité des Formateurs de l'Institut National de Préparation Professionnelle (INPP) en République Démocratique du Congo

Résumé narratif du Projet	Indicateurs objectivement vérifiables	Résultats (au cours de la Revue à mi-parcours)
<p>&lt;Objectif global (Objectif du Programme)&gt; La formation professionnelle de qualité est offerte à l'INPP principalement dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Le nombre d'anciens stagiaires de l'INPP Kinshasa (filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation) ayant créé leurs propres entreprises et/ou trouvé une situation dans une entreprise augmentée par rapport au début du projet.</li> <li>2. Accroissement du niveau de satisfaction des entreprises qui ont employé les anciens stagiaires de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation à l'INPP.</li> <li>3. Les stagiaires dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation de l'INPP améliorent les notes obtenues à l'examen de la fin de formation.</li> <li>4. Accroissement du niveau de satisfaction des stagiaires qui ont fini leur formation en Mécanique Automobile et en Froid et Climatisation à l'INPP.</li> <li>5. Accroissement des résultats de critères d'appréciation d'une leçon de formateurs ayant suivi la formation pédagogique.</li> </ol>	<p>Aucune documentation écrite n'a été obtenue pour évaluer le niveau des réalisations de l'objectif global sauf le document sur le nombre de stagiaires. Conformément au document présenté par l'INPP, l'effectif de stagiaires en 2011 était de 24.688. Comparé à l'effectif de 2004, il était inférieur à 5.000.</p> <p>Selon le côté congolais, ils croient que:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Le nombre de stagiaires engagés par des entreprises augmente, et leur capacité de satisfaire ces entreprises après leur formation augmente aussi.</li> <li>• La qualité de formation s'améliore en raison des efforts des maîtres formateurs.</li> <li>• Le renforcement de capacité des maîtres formateurs et des formateurs est en cours.</li> <li>• La modernisation de certains matériels pédagogiques est en cours.</li> </ul>
<p>&lt;But du Projet&gt; Les capacités techniques des formateurs sont renforcées principalement dans les filières de Mécanique Automobile et de Froid et Climatisation de l'INPP.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en Tronc Commun obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> <li>2. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> <li>3. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le Projet.</li> </ol>	<p>Le Projet a été conçu pour évaluer le niveau de réalisations conformément aux indicateurs (à gauche) après avoir terminé la formation des formateurs par les maîtres formateurs. Certaines de ces formations sont en préparation et/ou en cours pendant cette Revue à mi-parcours. Donc, il est trop tôt d'évaluer le niveau de réalisations de l'ensemble du programme de formation prévu par le Projet au cours de cette Revue à mi-parcours. Le pourcentage suivant ne montre que le taux de satisfaction basée sur la formation achevée jusqu'au mois d'octobre 2012. Environ 300 formateurs recevront la formation au cours de ce Projet. Les nombres suivants reflètent seulement 10% du nombre total des formateurs qui seront formés d'ici la fin de ce Projet.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Indicateur 1: 85%</li> <li>• Indicateur 2: Froid &amp; Climatisation – 86%, Automobile – 83%</li> <li>• Indicateur 3: 100%</li> </ul>

<p>&lt; Résultat 1&gt; Le dispositif de mise en œuvre de la formation de base en Tronc Commun est renforcé.</p>	<p>1-1 Le plan de formation de base en Tronc Commun (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>1-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en Tronc Commun sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>1-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation de base en Tronc Commun et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p>	<p>1-1 Le Projet a élaboré le programme de formation en Tronc Commun. D'ici la fin du Projet, 160 formateurs seront formés. 16 formations seront menées (10 participants par formation). 155 heures sont accordées par formation (22 jours à part les voyages et les jours fériés).</p> <p>1-2 Le taux de satisfaction a été de 83%. Ce taux reflète seulement les voix des bénéficiaires des formations menées au cours du Projet jusqu'à la période de la Revue à mi-parcours.</p> <p>1-3 Les modules de formation et les matériels pédagogiques pour la formation en Tronc Commun ont été élaborés. Sur base de des modifications nécessaires, identifiés après la première formation, des changements ont été apportés sur le nombre d'heures de formation. Comme résultat, 7 heures sont ajoutées à la durée de la formation.</p>
<p>&lt; Résultat 2&gt; Le dispositif de mise en œuvre de la formation spécialisée est renforcé.</p>	<p>2-1 Le plan de formation spécialisée (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>2-2 Plus de 80% de formateurs ayant suivi la formation spécialisée sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>2-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation technique spécialisée et révisés au moins à deux reprises au cours du Projet.</p>	<p>2-1 L'élaboration du programme de formation spécialisée et les formations sont en cours. D'ici la fin du Projet, 65 formateurs seront formés (23 pour le Froid &amp; Climatisation, 42 pour la Motorisation). Pour le Froid &amp; Climatisation, 6 formations seront menées (11 participants par formation). 135 heures sont accordées par formation (20 jours, à part les voyages et les jours fériés). Pour la Motorisation, 5 formations seront menées (8-9 participants par formation). 99 heures sont accordées par formation (17 jours, à part les voyages et les jours fériés).</p> <p>2-2 Pour le Froid &amp; Climatisation, le taux de satisfaction a été de 78%. Pour la Motorisation, le taux de satisfaction de la formation dispensée par l'expert aux maîtres formateurs a été de 100%.</p> <p>2-3 Les modules de formation et les matériels pédagogiques pour le Froid &amp; Climatisation ont été élaborés. Aucune modification de ces documents n'est prévue puisque toutes les formations prévues, pour les formations planifiées, se tiennent au Japon. Les modifications éventuelles seront apportées lors de la formation des formateurs en RDC. Les dispositions similaires seront prises pour la Motorisation.</p>
<p>&lt; Résultat 3&gt; Le dispositif de mise en œuvre de la formation pédagogique est renforcé</p>	<p>3-1 Le plan de formation pédagogique (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>3-2 Plus de 80% de formateurs ayant suivi la formation pédagogique sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>3-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation pédagogique et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p>	<p>3-1 Le Projet a élaboré le programme de formation en Pédagogie. D'ici la fin du Projet, 79 formateurs seront formés. 8 formations seront menées (10 participants par formation). 100 heures ont été accordées par formation (17 jours, à part les voyages et les jours fériés).</p> <p>3-2 Le taux de satisfaction des maîtres formateurs concernant la formation dispensée par l'expert a été de 100%. La première formation des formateurs est en cours. Donc, le taux de satisfaction n'est pas encore connu.</p> <p>3-3 Des modifications éventuelles seront apportées après la fin de la première formation des formateurs, au besoin.</p>

ANNEXE 1-2. Progrès des activités du Projet – jusqu'au mois d'octobre 2012

Activités prévues	Résultats
<p>0-1 Mettre en œuvre l'étude statistique de base.</p> <p>0-2 Fournir le matériel nécessaire pour la formation des services concernés en aménageant le système de maintenance.</p> <p>0-3 Etablir un système pour améliorer l'environnement de la formation</p>	<p>0-1. Une étude primaire a été réalisée entre le mois de mars et le mois de mai 2011, visant à: fixer un niveau et des critères d'évaluation concrets de le Cadre logique (PDM); dénombrer les effectifs des diplômés de l'INPP, leur insertion et leur situation professionnelle; évaluer les stagiaires dans les entreprise et les besoins du monde professionnel, pour une exécution efficace du Projet. Le résultat de cette étude a été rendu public aux personnes concernées par le groupe de travail (GT) lors d'une Comité Conjoint de Coordination (CCC) qui a eu lieu le 16 mai, puis résumé dans un rapport rédigé en japonais et en français.</p> <p>0-2. ①L'observation et l'examen du système de maintenance du matériel de la Direction Générale et de l'INPP-Kinshasa a donné lieu à une concertation pour mettre en place un système de gestion. ②Une assistance au choix et à l'approvisionnement local du matériel d'aide technique destiné à la formation de base commune (formation de Tronc Commun) a été mise en place. Le matériel de provenance locale a été remis à l'INPP en août et septembre 2011, et le matériel en provenance du Japon a été livré à l'INPP en juillet 2012. ③Le matériel destiné à la formation technique de spécialité a été choisi par les organismes japonais et livré à l'INPP aux mois d'août et septembre 2012.</p> <p>0-3. L'action 5S, fondée sur l'amélioration de l'environnement, a été déployée pour aménager l'environnement de cours. Un GT a été constitué, ainsi qu'un manuel, afin de transmettre aux formateurs le sens de l'action 5S. Des activités de rangement, de mise en ordre et de nettoyage ont été effectuées.</p>

- 1-1 Mettre en place une équipe de travail\* pour la formation de base en Tronc Commun (sept services concernés : Electricité, Electronique, Mécanique Générale, Automobile, Froid - Climatisation, Tôlerie – soudure et Contrôle Technique Automobile).
- 1-2 Elaborer le plan de formation de base en Tronc Commun.
- 1-3 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation de base en Tronc Commun par l'équipe de travail et le CFPT.
- 1-4 Former des maîtres formateurs au CFPT.
- 1-5 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation des formateurs par les maîtres formateurs sur base des directives et manuels élaborés. Former les formateurs par les maîtres formateurs de l'INPP.
- 1-6 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation de base en Tronc Commun.
- 1-7 Procéder au monitoring du résultat des formations et en tenir compte dans l'élaboration du plan de formation de base commune et dans les propositions d'encadrement.

- 1-1 En mars 2011, un groupe de 10 membres a été constitué, rassemblant le Directeur Provincial de l'INPP, le Chef d'Equipe, des membres ainsi qu'un superviseur. En fonction des besoins, ils collaborent régulièrement avec les maîtres formateurs sur l'étude du plan des formations de Tronc Commun, lors des réunions concernant les procédés d'évaluation des formateurs ou sur le contenu du programme de formation.
- 1-2 Ce travail a été effectué en mai 2010 à l'INPP ainsi qu'au Centre de Formation Professionnelle et Technique Sénégal-Japon (CEPT).
- 1-3 En 2010, le CFPT a élaboré de notice pédagogique destinée à la formation de base commune. Ces matériels, affectés au renforcement de compétence des formateurs, sont conservés par le GT de la formation (Tronc Commun) et ont servi, comme on le verra plus loin, de modèle à la rédaction d'une version INPP du programme standard de formation en Tronc Commun.
- 1-4 Une formation de 16 maîtres formateurs s'est déroulée à deux reprises, en janvier et février, puis en juillet et août 2011 au sein de CFPT.
- 1-5 ①En mars 2011, les maîtres formateurs ont élaboré un support pédagogique de transmission lors de la 1re session de formation du CFPT, à l'aide du matériel pédagogique élaboré en 1-3 et des documents de formation du centre. ②En outre, le projet d'une version INPP du programme de formation de base commune (formation en Tronc Commun) revisitant la formation du CFPT, ainsi que des propositions d'encadrement et du matériel pédagogique, ont été arrêtés en mars 2012.
- 1-6 ①A l'aide du matériel d'enseignement décrit notamment en 1-5, des formations de transmission comme celle de la 1re session de formation du CFPT, ont eu lieu à l'INPP-Kinshasa en mai 2011, et à l'INPP-Boma en juin de la même année; tout en apportant son assistance, l'équipe du présent Projet a procédé à un monitoring et des évaluations. ②Au vu des résultats de la 1re session de formation de transmission décrite en ① et des conclusions de l'examen du contenu de formation de la 2e session du CFPT en juillet et août, l'élaboration d'une version révisée du programme standard de formation de base commune (formation en Tronc Commun) du CFPT pour l'INPP a démarré en septembre (voir 1-5② plus haut). ③Suite à la version INPP du programme de formation de base commune décrite en 1-5 ②, les formations prévues des maîtres formateurs sont en cours.
- 1-7 ①L'équipe du présent Projet a examiné avec soin la formation décrite en 1-6, le contenu de formation de Tronc Commun, les propositions d'encadrement et le matériel pédagogique édités par le CFPT. Le Tronc Commun du CFPT contient – outre des compétences et des connaissances fondamentales – une partie spécialisée, qu'il a été décidé de réviser pour l'intégrer à la version de l'INPP. ②La version CFPT du Tronc Commun a été réorganisée pour séparer les 8 modules du Tronc Commun de l'INPP de 4 modules du Tronc Commun de l'INPP de 4 modules de spécialité ; hydraulique, pneumatique, soudure spécialisé, Automatique. ③Concernant la version INPP de la formation de base commune (formation de Tronc Commun), comme indiqué au point ②1-5, le programme, les propositions d'encadrement et le matériel pédagogique ont été déterminés en mars 2012 par les formateurs de formateurs.

- |  |   |
|--|---|
| <p>2-1 Mettre en place une équipe de travail pour la formation spécialisée (deux services concernés : Automobile et Froid - Climatisation).</p> <p>2-2 Mettre en œuvre l'étude sur les besoins des entreprises sur la formation.</p> <p>2-3 Identifier le niveau des techniques et connaissances des formateurs.</p> <p>2-4 Elaborer le plan de formation spécialisée.</p> <p>2-5 Former des maîtres formateurs par l'envoi d'expert et la formation au Japon.</p> <p>2-6 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation pour les formateurs.</p> <p>2-7 Former les formateurs par les maîtres des formateurs.</p> <p>2-8 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation spécialisée.</p> | <p>2-1 En mars 2011, un GT de formation technique de spécialité a été mis en place. Ce GT est subdivisé en deux groupes de 13 membres, composé de 5 formateurs du Service du Froid et Climatisation, et 7 du Service de la Mécanique Automobile. Ceux-ci collaborent régulièrement avec les maîtres formateurs pour l'examen des plans de formation, les réunions pour décider des critères d'évaluation des formateurs, ou au sujet du contenu des programmes de formation, le cas échéant.</p> <p>2-2 ①Concernant le Service de la Mécanique Automobile, une délégation de l'INPP accompagnée des experts envoyés à court terme en janvier 2012 se sont rendus dans les entreprises pour étudier leur besoin de formation concernant le Service de la Mécanique Automobile. ②Concernant le Service de Froid et Climatisation, une étude sur le besoin des entreprises a été réalisée par l'équipe de recherche d'un organisme de formation japonais envoyée en mission en 2010.</p> <p>2-3 ①L'équipe du projet a pu, au moyen de la méthodologie CUBDAS, comprendre l'état des connaissances et le niveau technique de tous les formateurs du Service de la Mécanique Automobile avant leur formation. Par ailleurs, des experts en mission à court terme ont réalisé une étude en janvier 2012 sur le niveau intellectuel et technique des maîtres formateurs du Service de la Mécanique Automobile pour opérer leur sélection. ②Pour le Service de Froid et Climatisation, l'étude et le rapport du niveau préexistant des formateurs est effectué par l'équipe de recherche exposée en 2-2. En outre, l'équipe du Projet a, lors de la formation qui s'est déroulée au Japon aux mois de mai et juin 2011, étudié et saisi l'état des connaissances intellectuelles et techniques des maîtres formateurs au moyen de la méthode CUBDAS.</p> <p>2-4 Service Mécanique Automobile : les experts envoyés en janvier 2012 ont proposé deux domaines de contenu technique de formation devant être enseigné aux formateurs du Service de la Mécanique et l'encadrement des cours par l'équipement et du matériel). Service Froid et Climatisation : l'organisme en charge de formation au Japon a déterminé un plan de formation sur le sol japonais basé sur les résultats de l'étude réalisée en 2-2.</p> <p>2-5 Le Service de Mécanique Automobile: une 1<sup>re</sup> session de formation de 3 maîtres formateurs dans le domaine des systèmes de contrôle électronique a été effectuée par les experts en automobile envoyés en janvier 2012. Et dans la deuxième formation au Japon il y a eu 5 maîtres formateurs. Froid et Climatisation : le perfectionnement des compétences est effectué par le biais de 3 formateurs au Japon (de 6 semaines chacune). Lors de la 1<sup>ère</sup>, à partir de mai 2011 (6 semaines), 5 maîtres formateurs ont effectué une formation. La 2<sup>ème</sup> formation a été menée du mois de septembre à octobre 2012.</p> <p>2-6 Service de la Mécanique Automobile : pas encore mise en œuvre. L'élaboration des matériels pédagogiques sera mise en œuvre en décembre 2013. Des propositions d'encadrement et du matériel pédagogique concernant les systèmes de contrôle électroniques mis en place en 2012 seront élaborés d'après le programme de la 2<sup>ème</sup> session de formation des maîtres formateurs (3 personnes) et du programme de formation réalisé au Japon. Il en sera de même en 2013 pour l'encadrement de cours avec de l'équipement et du matériel. Le Service de Froid et Climatisation : Du matériel pédagogique s'appuyant sur la 1<sup>re</sup> session a été élaboré. Cela sera pareil lors de la deuxième formation.</p> <p>2-7 Mécanique Automobile ; pas encore mise en œuvre (cette activité est censée être mise en œuvre après l'évaluation à mi-parcours.) Froid et Climatisation : la 1<sup>ère</sup> formation a été menée du juillet à août 2012.</p> <p>2-8 Mécanique Automobile ; pas encore mise en œuvre (cette activité est censée être mise en œuvre après l'évaluation à mi-parcours.) Froid et Climatisation : le suivi a été fait, toutefois, le reflet du feedback/commentaire n'est pas encore fait (cette activité est censée être mise en œuvre après l'évaluation à mi-parcours.)</p> |
|--|---|

<p>3-1 Mettre en place l'équipe de travail pour le Service de la Pédagogie.</p> <p>3-2 Identifier la situation actuelle concernant la formation pédagogique.</p> <p>3-3 Elaborer le plan de formation pédagogique</p> <p>3-4 Elaborer les directives et les manuels pédagogiques de formation.</p> <p>3-5 Mettre en œuvre la formation pédagogique des formateurs du service pédagogique.</p> <p>3-6 Former les formateurs par les maîtres formateurs.</p> <p>3-7 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation pédagogique.</p>	<p>3-1 5 personnes (dont une de l'INPP-Boma) du Service de Pédagogie, 1 du Bureau d'Etude de la Direction Générale de l'INPP, et 1 du Bureau de Supervision; soit au total 7 personnes.</p> <p>3-2 L'audition des employés, du groupe de travail pédagogique et la compilation du programme d'études de l'INPP lors du 1<sup>ère</sup> envoi d'experts (mars-avril 2011), ont permis de saisir l'état d'avancement de la formation.</p> <p>3-3 Guidés par les experts, ce GT et le Bureau de Supervision de la Direction Générale de l'INPP sont actuellement en train de mettre au point un programme standard de diffusion à l'échelle du pays. Le programme national a été élaboré mais il n'a pas encore été validé par l'INPP. Par ailleurs, il a été établi le plan de la formation pédagogique de ce programme.</p> <p>3-4 Lors de la 2<sup>ème</sup> phase du projet, des propositions d'encadrement et du matériel pédagogique ont été élaborés en octobre 2012 s'appuyant sur le programme décrit en 3-3.</p> <p>3-5 Depuis mars 2011, des experts ont été envoyés trois fois en mission (3.5 mois au total) pour dispenser une formation pédagogie à 7 maîtres formateurs. La mise au point du programme standard décrit plus haut en 3-3 a fait partie intégrante de la formation.</p> <p>3-6 ①Les 1<sup>re</sup> et 2<sup>ème</sup> sessions de formations faites par des experts Japonais en juillet 2011, décrites en 3-5, ont donné lieu à une formation de transmission en pédagogie basée sur &lt;la décomposition des 3-1 tâches de travail&gt; et destiné à 14 représentants des 7 Services en novembre 2011. ②Lors de la 2<sup>ème</sup> phase du Projet, à l'aide des outils décrits en 3-3 et 3-4, sera mise en place une formation de formateurs d'octobre 2012.</p> <p>3-7 Pas encore mise en œuvre (cette activité est censée être mise en œuvre après l'évaluation à mi-parcours.)</p>
--	---

## ANNEXE 1-3 Evaluation par Cinq Critères

Critères	Eléments d'Evaluation	Eléments de Confirmation	Source d'Information	Résultats
P e r t i n e n c e	Pertinence de priorité	L'objectif global et le but du Projet sont-ils en accord avec la stratégie/le plan/la politique national(e) du Gouvernement Congolais?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Plan national du Gouvernement Congolais</li> <li>Document(s) et plan(s) sur la politique en rapport avec la gestion en formation professionnelle élaborée par le Ministère concerné, si disponible.</li> <li>Interview aux membres de JCC</li> </ul>	<p>Oui. Le Gouvernement de la RDC donne une grande priorité à la formation professionnelle comme étant un moyen pour créer des offres d'emploi à la population du pays. La politique nationale, en rapport avec la formation professionnelle en RDC, a été élaborée par le Ministère du Travail. Elle attende l'approbation du cabinet.</p> <p>Conformément à l'interview menée au Ministère, le Ministère a semblé ne pas avoir identifié qu'il y a un besoin d'établir un cadre de qualification nationale pour l'Enseignement Informel (c.-à-d., les certificats délivrés par l'INPP), qui n'est pas à la hauteur du cadre de qualification du système de l'Enseignement formel en RDC.</p>
	Pertinence de besoins	Le Projet satisfait-il aux besoins du Gouvernement Congolais?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres de JCC, interview aux membres du Projet du côté de la RDC</li> </ul>	Oui. Le Projet satisfait aux besoins du Gouvernement de la RDC. En 2008, le Président de la RDC a déclaré que la création de l'emploi est l'une des priorités des priorités pour la RDC. La formation professionnelle en RDC devient une clé pour réaliser cet objectif. L'Ordonnance Loi n° 206 (du 29 juin 1964) du Gouvernement de la RDC a reconnu la création de l'INPP. C'est l'INPP qui a la responsabilité des rôles stipulés par cette ordonnance loi.
	L'engagement du côté Congolais	Le niveau d'engagement du côté RDC pour une mise en œuvre réussie du Projet est-il élevé?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview au Bureau de la JICA Congo</li> <li>Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>Interview aux membres de JCC</li> </ul>	Oui. Il est très élevé du sommet de la Direction Générale aux écoles de l'INPP. Le même engagement a été exprimé par le Ministère et les partenaires de l'INPP (c.-à-d. FEC et ANEP).
	Pertinence à la politique de l'ODA Japonaise	L'objectif global et le but du Projet sont-ils en accord avec la politique de l'ODA Japonaise pour la RDC?	Les documents de la stratégie/politique de Ministère des Affaires Etrangères du Japon sur la RDC	Oui, il est en accord avec la politique de l'ODA Japonaise sur la RDC. Le Gouvernement Japonais assiste la RDC avec des objectifs du développement économique. Donner une formation professionnelle de haute qualité à la jeunesse congolaise est vital pour le développement du pays - la création d'une main-d'œuvre qualifiée.
	Relation avec d'autres partenaires de développement	Y'a-t-il comparabilité/synergie entre le Projet (JICA) et d'autres partenaires de développement dans le domaine de la formation professionnelle en RDC?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Interview aux autres partenaires de développement (c.-à-d.. la Belgique et la France)</li> </ul>	Selon la Belgique, ils ont constaté le besoin d'une coordination étroite avec la JICA. Pendant l'interview, il a été constaté que les partenaires de développement qui travaillent principalement avec le Ministère de l'Enseignement se rencontrent de temps en temps pour s'échanger des vues/d'informations et créer une synergie. La JICA ne faisait pas partie du groupe. →La JICA ne donne pas une assistance directe au secteur de l'Enseignement formel; ainsi, ce groupe n'est pas tout à fait au courant de l'assistance de la JICA à l'INPP.
	Les avantages de la technologie japonaise	L'expérience, la technologie, la technique japonaise ont-elles un avantage comparatif?	Rapport d'Etude préliminaire du Projet	Oui, la connaissance, la compétence et la longue histoire dans le domaine de la formation professionnelle bâties/accumulées par le Japon sont d'une pertinence élevée pour l'INPP.



ANNEXE 1-3 Evaluation par Cinq Critères

Critères	Éléments d'Évaluation	Éléments de Confirmation	Source d'Information	Résultats
E f f i c i a c i t é	Perspective pour atteindre le but du Projet	Quelle est la probabilité d'atteindre le but du Projet pendant la période de la Revue à mi-parcours?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>- Interview aux experts japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Cette probabilité est grande, sur base des résultats des interviews menées aussi bien chez les experts que chez les homologues au cours de la Revue à mi-parcours.
		quelles sont les mesures particulières prises pour atteindre le but du Projet, s'il y'en a?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Les deux côtés, la RDC et le Japon, travaillent étroitement pour une mise en œuvre parfaite du Projet. Ils se partageaient des renseignements nécessaires et s'échangeaient des idées/feedbacks de façon opportune, comme/quand il le fallait jusque là. La JICA a fourni des outils et équipements nécessaires pour des formations prévues (bien que les intrants de la JICA n'aient pas pleinement satisfait aux besoins de l'INPP).
	L'adéquation cause/effet du but de ce Projet, des résultats et des facteurs externes/hypothèse(s) importante(s)	Quel est le niveau de réalisation du but du Projet par rapport au niveau de réalisation des résultats attendus et aux facteurs externes/hypothèse(s) importante(s)?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Le niveau de réalisation du but du Projet est élevé par rapport aux résultats attendus et aux facteurs externes. Pour atteindre entièrement le but du Projet, il faut que la réhabilitation du lieu de travail à l'INPP soit achevée conformément à l'accord signé avec la JICA. En plus, il faut que la JICA fournisse, le plus vite possible, les équipements attendus par l'INPP, si possible.
		Quels sont les facteurs externes et les hypothèses importantes en ce qui concerne le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Rapport sur le progrès du Projet</li> <li>- Questionnaire</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- La disponibilité des outils et machines indispensables pour la formation.</li> <li>- Les dispositions prises pour les formateurs qui participent aux formations</li> </ul>
	Structure de la gestion du Projet	La structure de suivi, la structure de prise de décision, et les communications sont-elles adéquates/appropriées?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Les différentes dispositions sont prises pour faire le suivi de l'évolution du Projet. Premièrement, faire le suivi de l'évolution des activités globales du Projet. Deuxièmement, faire le suivi de l'évolution de chaque formation. Bien qu'il y ait encore des points à améliorer, les activités de suivi vont bon train au cours de cette Revue à mi-parcours.
	Les facteurs qui pourraient avoir affecté la réalisation du but du Projet	Y'a-t-il des facteurs promoteurs pour la réalisation du but du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>	Les activités du Projet ont été exécutées comme prévu pour la plus part. Les facteurs positifs identifiés sont:
Y'a-t-il des facteurs empêchant la réalisation du but du Projet?		<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- L'insuffisance d'outils et de machines indispensables pour la formation</li> <li>- Les dispositions prises pour les formateurs qui participent aux formations</li> </ul>	
E f f i c i e n c e	Niveau de réalisation des résultats	Les résultats attendus seront-ils réalisés tels que prévus?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Les résultats attendus seront réalisés tels que prévus si les activités planifiées sont mises en œuvre telles programmées jusqu'à la fin du Projet.
		Chaque résultat contribue-t-il pour atteindre l'aboutissement du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Oui, chaque résultat aide à l'aboutissement du Projet. Voir liste des intrants du Projet en Annexes.
	Les indicateurs vérifiables établis pour ces résultats sont-ils adéquats?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Oui, ces indicateurs sont adéquats jusqu'à la période de cette Revue à mi-parcours.	
	Comment le côté RDC se sert-il des directives et manuels élaborés par le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Questionnaire</li> <li>- Interview aux experts Japonais</li> <li>- Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Les matériels pédagogiques et autres documents élaborés dans le Projet sont utilisés par le côté RDC pendant la formation des formateurs. Quand les participants à la formation au Japon et au Sénégal revenaient en RDC, les ateliers d'échange d'expérience (restitutions) étaient organisés à l'INPP comme moyen de transfert de connaissance.	

ANNEXE 1-3 Evaluation par Cinq Critères

Critères	Eléments d'Evaluation	Eléments de Confirmation	Source d'Information	Résultats
E f f i c i e n c e	Calendrier de la mise en œuvre des activités du Projet et du placement des intrants	Le calendrier d'envoi des experts Japonais et des autres intrants est-il adéquat?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport sur le progrès du Projet</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>	Selon les experts et les homologues, le calendrier d'envoi a été adéquat compte tenu des conditions auxquelles le projet a fait face (c.-à-d., la catastrophe de TOHOKU en 2011).
		Le placement des membres du Projet du côté RDC est-il opportun et adéquat?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport sur le progrès du Projet</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>	Oui, c'était adéquat sur base des ressources humaines disponibles à l'INPP.
		Les équipements fournis dans le Projet ont-ils satisfait aux besoins du côté RDC?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Les équipements fournis dans le Projet satisfont aux besoins de l'INPP. Néanmoins, ils ne sont pas encore assez pour satisfaire pleinement aux besoins de l'INPP.
	La convenance de la quantité, la qualité et la période des intrants	Les experts et les membres du Projet du côté RDC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts Japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Selon le côté RDC, ils trouvent que la technique, la connaissance et la technologie apportées en RDC par les experts sont appropriées. Le côté RDC souhaite la prolongation du Projet. Le côté RDC déclare aussi que le transfert de la technique par les experts, reçue du Sénégal, était adéquat. Le Français est la langue parlée dans ces deux pays. Pour ce qui est de la langue, la RDC a trouvé que la communication au Sénégal était plus aisée.
		Les équipements	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux experts Japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Ils ont été appropriés dans une certaine mesure. Toutefois, il n'y en a pas encore assez par rapport à la demande totale de l'INPP.
		La formation au Japon	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport sur le progrès du Projet</li> <li>• Interview aux participants à la formation au Japon</li> </ul>	Elle a été appropriée, et le côté RDC anticipe pour participer aux formations qui leur restent au Japon. Le côté RDC a expliqué que leur feed-back a déjà été soumis au côté Japonais en ce qui concerne les formations qu'ils ont reçues au Japon. Donc, ils s'attendent à une formation encore meilleure au Japon, celle qui pourrait refléter leurs besoins plus que les formations précédentes. Une suggestion faite par la plus part des personnes interrogées était de pouvoir obtenir de la littérature technique en Français, pour une meilleure compréhension.
	Les facteurs contribuant et/ou empêchant l'accroissement de l'efficacité	Y'a-t-il des facteurs contribuant à l'accroissement de l'efficacité du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts Japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	Conseil, soutien et synergie avec les activités réalisées par Mme Muto et ses homologues ont été adéquats et utiles.
		Y'a-t-il des facteurs empêchant l'accroissement de l'efficacité du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts Japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le retard quant au début du Projet d'aide non remboursable de la JICA</li> <li>• Une incertitude quant au genre d'équipements à fournir à l'INPP en particulier pour le Froid et Climatisation avant la fin du Projet.</li> </ul>
	Collaboration avec d'autres Projets ODA	Y'avait-il collaboration/coordination avec d'autres Projets de la JICA, une autre aide du Gouvernement Japonais et/ou d'autres partenaires de développement dans le même domaine ou dans un domaine similaire?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux experts Japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>• Interview à toute autre personne concernée</li> </ul>	Conseil, soutien et synergie avec les activités réalisées par Mme Muto et ses homologues. Plus de partage de renseignement et des voies d'échange entre les experts responsables du Projet d'aide non remboursable de la JICA, ce Projet-ci et l'INPP pourraient s'avérer nécessaires pour réduire tout retard dans la mise en œuvre du Projet d'aide non remboursable de la JICA dans l'avenir, et pour garantir la synergie entre ces Projets.

ANNEXE 1-3 Evaluation par Cinq Critères

Critères	Eléments d'Evaluation	Eléments de Confirmation	Source d'Information	Résultats
I m p a c t	Perspective de réalisation de l'objectif global dans 3-5 ans après la fin du Projet	La réalisation de l'objectif global du Projet est-elle élevée?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	Il est probable qu'elle soit atteinte, bien qu'il soit trop tôt de faire des évaluations claires pendant cette période de Revue à mi-parcours, parce que la Mission de Revue n'a trouvé aucun document pour vérifier l'évolution du niveau de réalisation.
		Quels en sont les facteurs externes et les hypothèses importantes?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	La modernisation opportune de l'INPP est requise pour une mise en œuvre réussie du Projet d'aide non remboursable de la JICA. Donc, il pourrait s'avérer nécessaire d'ajouter une nouvelle hypothèse importante contre le but et l'objectif global du Projet.
	Relation avec d'autres aides accordées par la JICA	Les responsabilités et les rôles sont-ils clairement définis entre la Conseillère de la JICA et le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts Japonais</li> <li>Interview à la Conseillère de la JICA</li> </ul>	Dans une certaine mesure. Il y a un point à améliorer pour clarifier la responsabilité du Projet en termes de son assistance envers le QG de l'INPP.
		Quel genre de synergie et de coordination y'a-t-il entre la Conseillère de la JICA et le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts Japonais</li> <li>Interview à la Conseillère de la JICA</li> </ul>	La communication quotidienne et le partage d'information, la consultation régulière.
		A quel genre d'effets secondaires s'attend-on vu le retard dans l'évolution du Projet d'aide non remboursable de la JICA?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview au QG de la JICA</li> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts Japonais</li> <li>Interview à la Conseillère de la JICA</li> </ul>	L'utilisation des équipements qu'il faut pour les formations prévues dans le Projet.
D u r a b i l i t é	Aspects organisationnel et politique	Les politiques/lois/systeme du maintien des effets du Projet sont-ils suffisamment en vigueur/place?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres de JCC</li> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	Dans la partie II Responsabilité dans la Formation – Article 5 dans l'Ordonnance loi no.71-055 (du 26 mars 1971), il est stipulé que l'INPP apportera aux employeurs, conformément aux dispositions de l'Article 5 du Code de Travail. Dans l'Article 6 de cette Ordonnance-loi, il est stipulé que l'INPP organisera des formations quand le Ministre du Travail le lui demandera.
	Aspect ressources humaines	Est-il probable que le côté RDC désigne des personnes qui sont à la hauteur pour maintenir les effets du Projet après la fin du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	Selon le côté RDC, des formateurs compétents sont affectés au Projet pour maintenir les efforts fournis par le Projet. Selon les experts, les formateurs affectés au Projet ont le genre d'expérience et de caractéristiques en tant que formateurs, pour la plus part.
	Aspect financier	Est-il probable que le côté RDC affecte des fonds suffisants pour maintenir les effets du Projet après la fin du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres de JCC</li> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	L'INPP espère accroître ses recettes à partir des entreprises membres. Bien que l'INPP pourrait ne pas être à même d'affecter des fonds suffisants pour les besoins de chacune de ses écoles. L'INPP essaie d'apporter les moyens financiers requis pour chaque école.
	Aspect technique	La technologie/technique requise pour que le côté RDC, lui-même, maintienne les effets du Projet est-elle suffisamment développée?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres de JCC</li> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Questionnaire</li> </ul>	Pour les Services sélectionnés dans le Projet, le côté RDC a de fortes chances de maintenir le savoir-faire après la fin du Projet.
	Leçons tirées	Quelles sont les leçons tirées que le Projet a trouvées jusque là en ce qui concerne le plan, le procédé de la mise en œuvre et la durabilité du Projet, s'il y'en a?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux experts Japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet du côté RDC</li> <li>Interview à toute autre personne concernée</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Une étude minutieuse et une planification sont essentielles pendant la formulation d'un projet pour retenir les besoins réels d'un pays bénéficiaire d'une assistance de la JICA.</li> <li>Un engagement total et manifeste depuis la tête de la Direction d'une organisation de mise en œuvre (pays bénéficiaire) pour une mise en œuvre réussie d'un projet.</li> </ul>

**ANNEXE 2: Cadre logique (PDM ver.2) provisoire**

Titre du Projet : Renforcement des capacités des formateurs de l'Institut National de Préparation Professionnelle (INPP) en République Démocratique du Congo

Période d'exécution du Projet : janvier 2011 - décembre 2013 (3 ans)

Zone cible : Les zones du Projet sont des entités provinciales de l'INPP, prioritairement celle de Kinshasa.

Groupe cible : 1) Personnel de la Direction Générale de l'INPP et services d'encadrement des entités provinciales

2) Formateurs de la direction provinciale de Kinshasa et ceux des autres entités provinciales

3) Stagiaires (agents des entreprises, chercheurs d'emploi et vulnérables).

Résumé narratif du Projet	Indicateurs objectivement vérifiables	Moyens de vérification	Suppositions importantes
<b>Objectif global(Objectif du Programme)</b> La formation professionnelle de qualité est offerte à l'INPP principalement dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation.	1. Le nombre d'anciens stagiaires de l'INPP Kinshasa (filières de mécanique automobile et de froid et climatisation) ayant créé leur propre entreprise et/ou trouvé une situation dans une entreprise augmente par rapport au début du projet. 2. Accroissement du niveau de satisfaction des compagnies qui ont employé les anciens stagiaires de mécanique automobile et de froid et climatisation à l'INPP. 3. Les stagiaires dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation de l'INPP améliorent les notes obtenues à l'examen de la fin de formation. 4. Accroissement du niveau de satisfaction des stagiaires qui ont fini leur formation en mécanique automobile et de froid et climatisation à l'INPP. 5. Accroissement du résultats de critères d'appréciation d'une leçon de formateurs ayant suivi la formation de pédagogique.	1. Etude de suivi des anciens stagiaires 2. Questionnaire adressé aux compagnies 3. Résultats de l'examen de la fin de formation 4. Etude de suivi des anciens stagiaires 5. Résultats de suivi par la service pédagogique	
<b>But du Projet</b> Les capacités techniques des formateurs sont renforcées principalement dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation de l'INPP.	1. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en tronc commun obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet. 2. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet. 3. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet	1.2.3. Résultats de l'auto-évaluation des techniques par une check-list	<ul style="list-style-type: none"> <li>La situation de l'emploi ne pourra pas s'empirer à cause de la récession</li> <li>L'assistance pour l'emploi par le conseil technique en formation professionnelle et la mise à disposition des facilités par la coopération financière non remboursable du Japon seront exécutées comme un plan</li> </ul>

<p>Résultats</p> <p>1. Le dispositif de mise en œuvre de la formation de base en tronc commun est renforcé.</p> <p>2. Le dispositif de mise en œuvre de la formation spécialisée est renforcé.</p> <p>3. Le dispositif de mise en œuvre de la formation pédagogique est renforcé.</p>	<p>1-1 Le plan de formation de base en tronc commun (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>1-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en tronc commun sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>1-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation de base en tronc commun et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p> <p>2-1 Le plan de formation spécialisée (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>2-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisées sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>2-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation technique spécialisée et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p> <p>3-1 Le plan de formation pédagogique (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>3-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>3-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation pédagogique et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p>	<p>1.2.3-1 Rapport d'état d'avancement du Projet</p> <p>1.2.3-2 Enquête aux formateurs</p> <p>1.2.3-3 Rapport d'état d'avancement du Projet</p>	<p>• Les formateurs ayant suivi la formation continuent à travailler à l'INPP</p>
<p>Activités</p> <p>0-1 Mettre en œuvre l'étude statistique de base.</p> <p>0-2 Fournir le matériel nécessaire pour la formation des services concernés en aménageant le système de maintenance.</p> <p>0-3 Etablir un système pour améliorer l'environnement de la formation.</p>	<p>Intrant</p> <p><u>Partie japonaise</u></p> <p>1. Expert</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Chef du projet</li> <li>- Planification - gestion de la formation</li> <li>- Coordination des activités</li> <li>- Mécanique automobile</li> <li>- Froid et climatisation</li> <li>- Méthodologie pédagogique</li> <li>- Etude statistique de base</li> <li>- Aménagement du système d'administration et de gestion de l'entraînement</li> <li>- Formation de base en tronc commun (par expert du pays tiers)</li> </ul> <p>* Envoi des autres experts à court terme selon les besoins</p> <p><u>Partie congolaise</u></p> <p>1. Ressources humaines</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Directeur du Projet</li> <li>Gérant du Projet</li> <li>Coordinateur du Projet</li> <li>Homologues congolais (plusieurs)</li> </ul> <p>2. Installations et équipements</p> <p>Fourniture des bureaux et installations/équipements nécessaires pour l'exécution du Projet, ainsi que d'autres installations nécessaires.</p> <p>Divers frais d'installations, de gestion et de maintenance des équipements.</p>	<p>• Le gouvernement de la RDC continue à répartir à l'INPP et ses entités provinciales le budget et le personnel nécessaires.</p> <p>• Les entreprises continuent à payer la cotisation à l'INPP.</p>	

<p>1-1 Mettre en place l'équipe de travail* pour la formation de base en tronc commun (sept services concernés : électricité, électronique, mécanique générale, automobile, froid - climatisation, tôlerie - soudure et contrôle technique automobile).</p> <p>1-2 Elaborer le plan de formation de base en tronc commun.</p> <p>1-3 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation de base en tronc commun par l'équipe de travail et le CFPT.</p> <p>1-4 Former des maîtres des formateurs au CFPT.</p> <p>1-5 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation des formateurs par les maîtres des formateurs sur base des directives et manuels élaborés au point 1-3.</p> <p>1-6 Former les formateurs par les maîtres des formateurs de l'INPP.</p> <p>1-7 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation de base en tronc commun.</p> <p>2-1 Mettre en place l'équipe de travail pour la formation spécialisée (deux services concernés : automobile et froid - climatisation).</p> <p>2-2 Mettre en œuvre l'étude sur les besoins des companies sur la formation.</p> <p>2-3 Identifier le niveau des techniques et connaissances des formateurs.</p> <p>2-4 Elaborer le plan de formation spécialisée.</p> <p>2-5 Former des maîtres des formateurs par l'envoi d'expert et la formation au Japon.</p> <p>2-6 Elaborer les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation pour les formateurs.</p> <p>2-7 Former les formateurs par les maîtres des formateurs.</p> <p>2-8 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation spécialisée.</p> <p>3-1 Mettre en place l'équipe de travail pour le service pédagogique.</p> <p>3-2 Identifier la situation actuelle concernant la formation pédagogique.</p> <p>3-3 Elaborer le plan de formation pédagogique</p> <p>3-4 Elaborer les directives et les manuels pédagogiques de formation.</p> <p>3-5 Mettre en œuvre la formation pédagogique des formateurs du service pédagogique.</p> <p>3-6 Former les formateurs par les maîtres des formateurs.</p> <p>3-7 Faire le monitoring des résultats de formation et faire refléter au plan et aux directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation pédagogique.</p> <p>* Composition de l'équipe de travail : représentants de la direction générale et des entités provinciales (services encadrement et instruction).</p>	<p>2. Formation au Japon</p> <p>3. Formation dans le pays tiers</p> <p>4. Matériel</p> <p>5. Frais de transport interprovincial</p> <p>6. Autres frais nécessaires</p>	<p>3. Frais nécessaires pour le projet</p> <p>Frais d'exécution de la formation à l'INPP (transport dans la ville de Kinshasa, hébergement et indemnité journalière, etc.).</p>	<p>Pré-conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sécurité assurée dans les zones faisant l'objet du Projet.</li> </ul>
--	--	---	--

ANNEX 3 Intrants au Projet

3-1. Liste d' Experts Japonais

3-1. Liste d' Experts Japonais

Première année (05/Février/2011-22/Mars/2012)

NO	Noms	Titre	Durée du Dispatch		Total jour
			De	à	
1	Atsushi FUJIMOTO	Expert en élaboration des Projets et Evaluation Ex-ante	05/Février/2011	03/Août/2011	300
			21/Octobre/2011	17/Février/2012	
2	Katsuaki TAKANAKA	Programme de Formation	26/février/2011	26/Mai/2011	191
			11/août/2011	18/Novembre/2011	
3	Takatsugu SHIMADA	Formation sur la gestion et organisation de la maintenance	19/Mars/2011	17/Mai/2011	60
4	M.Koji UEDA	Expert en Pédagogie	19/Mars/2011	02/Mai/2011	105
			21/Octobre/2011	19/Novembre/2011	
			19/Janvier/2012	17/Février/2012	
5	Haruo ITO	Etude de base I	01/Avril/2011	15/Mai/2011	45
6	Rie SAWASHITA	Etude de base II	19/Mars/2011	17/Avril/2011	30
7	Masafumi NOMIYAMA	Coordinateur de Project	05/Février/2011	03/Août/2011	360
			25/Septembre/2011	22/Mars/2012	
Expert Individuel					
8	Syuma SEKI	Expert en Motorisation	04/Janvier/2012	18/Mars/2012	75

Deuxième année(23/Juin/2012–Decembre/2013)

3-1. Liste d' Experts Japonais

NO	Nom	Titre	Durée du Dispatch		Total
			De	à	
1	Atsushi FUJIMOTO	Expert en gestion des Projets et Evaluation Ex-ante	23/Juin/2012	20/Septembre/2012	405
			15/Octobre/2012	28/Décembre/2012	
			Janvier/2013	indécis	
			Avril/2013	indécis	
			AOÛT/2013	indécis	
2	Katsuaki TAKANAKA	Programme de Formation	23/Juin/2012	21/Août/2012	240
			15/Septembre/2012	27/Novembre/2012	
			Mai/2013	indécis	
			Août/2013	indécis	
3	Harunori TASHIRO	Planification et gestion de la Formation	23/Juin/2012	22/Juillet/2012	30
4	Takatsugu SHIMADA	Formation sur la gestion et organisation de la maintenance	22/Août/2012	20/Septembre/2012	30
5	Koji UEDA	Expert de la Formation Pédagogique	07/Juillet/2012	04/Septembre/2012	120
			06/Octobre/2012	19/Novembre/2012	
			Juin/2013	indécis	
6	Haruo ITO	Etude de base I	22/Août/2012	05/Octobre/2012	105
			Mai/2013	indécis	
7	Rie SAWASHITA	Etude de Base II	Mai/2013	indécis	60
8	Masafumi NOMIYAMA	Coordinateur de Projet	23/Juin/2012	05/Septembre/2012	465
9	Ai BANDO	Coordinatrice du Projet JICA près l'INPP	15/Septembre/2012	25/Décembre/2012	
			Janvier/2013	indécis	
			Mai/2013	indécis	
			Septembre/2013	indécis	
Expert Individuel					
10	Syuma SEKI	Expert de la Motorisation	21/Juillet/2012	22/Septembre/2012	325
			03/Novembre/2012	02/Janvier/2013	
			02/Mars/2013	23/Juin/2013	
			07/Septembre/2013	01/Decembre/2013	



## 3-2. Liste de Formations réalisées par les Experts Japonais en Pédagogie

## Première Formation de Transfert (Première Année du Projet)

Instructeur	NO	Nom	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Koji UEDA	1	BONDJEKE MWENI NDAKA	Directeur Provincial INPP-KINSHASA	INPP KINSHASA	04/Avril/2011	29/Avril/2011
	2	LUTETE MUFU	Chef de service Pédagogique KINSHASA			
	3	IKAMBA BOLEKILA	Service Pédagogique INPP- KINSHASA			
	4	MAVINGA WILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	5	BOOTO BOLA	INSPECTION Technique INPP-KINSHASA			
	6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION Technique DIR. GEN.			
	7	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES/ DIR. GENERALE			
	8	BAPEKE BANKULU	DIRECTION DES ETUDES/ DIR. GENERALE			
	9	BOOTO WIYAMBE	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	10	KULE KIMIYAVAKE	Service MECANIQUE GENERALE INPP-KINSHASA			
	11	MOKOMBA MATA	Service FROID & CLIMATISATION INPP-KINSHASA			
	12	BILE SOKAPO	Service ELECTRONIQUE INPP-KINSHASA			
	13	OFODIA ELENGA	Service ELECTRONIQUE INPP-KINSHASA			
	14	MASHI MASHIKI	TOLERIE & SOUDURE INPP-KINSHASA			

Deuxième Formation de Transfert ( Première Année du Projet)

Instructeur	NO	Nom	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Koji UEDA	1	LUTETE MUFU	Service Pédagogique INPP-KINSHASA	INPP KINSHASA	02/Octobre/2011	11/Novembre/2011
	2	BOOTO WIYAMBE	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	3	MAVINGA WILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	4	IKAMBA BOLEKILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	5	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES / DIR. GENERALE			
	6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION TECHNIQUE/ DIR. GENERALE			
	7	PAMBU NLANDU	Service Pédagogique Direction Provinciale du BAS CONGO			

Troisième Formation de Transfert ( Première Année du Projet)

Instructeur	NO	Nom	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Koji UEDA	1	LUTETE MUFU	Service Pédagogique INPP-KINSHASA	INPP KINSHASA	30/Janvier/2012	14/Février/2012
	2	BOOTO WIYAMBE	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	3	MAVINGA WILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	4	IKAMBA BOLEKILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	5	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES / DIR. GENERALE			
	6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION TECHNIQUE/ DIR. GENERALE			
	7	PAMBU NLANDU	Service Pédagogique Direction Provinciale du BAS CONGO			

## Première Formation de Transfert ( Deuxième Année du Projet )

Instructeur	NO	Nom	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Koji UEDA	1	LUTETE MUFU	Service Pédagogique INPP-KINSHASA	INPP KINSHASA	11/Juillet/2012	31/Août/2012
	2	BOOTO WIYAMBE	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	3	MAVINGA WILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	4	IKAMBA BOLEKILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	5	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES / DIR. GENERALE			
	6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION TECHNIQUE/ DIR. GENERALE			
	7	PAMBU NLANDU	Service Pédagogique Direction Provinciale du BAS CONGO			

## Deuxième Formation de Transfert ( Deuxième Année du Projet )

Instructeur	NO	Nom	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Koji UEDA	1	LUTETE MUFU	Service Pédagogique INPP-KINSHASA	INPP KINSHASA	10/Octobre/2012	16/Novembre/2012
	2	BOOTO WIYAMBE	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	3	MAVINGA WILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	4	IKAMBA BOLEKILA	Service Pédagogique INPP-KINSHASA			
	5	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES / DIR. GENERALE			
	6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION TECHNIQUE/ DIR. GENERALE			
	7	PAMBU NLANDU	Service Pédagogique Direction Provinciale du BAS CONGO			

3-3. Liste de Formations réalisées par les Expert Japonais en Motorisation

Première Formation de Transfert ( Première Année du Projet )

Instructeur	NO	Noms	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Syuma SEKI	1	EGBOLO MOSAU	Maitres Formateurs	INPP KINSHASA	23/Janvier/2012	15/Mars/2012
	2	MPOYI PIKALAKU				
	3	MBIYA MUKANYA				

Deuxième Formation de Transfert (Deuxième Année du Projet)

Instructeur	NO	Noms	Titre	Lieu	Période de Formation	
					De	à
Syuma SEKI	1	MPOYI PIKALAKU RICHARD	Maitres Formateurs	INPP KINSHASA	23/Juillet/2012	17/Septembre/2012
	2	EGBOLO MOSAU				
	3	MBIYA MUKANIA				
	4	NKORMEN LASONG				
	5	KULE KIMINYA				
	6	KAVUL MWAMBA	Maitres Formateurs/ KATANGA			
	7	NGUZI MPASI	Maître Formateur/ BOMA			
	8	.DIASILUA MUMBETO ELIE				

## 3-4. Liste de Formations réalisées au Japon en Froid et Climatisation

## Première Formation

NO	Noms	Titre	Lieu	Période de Formation au Japon		Durée du Dispatch		
				De	à	De	à	Total jour
1	MOKOMBA JOEL	Maitres Formateurs INPP- KINSHASA	Osaka	19/Mai/2011	29/Juin/2011	16/Mai/2011	01/Juillet/2011	47 jours
2	NSONI JULES							
3	LEMA FABIEN							
4	NKIALULENDO JUNIOR							
5	NGOMA AORON							

## Deuxième Formation

NO	Noms	Titre	Lieu	Période de Formation au Japon		Durée du Dispatch		
				De	à	De	à	Total jour
1	MOKOMBA JOEL	Maitres Formateurs INPP- KINSHASA	Osaka	19/Août/2012	27/Septembre/2012	16/Août/2012	29/Septembre/2012	45 jours
2	NSONI JULES							
3	LEMA FABIEN							
4	NKIALULENDO JUNIOR							
5	NGOMA AORON							

## 3-5. Liste de Formations réalisées au Japon en Motorisation

## Première Formation

NO	Noms	Titre	Lieu	Période de Formation au Japon		Durée du Dispatch		
				De	à	De	à	Total jour
1	MPOYI PIKALAKU	Maitres Formateurs KINSHASA	Chiba	21/Septembre/2012	31/Octobre/2012	18/Septembre/2012	02/Novembre/2012	46 jours
2	EGBOLO MOSAU							
3	MBIYA MUKANIA							
4	NGUZI MPASI	Maitre Formateur BOMA						
5	KAVUL MWAMB	Maitre Formateur KATANGA						

JK

3-6. Liste de Formations réalisées par les Experts Sénégalais de CFPT

3-6. Liste de Formations réalisées par les Experts Sénégalais de CFPT

Noms	Titre	Lieu	Matières	Période de Formation INPP KINSHASA		Durée du Dispatch		
				De	à	De	à	Total jour
Mor PADANE	Expert de CFPT	INPP KINSHASA	Hydraulique	27/Août/2012	03/Septembre/2012	25/Août/2012	10/Septembre/2012	17 jours
			Pneumatique	04/Septembre/2012	07/Septembre/2012			
Yoro BARRY	Expert de CFPT	INPP KINSHASA	PLC	10/Septembre/2012	14/Septembre	08/Septembre/2012	17/Septembre/2012	10 jours
Jean MANCORE	Expert de CFPT	INPP KINSHASA	Soudage TIG	18/Septembre/2012	22/Septembre/2012	16/Septembre/2012	24/Septembre/2012	9 jours

JK

5/5

3-7. Liste de Formations réalisées au Sénégal

3-7. Liste de Formations réalisées au Sénégal

Première Formation en Mécanique

NO	Nom	Titre	Matières	Instructeur	Lieu	Période de Formation		
						De	à	Total jour
1	MBIK AYI TSHIBUWU Grégoire	MOTORISATION	Mécanique	Experte CFPT	CFPT	04/Janvier/2011	19/Février/2011	47 jours
2	DIMBU MUKINSIONA Emmanuel	MOTORISATION						
3	MBIYA MUKANIA Anacel	MOTORISATION						
4	DIASELJA MUBETO Elie	MOTORISATION(BOMA)						
5	NTIKALA BIONGO Jean Baudouin	MECANIQUE GENERALE						
6	LUTONDO LUKIESE Joly	MECANIQUE GENERALE						
7	NTAMBWE Jean Mpiana	TOLERIE ET SOUDURE						
8	KALALA MWADIA NVITA Erick	CONTRÔLE AUTOMOBILE						

Première Formation en Electrotechnique

NO	Noms	Titre	Matières	Instructeur	Lieu	Période de Formation		
						De	à	Total jour
1	MAKOMBO MATA Joël	FROID ET CLIMATISATION	Electricité	Experts CFPT	CFPT	04/Janvier/2011	26/Février/2011	54 jours
2	NSONI MANSANGA Jules	FROID ET CLIMATISATION						
3	MBONGO LOKOLE Joseph	ELECTRICITE						
4	TSHIBAMBE NYENGIE Jean François	ELECTRICITE						
5	MBONDA TETE	ELECTRICITE						
6	MONSEVINYA Albert	ELECTRONIQUE						
7	NGONGO KASHISHA Jean Louis	ELECTRONIQUE TELECOMMUNICATION						
8	LUBWIKAZEMBELENGE Pierre	ELECTRONIQUE						



## Deuxième Formation en Mécanique

NO	Noms	Titre	Matières	Instructeur	Lieu	Période de Formation		
						De	à	Total jour
1	MBIK AYI TSHIBUWU Grégoire	MOTORISATION	Mécanique	Experts CFPT	CFPT	11/Juillet/2011	19/Août/2011	40 jours
2	DIMBU MUKNSIONA Emmanuel	MOTORISATION						
3	MBIYA MUKANIA Anacef	MOTORISATION						
4	DIASILUA MUSETO Elite	MOTORISATION(BOMA)						
5	NTIKALA BIONGO Jean Baudouin	MECANIQUE GENERALE						
6	LUTONDO LUKIESE Joly	MECANIQUE GENERALE						
7	NTAMBWE Jean Mpiana	TOLERIE ET SOUDURE						
8	.KALALA MWADIA NVITA Erick	CONTRÔLE AUTOMOBILE						

## Deuxième Formation en Electrotechnique

NO	Noms	Titre	Matières	Instructeur	Lieu	Période de Formation		
						De	à	Total jour
1	MAKOMBO MATA Joël	FROID ET CLIMATISATION	Electricité	Experts CFPT	CFPT	02/Août/2011	19/Août/2011	17 jours
2	NSONI MANSANGA Jules	FROID ET CLIMATISATION						
3	MBONGO LQKOLE Joseph	ELECTRICITE						
4	TSHIBAMBE NYENGE Jean François	ELECTRICITE						
5	MBONDA TETE	ELECTRICITE						
6	MONSEVENYA Albert	ELECTRONIQUE						
7	NGONGO KASHISHA Jean Louis	ELECTRONIQUE TELECOMMUNICATION						
8	LUBWIKI NZEMBELENGE Pierre	ELECTRONIQUE						

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
Trono	Commun					
TC	1	Apparatus for Mechanical Engineering Course				
TC	1-1	Scale	TZ-134	16	600	9,600
TC	1-2	Measuring Tape	FC19-35	16	1,200	19,200
TC	1-3	Vernier Caliper	TVC-15	8	3,900	31,200
TC	1-4	Micrometer Set	Outside Micrometer MO105-25	4	4,800	19,200
TC			Outside Micrometer MO105-50	4	7,300	29,200
TC			Outside Micrometer MO105-75	4	8,000	32,000
TC			Outside Micrometer MC105-100	4	9,300	37,200
TG	1-5	Comperator				0
TC	1-5-1	Surface Plate	OS-101	4	52,000	208,000
TC	1-5-2	Magnetic Base	SB-60	4	3,000	12,000
TC	1-5-3	Dial Gauge	2046S	4	5,000	20,000
TC	1-6	Level Protractor	495D	4	19,200	76,800
TC	1-7	Digital Multimeter	CD731a	16	9,800	156,800
TC	1-8	Pressure Motor	HT-1500NL	2	62,000	124,000
TC	1-9	Square	OS-148A	4	12,600	50,400
TC	1-10-1	Inside Caliper	73253	16	700	11,200
TC	1-10-2	Outside Caliper	73316	16	700	11,200
TC	1-11	Level Gauge	TFL-B1505	2	35,000	70,000
TC	1-12	Thickness Gauge	100ML	4	3,800	15,200
TC	1-15	Drafting Set	1-730-7000	16	3,400	54,400
TC	1-16	Triangle Ruler	No.425	1	11,000	11,000
TC	1-17	Protractor	No.424	1	6,800	6,800
TC	1-18	Parallel Ruler	960 A2	19	29,600	473,600
TC	1-19	Compass	No.422	1	4,200	4,200
TC	1-20	Arc Welder	BP-300	1	287,000	287,000
TC			Primary side cable (TOT 22SQ X 30 / 5m)	2	2,200	4,400
TC			Secondary Side Cable (WGT38mm2 / 8m / 糸付)	2	6,300	12,600
TC			Secopndary Side Cable (WGT38mm2 / 8m / 7-入付)	1	6,300	6,300
TC			Security holder	1	2,400	2,400
TC	1-21	TIG Welder	Inverter Elecon 300P	1	999,000	999,000
TC			Prlvery side cable (TOT 40X X 14mm2 / 5m)	1	10,400	10,400
TC			Secondary side cable (WGT38mm2 / 8m)	1	6,200	6,200
TC			Earth cable (WGT38mm2 / 8m)	1	6,200	6,200
TC			Earh cable (W 14mm2 / 10m)	1	6,200	6,200
TC			Security holder	1	2,400	2,400
TC			Earth Clip	1	2,400	2,400
TC			H21B20 Nozzle No.5	2	800	1,600
TC			H21B22 Nozzle No.7	2	800	1,600

(1/16)

## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
TC		H21B71 Nozzle for spot	1	1,700	1,700
TC		H21B70 Insulation bushing for spot	1	4,000	4,000
TC		H950C03 Collet chuck (φ 1.6mm)	3	900	2,700
TC		H950C04 Collet chuck (φ 2.0mm)	3	900	2,700
TC		H950C05 Collet chuck (φ 2.4mm)	3	900	2,700
TC		H950C07 Collet chuck (φ 3.2mm)	3	900	2,700
TC		H950C13 Collet body (φ 1.6mm)	2	1,300	2,600
TC		H950C14 Collet body (φ 2.0mm)	2	1,300	2,600
TC		H950C15 Collet body (φ 2.4mm)	2	1,300	2,600
TC		H950C17 Collet body (φ 3.2mm)	2	1,300	2,600
TC		TIG Electrode (Pure Tungsten / φ 2.0mm)	20	500	10,000
TC		TIG Electrode (Pure Tungsten / φ 2.4mm)	30	700	21,000
TC		TIG Electrode (Pure Tungsten / φ 3.2mm)	10	1,100	11,000
TC		TIG Electrode (Tungsten incl.Lantana / φ 1.6mm)	20	400	8,000
TC		TIG Electrode (Tungsten incl.Lantana / φ 2.0mm)	30	600	18,000
TC		TIG Electrode (Tungsten incl.Lantana / φ 2.4mm)	20	600	12,000
TC		N503H1 Arc Welding Rod (for Mild steel / φ 2.6mm / 40kg)	1	12,800	12,800
TC		N503H1 Arc Welding Rod (for Mild steel / φ 3.2mm / 40kg)	1	22,800	22,800
TC		YT-28 TIG Welding Rod (for Mild steel / φ 1.6mm / 6kg入)	1	4,000	4,000
TC		YT-28 TIG Welding Rod (for Mild steel / φ 2.0mm / 5kg入)	1	4,000	4,000
TC		YT-28 TIG Welding Rod (for Mild steel / φ 2.4mm / 5kg入)	1	4,000	4,000
TC		WEL308 TIG Welding Rod (Stainless / φ 1.6mm / 5kg入)	1	9,800	9,800
TC		WEL308 TIG Welding Rod (Stainless / φ 2.0mm / 5kg入)	1	9,700	9,700
TC		WEL308 TIG Welding Rod (Stainless / φ 2.4mm / 5kg入)	1	9,400	9,400
TC		E356 TIG Welding Rod (Aluminium / φ 2.0mm / 6kg入)	1	9,300	9,300
TC		E356 TIG Welding Rod (Aluminium / φ 2.4mm / 6kg入)	1	12,000	12,000
TC	1-22	Welding Apparatus Set			
		face shield (cap) MR-850-C	1	41,600	41,600
TC		face shield (hand-held) 300 (red)	5	1,000	5,000
TC	1-22				
		welding plate glass (#11)	10	1,300	13,000
TC		welding plate glass (#12)	10	1,300	13,000
TC		welding plate glass (#13)	10	1,300	13,000
TC		blank glass (100pcs/pack)	1	4,200	4,200
TC		arm coar SL-20	5	2,000	10,000
TC		leg cover F30 足カバー (大中産業)	5	1,800	9,000
TC		apron for welding KG-470	5	9,100	45,500
TC		3 fingers cow split leather welding gloves TYK-T3	5	1,000	5,000
TC		cow split leter gloves TYK-ST	10	1,800	18,000
TC		protection glasses YG-6000	5	2,100	10,500
TC		disposable dust proof mask 8710-DS1	5	4,800	24,000
TC	1-23	Dial Gauge			
		S-19 電気工事士技能試験工具セット	10	10,800	172,800

(2/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)	
TC	1-24	Three-phase Motor	M-103	1	170,000	170,000
TC			Operational manual in French	1	117,700	117,700
TC	1-25	Pneumatic Trainer	SPA-0008W	2	196,000	392,000
TC			SPA-0009W	2	128,200	256,400
TC	1-26	Hydraulic Trainer Kit				
TC			539028 Working table	1	735,000	735,000
TC			539736 Mounting bracket	2	22,000	44,000
TC			539737 Hose holder	1	22,000	22,000
TC			152962 Hydraulic pump uni	1	502,300	502,300
TC			192215 Hydraulic fluid for Hydraulic pump unit(L)	1	16,700	16,700
TC			573035 TP301 Hydraulic parts set	1	1,817,000	1,817,000
TC			152960 Hose with one-touch joint(500mm)	7	31,400	219,800
TC			152970 Hose with one-touch joint(1000mm)	3	32,400	97,200
TC			159366 Hose with one-touch joint(1500mm)	2	33,400	66,800
TC			159395 Power supply unit	1	92,900	92,900
TC			152971 Depressurizing tool	1	17,700	17,700
TC			541135 Protection cover for weight	1	25,900	25,900
TC			571832 Digital multi meter	1	22,000	22,000
TC			93282 Textbook for Hydraulic technique (Introduction, French)	1	15,700	15,700
TC			551146 Workbook for Hydraulic technique (Introduction, French)	1	26,200	26,200
TC			556952 Simulation software for Hydraulic circuit design (French)	1	15,700	15,700
TC	1-27	Programmable Logic Controller				
TC			SYSMAC Cseries (CP1E-E20DR-A), with USP port	4	17,300	69,200
TC			FA Integral Tool package CXONE Light (CXONE-LT01C-V4, 1 user)	4	75,300	301,200
TC			USB Cable (U2C-JB20BK,A-B type,2m)	4	600	2,400
TC	1-28	Cabinet	TBN-1102	2	176,000	352,000
TC	2	Apparatus for Mechanical Engineering Course				
TC	2-1	Gas Welder Set	Pressure regulator (O2)			
TC			SS boy ultra 0202 (E)	4	17,600	70,400
TC			spare packing	32	50	1,600
TC			Pressure regulator (acetylene)			
TC			SS boy ultra 02AC	4	17,600	70,400
TC			spare packing	32	50	1,600
TC			Welding torch			
TC			for Acetylene	4	8,900	35,600
TC			spare nozzle(No.100, 5pcs)	4	2,500	10,000
TC			spare nozzle(No.140, 5pcs)	4	2,500	10,000
TC			Touch for acetylene (medium, No.1)	4	8,900	35,600
TC			Spar cutting tip(No.2)	10	700	7,000
TC			twin hose for welding HK-1UN-1 (10m)for O2 & acetylene	4	20,600	82,400

Handwritten mark

## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
TC			igniter	4	500	2,000
TC			whetstone (100pcs/pack)	4	600	2,400
TC			chip cleaner (3 pcs/pack)	4	200	800
TC			wrench for cylinder handle with spanner	4	600	2,400
TC			craft for gas cylinder FG-H	4	51,000	204,000
TC	2-2	Flare Tool	EA6 flare tool set	4	34,600	138,400
TC	2-3	Pipe Cutter	1301P2 C2cutter	2	13,600	27,200
TC	2-4	Portable Pipe Vise with Tripod	1201VL VL	2	26,500	53,000
TC	2-5	Gauge Manifold	EA110A-10 [R-22]	2	44,900	89,800
TC	2-6	Pipe Bender	R23022	2	30,600	61,200
TC	2-7	Spring Bender Set	R25184	1	5,200	5,200
TC	2-8	Clamp Annmotor	2806	4	16,400	61,600
TC	2-9	Digital Thermometer	TX1001	4	21,600	86,400
TC			90020 Probe	4	11,100	44,400
TC	2-10	Emission Thermometer	53007	2	27,200	54,400
TC	2-11	Refrigeant Leak Detector	LB001	2	43,500	87,000
TC			LB110 Sensor	2	11,800	23,600
TC			LB120 Filter	2	5,400	10,800
TC	2-12	Thermo Hygrometer	8070-10	2	11,800	23,600
TC	2-13	Anemometer	7850-00	1	22,000	22,000
TC	2-14	Flow Meter	CFW1222-020-1D-A	1	93,000	93,000
TC	2-15	Copper Tube Roll	C02270 NO-220-S Neocoil	1	6,600	6,600
TC	2-16	Copper Tube Roll	C02350 NO-520 Neocoil	1	15,500	15,500
TC	2-17	Brass Bar for Brazing	Tablno	1	22,000	22,000
TC	2-18	Digital Multi meter	KEW105f	8	32,700	261,600
TC	2-19	Vibrometer	VM-2004-Neo(Type-212)	1	378,800	378,800
TC			Small Magnet	1	28,800	28,800
TC			Data Control Software	1	102,500	102,500
TC			Operational manual in English	1	6,800	6,800
TC	2-20	Voltage Detector	LX-686001	2	2,800	5,600
TC	2-21	Hydrometer	SGM-2	2	2,200	4,400
TC	2-22	Battery Tester	DSB22	2	13,100	26,200
TC	2-23	Oscilloscope	GOS-822G	1	61,000	61,000
TC	2-24	Handy Tachometer	FT3405	1	45,300	45,300
TC			921f	1	2,500	2,500
TC	2-25	Chronometric Tachometer	H	1	21,700	21,700
TC	2-26	Vernier Caliper	530-101 N15	6	6,300	50,400
TC	2-27	Three-phase Motor	M-103	1	170,000	170,000
TC			Operational manual in French	1	117,700	117,700
TC	2-28	Printed circuit board	UKFDN095147GR	200	400	80,000

(4/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
TC	2-29	Solder	S9X-56M	8	3,600	28,800
TC	2-30	Soldering Iron	SS-5000FP-2EPV	16	17,000	272,000
TC	2-31	Desoldering Tool	474-51	1	88,000	88,000
TC			A1009 Filter-S	2	250	500
TC			A1033 Filter-L	4	300	1,200
TC			A1010 Spring Filter	3	800	2,400
TC			B2073 Filter Pipe	3	900	2,700
TC			SE-800 Transformer	1	19,600	19,600
TC	2-32	Soldering Iron Stand	ST-75	16	1,600	25,600
TC	2-33	Crimper and Solderless Terminal Set	E3	8	3,300	26,400
TC	2-34	Wire Stripper	P-867	8	2,700	21,600
TC	2-35	Spanner Set	W-521	8	2,500	20,000
TC	2-36	Tool Set	D-78	8	2,000	16,000
TC	2-37	Hexagon socket screw keys set	W-96	8	900	7,200
TC	2-38	Phase Detector	KS1	2	5,400	10,800
TC	2-39	File set	K-215	16	2,300	36,800
TC	2-40	Hacksaw	T12131-88300	16	2,700	43,200
TC			TC20145-V224HE Blade	16	2,700	43,200
TC	2-41	Hammer	HK-10	8	1,300	10,400
TC	2-42	Wooden Hammer	Wooden Hammer 48mm	8	900	7,200
TC	2-47	Cabinet	TBN-1102	2	177,000	354,000
TC	2-43	Electric Drill	6010N(100V)	2	18,300	36,600
TC			SE-1000 Transformer(1000W)	2	23,500	47,000
TC	2-44	Drill Set	G-SD-SET-19P コーティングドリルセット	2	22,700	45,400
TC	2-45	Arg Welder	BP-300	1	287,000	287,000
TC			Primary side cable (IGT 22SQ x 30 / 5m)	2	2,200	4,400
TC			Secondary side cable (WGT38mm2 / 8m / with holder)	2	6,300	12,600
TC			Secondary side cable (WGT38mm2 / 8m / earth)	1	6,300	6,300
TC			Security holder	1	2,400	2,400
TC	2-48	High Speed Cutting Machine	SK-3A	1	652,000	652,000
TC			Whetstone (φ 405mm)	25	900	22,500
<b>Froid et Climatization</b>						
FC	1	Tool Set				
FC	1-1	Offset Wrench Set	TM508 + EK3-2 (Case)	30	13,360	400,800
FC	1-2	Double Open-ended Wrench Set	TS206A	30	4,450	133,500
FC	1-3	Socket Wrench Set	EA617HG	30	8,000	240,000
FC	1-4	Adjustable Wrench Set	EA530A-6 (150mm)	30	1,450	43,500
FC			EA530A-8 (200mm)	30	1,700	51,000

Y

(5/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
FC			EA530A-12 (300mm)	30	2,850	85,500
FC	1-5	Side Cutting Pliers	EA534KO-3	30	2,150	64,500
FC	1-6	Cutting Pliers	EA536EB-150	30	3,200	96,000
FC	1-7	Long Nose Pliers	EA537DH-150	30	1,730	51,900
FC	1-8	Terminal Gripping Tool Set	EA538CD (0.5~6mm <sup>2</sup> )	30	3,040	91,200
FC			AK-38A (14~38mm <sup>2</sup> )	4	12,130	48,520
FC	1-9	Wire Stripper	EA580D-1	30	1,250	37,500
FC	1-10	Level	EA721JN-1	30	1,100	33,000
FC	1-11	Measuring Tape	KNY-35	30	1,100	33,000
FC	1-12	Steel Square	EA720WA-50	30	2,270	68,100
FC	1-13	Soldering Iron	RED602 40W	30	830	24,900
FC			Setp down transformer (60W)	30	3,500	105,000
FC	1-14	File Set	EA521TV-20B	30	4,640	139,200
FC			11B	30	380	11,400
FC		Replacement Blade (50pcs)	LB50K	30	1,030	30,900
FC	1-16	Pliers	WP-250	30	1,030	30,900
FC	1-17	Pliers	PL-250	30	930	27,900
FC	1-18	Hammer				
FC	1-18-1	Hammer	EA575CK-2	30	3,760	112,800
FC	1-18-2	Hammer	300-3	30	3,900	117,000
FC	1-19	Hexagon Wrench Set	2212LH-10	30	7,750	232,500
FC	1-20	Screw Driver Set	EA657DC	30	4,100	123,000
FC	1-21	Pipe Wrench Set	EA546BD-150 (150mm)	10	2,690	26,900
FC			EA546BD-200 (200mm)	10	2,690	26,900
FC			EA546BD-250 (250mm)	10	3,020	30,200
FC			EA546BD-300 (300mm)	10	3,420	34,200
FC			EA546BD-450 (450mm)	10	5,790	57,900
FC	1-22	Wire Brush	EA109DK-1	30	240	7,200
FC	1-23	Fin Brush	EA109B	30	550	16,500
FC	1-24	Valve Key Wrench	EA213	30	2,330	69,900
FC	1-25	Center Punch	EA574B-1	30	400	12,000
FC	1-26	Vernier Caliper	EA725BC-1	30	3,900	117,000

(6/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
FC	1-27	Tool Box	D-6000	30	3,100	93,000
FC	2	Clamp Set	EA526WJ-50 (50mm)	30	1,740	52,200
FC			EA526WJ-100 (100mm)	30	3,100	93,000
FC			EA526WJ-150 (150mm)	20	4,500	90,000
FC	3	Snap Ring Pliers Set	EA590-12	1	11,000	11,000
FC	4	Ruler	YSL3-50	1	5,000	5,000
FC	5	Scale	No. 13048	10	2,100	21,000
FC	6	Steel Square	No. 11481	10	1,900	19,000
FC	7	Balance	SD-12	10	6,500	65,000
FC	8	Platform Scale	HV-200KGV	1	86,100	86,100
FC			Step down transformer (100V)	1	4,400	4,400
FC	9	Electric Drill	D10VH	6	14,380	71,900
FC			Step down transformer (1.5kVA)	6	19,800	99,000
FC	10	Drill Set	EA824AE-19	5	2,440	12,200
FC	11	Hole Saw Set	EA824HF	2	32,640	65,280
FC	12	Disc Grinder	G10SP4	10	15,360	153,600
FC			Step down transformer (1.5kVA)	10	19,800	198,000
FC	13	High Speed Cutting Machine	C-3050	2	17,220	34,440
FC			Step down transformer (3kVA)	2	41,800	83,600
FC			Cutting Wheel NRC-305 x 2.8	8	8,510	68,080
FC	14	Ladder	PRS120F	8	4,800	28,800
FC	15	Work Platform	PXGE-1012F	2	16,300	32,600
FC	16	Storage Cabinet	M-155BF	5	50,500	252,500
FC	17	Apparatus/Materials for Air Conditioning System				
FC	17-1	Sealing Tape	EA351	20	620	12,400
FC	17-2	Flare Union Set	EA430AC	10	14,800	148,000
FC	17-3	Flare Union Set	EA430AC-23 (1/4 x 3/8(1/2))	20	350	7,000
FC			EA430AC-34 (3/8 x 1/2(1/2))	20	810	16,200
FC	17-4	Flare Cap Set	EA443FA	4	5,700	22,800
FC	17-5	Elbow Set	EA432XB-2	4	7,400	29,600
FC	17-6	Socket Set	EA432XA-2	4	7,200	28,800
FC	17-7	Liquid Leak Detector	EA704D (100ml入)	30	450	13,500

F

(7/16)



## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
FC			EA704D-18 (18L入)	10	12,000	120,000
FC	17-8	Safety Glasses	EA800G	30	1,220	36,600
FC			EA800G-1	30	400	12,000
FC	17-9	Solder	EA311GB-12 (30m)	10	2,100	21,000
FC	17-10	Thermo Meter	No. 72746	40	200	8,000
FC	17-11	Grinding Wheel	NRS1006-24P (25pcs)	8	5,210	41,680
FC	17-12	Sealing Tape	EA940AW-125 (20m)	20	2,100	42,000
FC	17-13	Earthing Wire	EA940AS-13 (20m)	20	1,600	32,000
FC	17-14	Electric Wire	EA940AG-20 (20m)	20	6,520	130,400
FC	17-15	Terminal	EA538WA-4 (100pcs)	40	600	24,000
FC	17-16	Copper Pipe	EA440DB-2A (φ6.35mm)	20	850	17,000
FC			EA440DB-3A (φ9.53mm)	20	1,400	28,000
FC			EA440DB-4A (φ12.7mm)	20	1,770	35,400
FC			EA440DB-5A (φ15.88mm)	20	3,130	62,600
FC	17-17	Insulating Tape	EA944NP-6 (10pcs)	40	720	28,800
FC	18	C-clamp 250 mm	EA526WJ-250	10	8,390	83,900
FC	19	C-clamp 300 mm	EA526WJ-300	10	13,530	135,300
FC	Lot2-1	Electric Circuit Trainer		6	1,214,700	0,073,500
FC	Lot2-2	Tool Set for Air Conditioner				
FC	Lot2-2-1	Gauge Manifold Kit				
FC	Lot2-2-1-1	Gauge Manifold Set	TA122EH-2(R404A)	8	28,000	224,000
FC			TA124AH-2(HFC1)	30	24,000	720,000
FC			TA120AH-2	8	22,500	180,000
FC	Lot2-2-1-2	Hose Set	TA133AF(R410)	18	8,500	153,000
FC			TA135FN(HFC/R22/R12/R502)	18	8,500	153,000
FC	Lot2-2-1-3	Hose Packing Set	TA133AFP(R410A)	20	500	10,000
FC			TA133FP(HFC/R22/R12/R502)	20	450	9,000
FC	Lot2-2-2	Charge Valve Set	TA166-3(R410A)	16	4,800	76,800
FC			TA166C-9(HFC/R22/R12/R502)	40	4,800	192,000
FC	Lot2-2-3	Bomb Adapter Set	TA165AF(R410A)	8	1000	8,000
FC			TA165F(HFC/R22/R12/R502)	30	1000	30,000
FC	Lot2-2-4	Torque Wrench Set	TA771B(1/4 7L77751用)	30	6,500	195,000

(8/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)	
FC		TA771H(3/8 フレアナット用)	30	6,700	201,000	
FC		TA771L(1/2 フレアナット用)	30	7,200	216,000	
FC		TA771R(5/8 フレアナット用)	30	12,000	360,000	
FC	Lot2-2-5	Flaring Tool Set	TA55NT-2	30	19,700	591,000
FC	Lot2-2-6	Flaring Size Gauge	TA504SG	30	1,200	36,000
FC	Lot2-2-7	Vacuum Pump Set	TA150XA	15	42,000	630,000
FC		TA142VK-2	30	10,500	315,000	
FC		TA117-3 (4000cc)	20	3,800	76,000	
FC	Lot2-2-8	Leak Tester	TA430MB	30	37,500	1,125,000
FC		TA430MA-10	30	9,200	276,000	
FC	Lot2-2-9	Medium Volume Counter	TA101KA	30	30,000	900,000
FC	Lot2-3	Step-down Transformer	TPM-2000 ポータートランス	20	30,100	602,000
FC	Lot2-4	Cord Reel	【型式】 NF-E230-15A	20	22,500	450,000
FC	Lot2-5	Fluorocarbon Collection Set				
FC	Lot2-5-1	Fluorocarbon Collection Unit	TA110RX フッ素カーボン回収セット	10	117,000	1,170,000
FC	Lot2-5-2	Weight Limiter	TA101M	10	46,000	460,000
FC		TA-250 Step down transformer (25W)	10	3,200	32,000	
FC	Lot2-5-3	Recovered Cylinder Set	TA110-10N(without float sensor)	10	31,000	310,000
FC		TA110-10(with float sensor)	10	42,000	420,000	
FC	Lot2-5-4	Valve Opener Set	TA173C	10	10,500	105,000
FC		TA173C-1	20	2,100	42,000	
FC		TA173C-2	20	1,200	24,000	
FC	Lot2-6	Valve	TA163 サービス缶バルブ	10	1,600	16,000
FC	Lot2-7	Magnet for Electric Valve	TA129ZA 電磁弁用ハレーティングマグネット	20	4,200	84,000
FC	Lot2-8	Pipe Bending Machine Set	TA540A-3 tube bender(φ9.53mm)	10	4,500	45,000
FC		TA540A-4 tube bender(φ12.7mm)	10	7,000	70,000	
FC		TA540A-5 tube bender(φ15.88mm)	10	8,500	85,000	
FC		TA540A-6 tube bender(φ19.05mm)	10	12,000	120,000	
FC	Lot2-9	Pipe Expander Set	TA525	10	31,000	310,000
FC	Lot2-10	Welding-Cutting Torch Kit	TA370A	10	120,000	1,200,000
FC	Lot2-11	Nitrogen Gas Blow Set	TA376K	10	72,500	725,000
FC		窒素ボンベ(10L)	10	32,500	325,000	

(9/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
FC			TA621BR カ-ト	10	22,500	225,000
FC	Lot2-12	Air Compressor Set	TA301NR	5	66,000	330,000
FC			TA330A-10	5	6,300	31,500
FC			TA340AK	5	1,850	9,250
FC			TA295CG-3	5	1,650	8,250
FC	Lot2-13	Thermometer Set	TA410BX	10	30,000	300,000
FC			TA410-2	10	7,000	70,000
FC	Lot2-14	Digital Multimeter	TA452DJ AC/D clamp	30	7,200	216,000
FC	Lot2-15	Digital Clamp Meter	TA451MA	10	12,000	120,000
FC	Lot2-16	Phase Tester	TA450MP	5	8,500	42,500
FC	Lot2-17	Anemometer	TA411JD	4	191,000	764,000
FC	Lot2-18	Thermo-Hygro Meter	EA742E	10	30,500	305,000
FC	Lot2-19	Display Set				
FC	Lot2-19-1	Set of Electrically Operated Expansion Valve		1	1,576,900	1,576,900
FC	Lot2-19-2	Cut Sectional Model of Thermostatic Expansion Valve				
FC			TES5-6	1	235,000	235,000
FC	Lot2-19-3	Cut Sectional Model of Solenoid Valve				
FC			EVR10	1	186,000	186,000
FC	Lot2-19-4	Cut Sectional Model of Solenoid Valve	EVR32	1	350,000	350,000
FC	Lot2-19-5	Cut Sectional Model of Suction Line Pressure Regulator				
FC			KVL28	1	223,000	223,000
FC	Lot2-19-6	Cut Sectional Model of Evaporating Pressure Regulator				
FC			KVP28	1	238,000	238,000
FC	Lot2-19-7	Cut Sectional Model of Evaporating Pressure Regulator				
FC			PM1-32	1	318,000	318,000
FC	Lot2-19-8	Cut Sectional Model of Pressure Actuated Water Regulating Valve				
FC			AWR-2510GLW	1	140,000	140,000
FC	Lot2-19-9	Dual Pressure Control Switch				
FC			DNS-D606M	1	9,850	9,850
FC	Lot2-19-10	Pressure Control Switch	SNS-C106	1	8,450	8,450
FC	Lot2-19-11	Oil Protection Switch	ONS-D106	1	10,800	10,800
FC	Lot2-19-12	Digital Thermostat	ULE-SD12-010	1	27,500	27,500

(10/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)	
FC	Lot2-18-13	Digital Humidstat	FLE-SD11-010	1	43,500	43,500
FC	Lot2-19-14	Thermal Recorder	TR-V1050	1	345,200	345,200
FC			TR-TH08	2	99,000	198,000
FC			SJ-U2	1	33,000	33,000
FC			T Thermal recorder (100m巻)	1	25,000	25,000
FC			USB flash memory (2GB)	1	5,000	5,000
<b>Automobile</b>						
A	1	Micrometer	25MB	2	12,000	24,000
A	2	Micrometer	50MB	6	18,500	111,000
A	3	Micrometer	75MB	6	23,500	141,000
A	4	Micrometer	100MB	6	24,500	147,000
A	5	Micrometer	125MB	6	26,500	159,000
A	6	Micrometer	150MB	6	28,500	171,000
A	7	Micrometer Stand	MS-RB	6	12,100	72,600
A	8	Vernier Caliper	N-20 /キス(デブス付)	3	14,500	43,500
A	9	Dial Gauge	1044	9	6,050	40,250
A	10	Magnetic Base	MB-B	5	8,900	44,500
A	11	Cylinder Gauge	CG-S18A	6	43,500	261,000
A	12	Cylinder Gauge	CG-150AX	6	35,700	214,200
A	13	Surface Plate	SPB-4530	6	34,500	207,000
A	14	V Block	V-100A	6	10,710	64,260
A	15	V Block	V-75B	6	7,500	45,000
A	16	Square	S2-10	6	3,300	19,800
A	17	Thickness Gauge	No.85	6	4,000	24,000
A	18	Feeler Gauge	No.208	6	2,730	16,380
A	19	Straight Edge	SE-50	6	21,800	130,800
A	20	Mechanic Tool Set	CU-450	15	91,040	1,377,600
A	21	Combination Hammer	UD7-10	16	5,500	82,500
A			UD7-10-1 plastic head for replacement	15	960	14,700
A	22	T-Wrench	TH-10	15	1,960	29,700
A	23	T-Wrench	TH-12	15	2,100	31,500
A	24	T-Wrench	TH-14	15	2,300	34,500

(11/16)

## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
A	25	Screw Plate Set	M-018	1	28,500	28,500
A	26	Center Punch	UDP-10	15	2,100	31,500
A	27	Scraper Blade	SR-10	15	1,500	22,500
A	28	Torque Wrench	F23N	4	15,500	62,000
A	29	Torque Wrench	F92N	4	16,500	66,000
A	30	Torque Wrench	F190N	4	23,500	94,000
A	31	Magnetized Picker	VL2-HD	2	4,600	9,200
A	32	Adjustable Angle Wrench	WM-300	14	8,840	123,760
A	33	Spinner Handle	BS4E	14	6,300	88,200
A	34	Air Blow Gun	AG-B	15	5,300	79,500
A	35	Timing Light	KTL-12C	8	13,460	107,680
A	36	Battery Hydrometer	HM-L	5	3,000	15,000
A	37	Radiator Cap & Cooling System Tester				
A			RCT-2A	8	22,500	180,000
A			RGT-2A-20S Adapter set A	8	16,000	128,000
A			RGT-2A-30S Adapter set B	8	16,800	134,400
A	38	Spark Plug Gap Gauge	No.22MN	15	2,300	34,500
A	39	Compression Gauge	G-25B	5	30,600	153,000
A	40	Spark Plug Cleaner	SPC-12	1	55,040	55,040
A			A-80 Spark plug cleaning compound 2kg	2	2,170	4,340
A	41	Piston Ring Compressor	RO-25	15	6,200	93,000
A	42	Tool Tray	PB-4	15	2,100	31,500
A	43	Tool Tray	PB-3	15	5,420	81,300
A	44	Tool Tray	PB-2	15	8,600	127,500
A	45	Oil Measure	F-240	5	1,200	6,000
A	46	Press Gauge	PG-1	6	3,700	18,600
A	47	Oiler	F-301	15	30	450
A	48	Vacuum Pump	VP-D-S-1	15	9,800	147,000
A	49	Valve Spring Replacer	VL-400	15	21,500	322,500
A	50	Tacho Dwell Tester	DAOS-010-2B	1	98,700	98,700
A	51	Hand Valve Lapper	VL-20T	20	340	6,800
A	52	Valve Lapping Compound	VC-220	2	1,500	3,000

(12/16)

3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

	No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
A	53	Air Valve Lapper	T-510D	2	35,500	71,000
A			T-510D-20 Rubber cap (φ20, 10pcs)	3	510	1,530
A	54	Punch Set	H-75	5	9,800	49,000
A	55	Hydraulic Press	HP-100	1	126,280	126,280
A	56	Knock Pin Punch Set	PK8	2	19,000	38,000
A	57	Oil Pressure Gauge for Engine	HE-70	4	50,680	202,720
A	58	Parts Washing Stand	WS-25B	2	230,370	460,740
A	59	Engine Cleaner	HWG-90	15	9,500	142,500
A	60	Engine Brush	790	15	100	1,500
A	61	Punch	【型式】 C-20	15	340	5,100
A	62	Valve Seat Cutter Set	TB-524	3	183,750	551,250
A	63	Vice	SV-125	15	41,000	615,000
A	64	Diesel Nozzle Tester	DT-80N	1	57,000	57,000
A	65	Compression Gauge	DG-8S	3	58,600	175,800
A	66	Hand Spring Balance	ST-0.5	5	3,200	16,000
A	67	Hand Spring Balance	ST-2	5	3,200	16,000
A	68	Pre-stroke Measure Kit	95091-00060	5	361,260	1,806,300
A	69	DIESEL ENGINE TACHOMETER	DAOS-010-5B	4	98,700	394,800
A	70	Disk Grinder	G13SP	1	36,710	36,710
A	71	Grinding Wheel	RW-5	20	380	7,600
A	72	Garage Jack	M-150HL	4	77,500	310,000
A	73	Rigid Rack	M-12R-6	16	13,000	208,000
A			M-OP-RUB Rubber cover for saddle	16	1,820	29,120
A	74	Service Creeper	SC-11	8	22,300	178,400
A	75	Universal Puller Set	UP-3000	1	530,000	530,000
A	76	Universal Puller Ser	UP-5000	1	750,000	750,000
A	77	Coil Spring Compressor	HSO-340	4	62,000	248,000
A	78	Cross Rim Wrench	XH-14-21	4	7,600	30,400
A	79	Turning Radius Gauge	MB-35K	4	56,050	224,200
A	80	Camber Caster Kingpin Gauge	MB-40EO	4	48,000	192,000
A	81	Toe In Gauge	MB-58EK	4	45,000	180,000
A	82	Lifter	FC-5AB	1	210,000	210,000

(13/16)

## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)	
A	83	High Pressure Hosopipe	CWH-140KG-10	3	17,500	52,500
A	84	Megger	3213-43	1	61,900	61,900
A	85	Clamp Meter	TRD-1000A-3	1	48,600	48,600
A	86	Soldering iron	KX-60R(B) 220V AP	4	5,600	22,400
A	87	Soldering iron	KX-80R EX220V AP	6	6,200	37,200
A	88	Battery Charger	HRC-3510	1	72,730	72,730
A	89	Code Reader	WE3031JPB	1	27,300	27,300
A	Lot2-1	Electric Circuit Trainer	for training of refrigerator, freezer	5	1,214,700	6,073,500
A	Lot2-2-1-1	Gauge Manifold Set	TA122EH-2 (R404A compatible)	8	28,000	224,000
A			TA124AH-2 (HFC1 compatible)	30	24,000	720,000
A			TA120AH-2 (previous refrigerant compatible)	8	22,500	180,000
A	Lot2-2-1-2	Hose Set (Model)	TA133AF	18	8,500	153,000
A			TA135FN	18	8,500	153,000
A	Lot2-2-1-3	Hose Packng Set (Model)	TA133AFP	20	500	10,000
A			TA133FP (for class 1 HFC/R22/R12/R502, 6pcs)	20	450	9,000
A	Lot2-2-2	Charge Valve Set (Model)	TA166-3 (dedicated for R410A)	16	4,800	76,800
A			TA166C-3 (for class 1HFC/R22/R12/R502)	40	4,800	192,000
A	Lot2-2-3	Bomb Adapter Set (Model)	TA165AF (Dedicated for R410A)	8	1,000	8,000
A			165F (for class HFC/R22/R12/R502)	30	1,000	30,000
A	Lot2-2-4	Torqu Wrench Set (Model )	TA771B (for 1/4 Flare nut)	30	6,500	195,000
A			TA771H (for flare nut)	30	6,700	201,000
A			TA771L (for flare nut)	30	7,200	216,000
A			TA771R (for flare 5/8)	30	12,000	360,000
A	Lot2-2-5	Flaring Tool Set (Model)	TA65NT-2	30	19,700	591,000
A	Lot2-2-6	Flaring Size Gauge (Model)	TA504SG	30	1,200	36,000
A	Lot2-2-7	Vacuum Pump Set (Model)	TA150XA Vacuum Pump	15	42,000	630,000
A			TA142VK-2 Vacuum Gauge kit	30	10,500	315,000
A			TA117-3 Vacuum pump oil (4000cc)	20	3,800	76,000
A	Lot2-2-8	Leak Tester (Model)	TA430MB	30	37,500	1,125,000
A			TA430MA-10 Snesor	30	9,200	276,000
A	Lot2-2-9	Midium Volume Counter (Model)	TA101KA	30	30,000	900,000
A	Lot2-3	Step-down Transformer	TPM-2000 Portable transformer	20	30,100	602,000

(14/16)

## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)
A	Lot2-4 Cord Reel (Model)	NF-E230-16A	20	22,500	450,000
A	Lot2-5-1 Fluorocarbon Collection Unit	TA110RX	10	117,000	1,170,000
A	Lot2-5-2 Weight Limiter (Model)	TA101M	10	46,000	460,000
A		TA25-C Stopdown transformer (25W)	10	3,200	32,000
A	Lot2-5-3 Recoverd Cylinder Set (Model)	TA110-10N (without float sensor)	10	31,000	310,000
A		TA110-10 (with float sensor)	10	42,000	420,000
A	Lot2-5-4 Valve Opener Set (Model)	TA173C Piercing pliers	10	10,500	105,000
A		TA173C-1 Spare needle for piercing pliers	20	2,100	42,000
A		TA173C-2 Packing for piercing pliers	20	1,200	24,000
A	Lot2-6 Valve (Model)	TA163 Service can valve	10	1,500	15,000
A	Lot2-7 Magnet for Electric Valve	TA129ZA	20	4,200	84,000
A	Lot2-8 Pipe Bending Machine Set (Model)	TA540A-3	10	4,500	45,000
A		TA540A-4	10	7,000	70,000
A		TA540A-5	10	8,500	85,000
A		TA540A-6	10	12,000	120,000
A	Lot2-9 Pipe Expander Set	TA525	10	31,000	310,000
A	Lot2-10 Welding-Cutting Torch Kit (Model)	YA370A	10	120,000	1,200,000
A	Lot2-11 Nitrogen Gas Blow Set (Model)	TA376K Nitrogen blow	10	72,500	725,000
A		Nitogen voylinder (10L)	10	32,500	325,000
A		TA821BR cart	10	22,500	225,000
A	Lot2-12 Air Compressor Set (Model)	TA301NR Air compressor	5	65,000	330,000
A		TA330A-10 Connection hose	5	6,300	31,500
A		TA340AK Air duster	5	1,850	9,250
A		TA295CG-3 Ball valve	5	1,650	8,250
A	Lot2-13 Thermometer Set (Model)	TA410BX Digital thermometer deluxe set	10	7,000	70,000
A	Lot2-14 Digital Multimeter	TA452 DJ	30	7,200	216,000
A	Lot2-15 Digital Clamp Meter (Model)	TA451NA	10	12,000	120,000
A	Lot2-16 Phase Test (Model)	TA456M	5	8,500	42,500
A	Lot2-17 Anemometer (Model)	TA411JD	4	191,000	764,000
A	Lot2-18 Thermo-Hygo Meter (Model)	EA742E	10	30,500	305,000
A	Lot2-19-1 Set of Electrically Operated Expansion Valve		1	1,576,900	1,576,900
A	Lot2-19-2 Cut Sectional Model of Thermostatic Expansion Valve		1	235,000	235,000

(15/16)



## 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(du Japon)

No	Item	Specification	quantity	Unit Cost (JPY)	Total Cost (JPY)	
A	Lot2-19-3	Cut Sectional Model of Solenoid Valve	1	186,000	186,000	
A	Lot2-19-5	Cut Sectional Model of Section Line Pressure Regulator KVL28	1	223,000	223,000	
A	Lot2-19-6	Cut Sectional Model of Evaporating Pressure Regulator KVP28	1	238,000	238,000	
A	Lot2-19-7	Cut Sectional Model of Evaporating Pressure Regulator PMI-32	1	316,000	316,000	
A	Lot2-19-8	Cut Sectional Model of Pressure Actuated Water Regulating Valve ANR-2510GLW	1	146,000	146,000	
A	Lot2-19-9	Dual Pressure Control Swith	DNS-D609M	1	9,850	9,850
A	Lot2-19-10	Pressure Control Swith	SNS-G106	1	6,450	6,450
A	Lot2-19-11	Oil Protection Swith	SNS-G106	1	18,800	18,800
A	Lot2-19-12	Digital Thermostat (Model)	ULE-SD12-010 Thermo eye U	1	27,500	27,500
A	Lot2-19-13	Digital Humidistat (Model)	FLE-SD11-010 Humi eye F	1	43,500	43,500
A	Lot2-19-14	Thermal Recorder (Model)	TR-V1050	1	345,200	345,200
A			TR-TH08 Measuring unit	2	99,000	198,000
A			SJ-U2 AC Adapter	1	33,000	33,000
A			Type T thermocouple (100m coil)	1	25,000	25,000
A			USB flash memory (2GB)	1	5,000	5,000

(16/16)

### 3-8. Liste d'Equipements obtenus pendant ce Projet

(en RDC)

No	Ite.	Specification	Unit cost (USD)	Quantity	Total cost (USD)
1	Ordinateur portatif	HP630 (LH382E)	715.0	2	1,430.0
2	Ordinateur de table	DELL OPTIPLEX 380	890.0	8	7,120.0
3	Imprimante	HP Laserjet Pro M1132	385.0	2	770.0
4	Projecteur	ViewSonic PJD5122	750.0	2	1,500.0
5	Ecran	2m*2m	250.0	2	500.0
6	Réfrigérateur	250LT R/RD28	550.0	1	550.0
7	Bouton A		1.5	16	24.0
8	Bouton B		35.0	16	560.0
9	Bouton		15.0	16	240.0
10	Lampe		3.5	16	56.0
11	Douille		6.5	16	104.0
12	Plomb A		20.0	10	200.0
13	Plomb B		10.0	30	300.0
14	Générateur	YAMAHA ET6600E 5-5.5KWA	3,200.0	3	9,600.0

### 3-9 Coût des locaux/local du côté Japonais

	(USD)		
	2011	2012	total
Consommation	372	16,127	16,499
Transports et déplacements	3,389	10,930	14,319
Frais de communication	0	2,566	2,566
Impressions et reproduction documents	34,719	4,265	38,984
Frais pour execution du stage	0	940	940
Autre frais		782	782
frais por les activites des experts			
Salaire por les assistants et chauffeurs pour les experts	23,174	18,639	41,813
Frais de location des voitures pour les experts	62,587	40,125	102,712
Equipements	3,661	1,725	5,386
autre Equipements	7,149		
<b>Total Charges (USD)</b>	<b>135,051</b>	<b>96,099</b>	<b>231,150</b>

3-10 Liste d' homologues Congolais

Projet de Renforcement des Capacités des Formateurs de l'INPP en République Démocratique du Congo

FONCTION DANS LE PROJET	NOM ET POST-NOM	FONCTION A L'INPP
Directeur du Projet	TSHIKUYA KAYEMBE	Administrateur Délégué Général,INPP
Gérant du Projet	NKONGOLO BADIKILA	Directeur Technique,INPP
Coordinateur du Projet	BONDJEKE MWENINDAKA	Directeur Provincial de Kinshasa,INPP
Autres homologues	KANDOLO MBOMBO	Directeur des études,INPP
	MULUMBA NGINDU	Directeur de recouvrement
	NYANGA MAHAMBA	Directeur de L'inspection
	Directeurs des autres directions provinciales de l'INPP	
	Chefs de services faisant l'objet de la coopération de l'INPP	

**3-11 List des groupes de travail organisés pendant ce Projet****1-0.COMPOSITION DE LA COMMISSION DE DIFFUSION**

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	KANDOLO MBOMBO	CHEF DE LA COMMISSION/ DIRECTION DES ETUDES
2	BAPEKE BANKULU	SOUS DIRECTEUR DES ETUDES
3	KUMBI NAGINE	CHEF DE DIVISION
4	PHUKUTA JOSEPHINE	Chagé d'études
5	NYANGA MAHAMBA	DIRECTEUR DE L'INSPECTION TECHNIQUE

**1-1. CELLUE : GESTION DE DOCUMENTS**

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	MOMBAYA FREDDY	Chagé d'études, Direction des Etudes
2	INKIMA MAGUY	Chagé d'études, Direction des Etudes
3	MASENGU TSHIMANGA	Chagé d'études, Direction des Etudes
4	NSOMBE LORRY	Chagé d'études, Direction des Etudes

**1-2. CELLUE :ADMINISTATION DE LA FORMATION**

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	MUTOMBO KAZAMBA	Chagé d'études, Direction de l'Inspection
2	MUKAMBU KANDOLO	Chagé d'études, Direction de l'Inspection
3	BANDA KELEKEHE	Chagé d'études, Direction des Etudes
4	BITUMBA ERIC	Chagé d'études, Direction de l'Inspection

5	KABEDI KAYEMBE	Chargé d'études, Direction des Etudes
6	INDONGO MIMIE	Chargé d'études, Direction de l'inspection

## 1-3. CELLUE :GESTION DE BASES DES DONNEES

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	MIHIGO MUGISHO	Chargé d'études, Direction des Etudes
2	MBIDI LOBO	Chargé d'études, Direction des Etudes
3	MENA VITA	Chargé d'études, Direction des Etudes
4	ALOMA EDENGU	Chargé d'études, Direction des Etudes
5	MUKUNA WAKUPELA	Chargé d'études, Direction des Etudes
6	MWAMBA KANDE	INPP- KINSHASA
7	NGOY DANNY	INPP- KINSHASA

2.COMPOSITION DE LA COMMISSION DE GESTION  
ET D'AMELIORATION DE LA FORMATION

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	BONDJEKE MWENINDAKA	CHEF DE LA COMMISSION/ Directeur Provincial /INPP-Kinshasa
2	MAHENDA MA NKUWU	CHEF GROUPE DE TRAVAIL 5S
3	MBONGO LOKOLE	CHEF GROUPE DE TRAVAIL TRONC COMMUN

## 3-11. Liste de groupes de travail organisés pendant ce Projet

4	LUTETE MUFU	CHEF GROUPE DE TRAVAIL PEDAGOGIE
5	MOKOMBA MATA	CHEF GROUPE DE TRAVAIL FROID ET CLIMATISATION
6	MBIYA MUKANYA	CHEF GROUPE DE TRAVAIL MOTORISATION
7	NTIKALA BIONGO	CHEF DE SERVICE MECANIQUE - GENERALE
8	TSHIBAMBE NYENGIE	CHEF DE SERVICE ELECTRICITE
9	NTAMBWE MPIANA	CHEF DE SERVICE TOLERIE - SOUDURE
10	MONSEVINYA N'SANEMA	CHEF DE SERVICE ELECTRONIQUE
11	MWANGATAYI LUKUSA	CHEF DE SERVICE MOTORISATION

## 3.COMPOSITION DU GROUPE DE TRAVAIL 5S

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE/ ENTITE
1	MAHENDA MA NKUWU	CHEF GROUPE DE TRAVAIL/SOUS DIRECTEUR PROVINCIAL INPP-KINSHASA
2	MBONGO LOKOLE	ADJOINT TECHNIQUE/ INPP-KINSHASA
3	MONGO MUYAMBO	ADJOINT ADMIN. ET FINANCIER
4	TSUKA NDAMBA	OEUVRES SOCIALES /INPP-KINSHASA
5	VUVU LUKULA	APPROVISIONNEMENT/ INPP-KINSHASA
6	KITSIERE ITSUELE	INVENTAIRES/ INPP-KINSHASA

## 3-11. Liste de groupes de travail organisés pendant ce Projet

7	KIBALEKELA MATUASILUA	BATIMENT – GENIE CIVIL/ INPP-KINSHASA
8	MWANGATAYI LUKASA	MOTORISATION/ INPP-KINSHASA
9	MOKOMBA MATA	FROID ET CLIMATISATION/ INPP-KINSHASA
10	MONSEVINYA N'SANEMA	ELECTRONIQUE/ INPP-KINSHASA
11	TSHIBAMBE NYENGIE	ELECTRICITE/ INPP-KINSHASA
12	NTIKALA BIONGO	MECANIQUE – GENERALE/ INPP-KINSHASA
13	NTAMBWE MPIANA	TOLERIE– SOUDURE/ INPP-KINSHASA
14	KASONGO NGAIZI	PREVENTION-RISQUES PROFESSIONNELLES /INPP-KINSHASA
15	MOBANGA IBAMI	ORIENTATION SELECTION PROF(OSP)
16	LUTETE MUFU	PEDAGOGIE/ INPP-KINSHASA

## 4.COMPOSITION DU GROUPE DE TRAVAIL MOTORISATION

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE/ ENTITE
1	MBIYA MUKANYA	CHEF DE GROUPE DE TRAVAIL/ MOTORISATION / INPP- KINSHASA
2	EGBOLO MOSAU	MOTORISATION / INPP- KINSHASA
3	MPOYI PIKALAKU	MOTORISATION / INPP- KINSHASA
4	KAVUL MWAMB	MOTORISATION /INPP-KATANGA
5	NGUZI MPASI	MOTORISATION -/INPP- BOMA
6	NKORMEN LASONG	MOTORISATION / INPP- KINSHASA
7	KULE KIMIYAVAKE	MOTORISATION / INPP- KINSHASA
8	DIASILUA MUBETO	MOTORISATION /INPP- BOMA



## 5.COMPOSITION DU GROUPE DE TRAVAIL PEDAGOGIE

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	LUTETE MUFU	CHEF DU GROUPE DE TRAVAIL/ INPP- KINSHASA
2	BOOTO WIYAMBE	INPP- KINSHASA
3	MAVINGA WILA	INPP- KINSHASA
4	BOLA IWULA	DIRECTION GENERALE
5	MUKANDO KANDOLO	DIRECTION GENERALE
6	IKAMBA BOLEKILI	INPP- KINSHASA
7	PHAMBU NLANDU	INPP-BOMA

6.COMPOSITION DU GROUPE DE TRAVAIL  
FROID ET CLIMATISATION

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	MOKOMBA MATA	CHEF DE GROUPE DE TRAVAIL/ INPP-KINSHASA
2	NSONI MANSANGA	INPP-KINSHASA
3	NKIALULENDO PONDA	INPP-KINSHASA
4	LEMA LUBANZADIO	INPP-KINSHASA
5	NGOMA NZITA	INPP-KINSHASA

## 7.COMPOSITION DU GROUPE DE TRAVAIL TRONC COMMUN

No	NOM ET POST-NOM	SERVICE / ENTITE
1	MBONGO LOKOLE	CHEF DU GROUPE DE TRAVAIL/ INPP- KINSHASA
2	TSHIBAMBE NYENGIE	INPP- KINSHASA
3	MWAMBA KANDE	INPP- KINSHASA /SECRETAIRE
4	LUTONDO LUKIESE	INPP- KINSHASA
5	TETE MBONDA	INPP- KINSHASA
6	DIMBU MUKISIONA	INPP- KINSHASA

/

7

3-12 Coût des locaux/local du côté Congolais

	(CDF)			(CDF)			(CDF) Total	(USD) Total
	HQ	schools	sous total	HQ	schools	sous total		
	2011			2012				
Matieres d'oeuvre et fouriniutres	0	2,576,000	2,576,000	0	2,339,060	2,339,060	4,915,060	5,229
Transports et deplacements	75,000	823,840	898,840	2,969,200	651,660	3,620,860	4,519,700	4,808
Charge locative (Frais d'hotels)	14,728,400	1,690,120	16,418,520	42,313,300	10,320,260	52,633,560	69,052,080	73,460
impressions et reproduction documents		500,000	500,000	150,000	0	150,000	650,000	691
Gouverture mediatique et presse	16,908,500	1,269,080	18,177,580	12,471,545	1,596,000	14,067,545	32,245,125	34,303
Autre frais d'administration (Dedouanement materiels JICA et autres demarches)	854,000	940,000	1,794,000	4,249,842	4,373,020	8,622,862	10,416,882	11,082
rencontres locales et seminaires								
Reception	17,098,200	0	17,098,200	1,721,847	207,000	1,928,847	19,027,047	20,242
Collations, rafraichissements et restaurations	12,552,870	200,360	12,753,230	3,567,500	3,452,740	7,020,240	19,773,470	21,036
autre Equipements	11,840,679	0	11,840,679	34,780,000	9,298,600	44,078,600	55,919,279	59,489
Autre primes	2,386,351	0	2,386,351	1,884,000	550,000	2,434,000	4,820,351	5,128
<b>Total Charges (CDF)</b>	<b>76,444,000</b>	<b>7,999,400</b>	<b>84,443,400</b>	<b>104,107,234</b>	<b>32,788,340</b>	<b>136,895,574</b>	<b>221,338,974</b>	
<b>Total Charges (USD)</b>	<b>83,929</b>	<b>8,783</b>	<b>92,711</b>	<b>110,752</b>	<b>34,881</b>	<b>145,634</b>		<b>238,345</b>

**MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
THE JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM  
AND  
NATIONAL INSTITUTE OF PREPARATION PROFESSIONAL  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT  
FOR  
DEVELOPMENT CAPACITY OF INSTRUCTORS AT INPP  
IN THE DEMOCRATIC REPUBLIC OF CONGO**

The Japanese Mid-term Review Team (hereinafter referred to as “the Japanese Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Eiro YONEZAKI, visited the Democratic Republic of Congo (hereinafter referred to as “DRC”) from 3<sup>rd</sup> November to 20<sup>th</sup> November 2012.

During its stay in Congo, the Japanese Team had a series of discussions with National Institute of Preparation Professional (hereinafter referred to as “INPP”), jointly reviewed the achievement of the Project for Development Capacity of Instructors at INPP in DRC (hereinafter referred to as “the Project”) and exchanged views on the project activities to fulfill the Record of Discussions (hereinafter referred to as “R/D”) signed on 12<sup>nd</sup> November, 2010.

Both sides also discussed revision of the project design and the plan of activities. As a result of the discussions, the Japanese Team and INPP concerned agreed the matters referred in the document attached hereto.

Kinshasa, 19<sup>st</sup> November, 2012

---

Mr. Eiro YONEZAKI  
Leader  
Japanese Mid-term Review Team  
Japan International Cooperation Agency

---

Mr. Maurice THIKUYA KAYEMBE  
Administrator Director General,  
National Institute of Preparation Professional  
Democratic Republic of Congo

## TABLES OF CONTENTS

<b>1. Introduction.....</b>	
1-1. Preface	
1-2. Objectives of the Review	
1-3. Schedule of the Japanese Team	
1-4. Members of the Evaluation Team	
1-5. Methodology of the Review	
<b>2. Evaluation.....</b>	
2-1. Achievement of the Project	
2-2. Implementation process of the Project	
2-3. Evaluation by Five Criteria	
<b>3. Revision of PDM.....</b>	
<b>4. Conclusion.....</b>	
<b>5. Recommendations.....</b>	

### ANNEXES

#### ANNEX 1. Evaluation

- 1-1. Achievement of the Project
- 1-2. Progress of the project activities –as of October 2012
- 1-3. Evaluation by Five Criteria

#### ANNEX 2. PDM (ver.2)

#### ANNEX 3. Inputs to the Project

- 3-1. List of Japanese Experts
- 3-2 List of Training executed by Japanese Experts (Pedagogy)
- 3-3 List of Training executed by Japanese Experts (Automobile)
- 3-4 List of Training in Japan (Refrigeration and Air conditioning)
- 3-5 List of Training in Japan (Automobile)
- 3-6 List of Training executed by Senegal CFPT Experts
- 3-7 List of Training in Senegal
- 3-8 List of Equipment procured under the Project
- 3-9 Local cost from Japanese side
- 3-10 List of DRC counterparts
- 3-11 List of working groups organized under the Project
- 3-12 Local cost from DRC side

## 1. Introduction

### 1-1. Preface

The Project was launched in January 2011 and will be completed in December 2013. With the remaining period of the Project, JICA dispatched the Japanese Team to the Democratic Republic of Congo from 3<sup>rd</sup> to 20<sup>th</sup> November, 2012 for the purpose of evaluating the achievement of the Project. The Mid-term Review has been undertaken jointly by the Japanese Team and Congolese authorities concerned.

### 1-2. Objectives of the Review

Objectives of the Mid-term Review are as follows:

- i) to review and evaluate the inputs, activities and achievements of the Project;
- ii) to clarify the problems and issues to be addressed for the successful implementation of the Project for the remaining period;
- iii) to assess the rationale for the continuation of the Project based on the review;
- iv) to make recommendations for activities in the remaining period; and
- v) to review and revise the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") if needed.

### 1-3. Schedule of the Japanese Team

Date			Schedule
11	2	Fri	Tokyo → Paris
	3	Sat	Paris → Kinshasa Security briefing at JICA
	4	Sun	Interview to Japanese experts
	5	Mon	Courtesy Call to INPP Interview to INPP and INPP Kinshasa
	6	Tue	Interview to Core-trainers Interview to trainers
	7	Wed	Interview to INPP and Core-trainers
	8	Thu	Interview to INPP Kinshasa
	9	Fri	Interview to Belgic partner Interview to the persons of Ministry of Employment, Labor and Social Security Interview to FEC and ANEP
	10	Sat	Documentation
	11	Sun	Documentation
	12	Mon	Internal meeting Courtesy Call to INPP HQ, Visit to INPP Kinshasa
	13	Tue	Draft of the Evaluation report by the Team

			Meeting with Japanese experts
	14	Wed	Presentation about the Project progress by INPP Discussion with INPP about the draft of the report
	15	Thu	Courtesy Call to Ministry of Employment, Labor and Social Security Discussion with INPP about M/M
	16	Fri	Discussion with INPP about M/M Closing ceremony of the Pedagogy course
	17	Sat	Documentation
	18	Sun	Documentation
	19	Mon	JCC, Signing of M/M Presentation about the Project progress by INPP to the partners
	20	Tue	Report to Embassy of Japan Depart from Kinshasa
	21	Wed	→Paris
	22	Thu	→Tokyo

#### 1-4. Members of the Evaluation team

##### (1) Japanese Side

No.	Name	Job title	Occupation	Period
1	Mr. Eiro YONEZAKI	Team Leader	Chief Representative, JICA Democratic Republic of Congo Office	11 <sup>th</sup> – 20 <sup>th</sup> Nov
2	Ms. Mami KUSHIDA	Cooperation Planning	Social Security Division, Human Development Department, Japan International Cooperation Agency	11 <sup>th</sup> – 20 <sup>th</sup> Nov
3	Ms. Kinuko MITANI	Evaluation and Analysis	Consultant, IC Net Limited.	3 <sup>rd</sup> – 20 <sup>th</sup> Nov

##### (2) Congo side

No.	Name	Job title	Occupation
1	Mr. Maurice THIKUYA KAYEMBE	Project Director	Administrator Director General of INPP
2	Mr. Paul NKONGOLO BADIKILA	Project Manager	Director of Technique, Direction Generale of INPP
3	Mr. Joseph BONDJEKE MWENINDAKA	Project Coordinator	Director of INPP-Kinshasa
4	Mr. KANDOLO MBOMBO	Counterpart	Director of Study, INPP
5	Mr. NYANGA MAHAMBA	Counterpart	Director of Inspection Technique, INPP
6	Mr. MULUMBA NGINDU	Counterpart	Director of Recovery, INPP

### 1-5. Methodology of the Review

In accordance with the JICA Project Evaluation Guideline, the Mid-term Review of the Project was conducted. The definition of the five evaluation criteria that were applied in the analysis for the review is given in the table below.

Five Evaluation Criteria	Definition as per the JICA Evaluation Guidelines
1. Relevance	Relevance of the Project is reviewed by the validity of Project Purpose and Overall Goal in connection with the Government development policy and the needs of the target group and/or ultimate beneficiaries in DRC.
2. Effectiveness	Effectiveness is assessed to what extent the Project has achieved its Project Purpose, clarifying the relationship between Project Purpose and Outputs.
3. Efficiency	Efficiency of the Project implementation is analyzed with emphasis on the relationship between Outputs and Inputs in terms of timing, quality and quantity.
4. Impact	Impact of the Project is assessed in terms of positive/negative, and intended/unintended influence caused by the Project.
5. Sustainability	Sustainability of the Project is assessed in terms of institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievement of the Project will be sustained after the Project is completed.

Data collection methods used for the review by the Japanese Team was as follows:

- i) Literature/Documentation Review (Progress Reports, Reports of JICA experts, relevant policy papers, etc.);
- ii) Questionnaires (JICA experts and DRC counterpart personnel); and
- iii) Interviews (JICA experts, DRC counterpart personnel, Core Trainers of INPP, etc.

## 2. Evaluation

The Project is under implementation, which commenced in January 2011. It is going to be terminated in December 2013 (36 months). The Project has two phases:

- First phase: training of core-trainers
- Second phase: trainings of trainers (TOT)

### 2-1. Achievement of the Project

Achievement of the Project was reviewed and assessed by the Team based on the project design summarized in the Project Design Matrix (PDM) (version 2). The summary of the achievement level of the Project is stated below. For more detailed progress of the Project, please see Annex 1-1 to 1-2.



## 2-1-1. Inputs

Both Congo and Japanese sides provided inputs such as human resources, equipment, funds and others necessary for the project implementation as planned, which were stated in the Record of Discussions (R/D) for the most part up to the time of the mid-term review.

### (1) Japanese side

The summary of the inputs provided by Japanese side are as shown below. Details of the inputs are listed in Annex 3-1 to 3-9.

- Dispatch of experts from Japan: a total of nine categories of the experts were dispatched to DRC. The followings are the areas of expertise covered:
  - Chief advisor
  - Training planning
  - Training management (two persons)
  - Automobile
  - Pedagogy
  - Baseline survey (two persons)
  - Operation coordination
- Dispatch of experts from Senegal: three experts from Senegal were dispatched for conducting the trainings for the core-trainers as part of the Tronc Commun Training.
- Financial contributions: About 231,135 USD has been spent for the project implementation, which includes travel expenses of the trainers of INPP at regional level (between Kinshasa and their home provinces).
- Procurement of equipment: equipment necessary for the trainings planned and under implementation such as generators, laptops, projectors, screens and specific tools and machines.
- Trainings in Japan: Five core-trainers for Automobile<sup>1</sup> participated in the first training from September 18 to November 2, 2012 (46 days). Five core-trainers for Refrigeration and Air-conditioner<sup>2</sup> participated in the first training from May 16 to July 1, 2011 (47 days). The same participants participated in the second training from August 16 to September 29, 2012 (45 days). In addition, INPP personnel participated in other group trainings in the field of vocational training conducted in Japan.
- Trainings in Senegal: The trainings organized in Senegal for the Tronc Commun Training. Eight core-trainers were trained in Mechanics from 1) January 4 to February 19, 2011 (47 days) and 2) July 11 to August 19, 2011 (40 days). Another eight core-trainers were trained in Electro techniques from 1) January 4 to February 26, 2011 (54 days) and 2) August 2 to August 19, 2011 (17 days).

---

<sup>1</sup> In total, two trainings are going to be conducted in Japan under the Project.

<sup>2</sup> In total, three trainings are going to be conducted in Japan under the Project.

## (2) Congo side

The major inputs provided by INPP are highlighted below. Details of the inputs made available by INPP side are attached as Annex 3-10 to 3-12.

- Placement of project members: upon the project commencement, project members from Congo side (counterparts) were appointed to the Project, which are the representatives of INPP from HQ to school levels. In addition, INPP personnel were assigned to the Dissemination Committee, Committee of Management and Improvement and the four Working Groups.
- Financial contributions: 221,338,974 CDF (equivalent of USD 238,345<sup>3</sup>) has been spent for the project implementation. In particular, consummation cost, allowance, transport cost for the trainers, accommodation and refreshments were born by the Congo side.
- In-kind contributions: office space including work space as per the needs of the experts and the counterparts has been provided by INPP. Other items such as office furniture and utilities such as water, electricity and phone line have been provided by INPP.

As per the R/D, the following key personnel from INPP are playing the key roles as the project members.

- Project director: Administrative Director General, INPP HQ
- Project manager: Director of Technique, INPP HQ
- Project coordinator: Director, INPP Kinshasa

### 2-1-2. Outputs

The project members from both Congo and Japanese sides are working together to carry out the project activities, which were planned at the time of the project formulation. Three expected outputs set for the Project are listed below.

Output 1	Le dispositif de mise en œuvre de la formation de base en tronc commun est renforcé.
Indicators	1-1 Le plan de formation de base en tronc commun (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan. 1-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi le formation de base en tronc commun sont satisfaits du contenu de formation. 1-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation de base en tronc commun et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.

The activities to realize Output 1 is in progress. According to the indicators shown above, Indicator 1-1 is already achieved. Indicator 1-2 is going to be evaluated in due course, so that it is too early to make the final assessment. At the time of the mid-term review, the project members from both sides are confident to realize the indicator before the project termination. As

<sup>3</sup> The exchange rate applied was USD1 to CDF 940(2012)/CDF 911(2011)(resource: INPP)

for Indicator 1-3, review and modification of the training modules and teaching materials are considered to be ongoing activities. The counterparts are fully understood the reasons for the required review and modification owing to the technical transfer made by the experts.

Output 2	Le dispositif de mise en œuvre de la formation spécialisée est renforcé.
Indicators	<p>2-1 Le plan de formation spécialisée (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>2-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>2-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation technique spécialisée et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p>

There is some delay in the progress of realizing Output 2. A major reason for the delay is related to the 2011 TOHOKU Disaster. First training in Japan for Automobile could not be conducted due to the occurrence of the Disaster. The Project made an alternative arrangement to move forward with the planned activities. The decision was to send an expert responsible for Automobile from Japan to INPP for the time being. According to the Project, this delay will not influence the achievement level of Output 2 by the time of terminal evaluation.

As for the Refrigerator and Air-Conditioner, the activities are in progress as planned. The training of the core-trainers were also conducted in Japan as planned.

Output 3	Le dispositif de mise en œuvre de la formation pédagogique est renforcé
Indicators	<p>3-1 Le plan de formation pédagogique (contenu, durée et nombre de participants) est établi chaque année scolaire et la formation est mise en œuvre suivant le plan.</p> <p>3-2 Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique sont satisfaits du contenu de formation.</p> <p>3-3 Les directives et les manuels techniques et pédagogiques de formation sont élaborés pour la formation pédagogique et révisés au moins à deux reprises au cours du projet.</p>

The activities planned to realize Output 3 are in progress. The core-trainers were trained by the expert(s). They are in the process of conducting the TOT under the supervision of the expert(s). As per the needs identified in the course of the project implementation, the Man/Month of the expert whose specialization is Pedagogy was extended.

### 2-1-3. Project Purpose

Project purpose	Les capacités techniques des formateurs sont renforcées principalement dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation de l'INPP.
Indicators	<p>1. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation de base en tronc commun obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet.</p> <p>2. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation spécialisée</p>

	<p>obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet.</p> <p>3. Plus de 80 % de formateurs ayant suivi la formation pédagogique obtiennent une note supérieure à trois sur cinq lors de l'évaluation réalisée par le projet</p>
--	---

It is too early to assess the achievement level of the project purpose at the time of mid-term review. The Project is designed to assess the three indicators set after the completion of the training conducted by the core-trainers. The Project organized trainings to build the capacity of the core-trainers up to the time of mid-term review. Based on the results of the interviews conducted to the project members from both Congo and Japanese sides, there are positive behavior changes found in the core-trainers and some of the trainers. Hence, the Team believes the Project is on the right track for achieving the project purpose.

Based on the discussions held between the experts and the Team, the following clarification was made for better understanding of the expected achievement levels by the project termination:

- Indicator 1 and 3: the expected achievement level is set for the trained INPP trainers under the Project to develop skills for necessary implementation of the standard curricula.
- Indicator 2: the expected achievement level is set for the core-trainers to develop skills for necessary simulation of the new technical knowledge, which has been transferred from the experts in the Project.

#### 2-1-4. Overall Goal

Overall Goal	La formation professionnelle de qualité est offerte à l'INPP principalement dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation.
Indicators	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Le nombre d'anciens stagiaires de l'INPP Kinshasa (filières de mécanique automobile et de froid et climatisation) ayant créé leur propre entreprise et/ou trouvé une situation dans une entreprise augmente par rapport au début du projet.</li> <li>2. Accroissement du niveau de satisfaction des compagnies qui ont employé les anciens stagiaires de mécanique automobile et de froid et climatisation à l'INPP.</li> <li>3. Les stagiaires dans les filières de mécanique automobile et de froid et climatisation de l'INPP améliorent les notes obtenues à l'examen de la fin de formation.</li> <li>4. Accroissement du niveau de satisfaction des stagiaires qui ont fini leur formation en mécanique automobile et de froid et climatisation à l'INPP.</li> <li>5. Accroissement du résultats de criteres d'appréciation d' une leçon de formateurs ayant suivi la formation de pédagogique.</li> </ol>

No written documentation could be obtained to evaluate the achievement level of the overall goal by the Team. It is understandable that no document is available in relation to the indicators when considering the time spent for the project implementation is just over one year. According to INPP, the number of trainees counted in 2011 was 24,688 when compared with the number in 2004, which was below 5,000. There was a significant increase in the number. Yet, the Team could not make any direct linkage between the increase and the Project.

INPP in collaboration with Congo Enterprise Federation (FEC) and National Enterprise and Professional Association (ANEP) has arranged appropriate partnership mechanisms besides the current arrangement made from financial view point, so that INPP can achieve the overall goal. INPP is expected to mainstream the organizational structures to collect data that are required as references to assess the realization of the five outputs set as shown above. INPP is also expected to coordinate the assistance provided by development partners such as Japan, France, India and other countries in the coming years for the objectives of the further modernization and improvement of training quality. As a result of all efforts made by INPP and its development partners, the overall goal is expected to be successfully achieved.

## **2-2. Implementation process of the Project**

The Project is utilizing the inputs made available by both sides. The Joint Coordination Committee established for the Project is playing the advisory and authority roles in the Project as planned at the time of the project formulation. In the Project, there were a few activities, which were designed to enhance the management capacity of INPP. In these perspectives attempts, 1) 5S was introduced to the Congo side, and 2) development of the inventory database of tools and equipment at school-level was commenced.

Despite the high level of motivation and commitment demonstrated by the project members from both sides for the implementation of the Project, the Team identified a few areas for improvement in the project implementation mechanism and method as a result of the mid-term review. The followings are the issues found in the Project.

### **(1) Decision-making process**

At the beginning of the implementation of the national training, there was some confusion in decision-making process. For example, steps such as review process of the project modules and teaching materials for Tronc Commun Training and issuance of certificates upon completion of the training were not clearly understood by all the concerned project members.

### **(2) Availability of tools and equipment at INPP schools**

INPP is not fully aware of the types of equipment to be procured by the Project in the remaining project period. The experts are responsible to share such information in a timely manner and accurately to Congo side. The communication methods used by the experts may not be most transparent to have mutual understanding regarding the Project by both sides. In addition, inventory database of the equipment procured in the Project is not yet developed for effective use of the tools and equipment.

Although the Project provided some tools and equipment according to the needs addressed by the

counterparts and the assessment made by Japanese side at the beginning of the Project, INPP does not have enough tools and equipment.

### (3) Arrangement made for the trainers participating in the trainings

The counterparts of the Project are held responsible for their regular duties during the project implementation. They were taken away from the project activities time to time according to the urgent and/or regular mandates come under their responsibilities.

## 2-3. Evaluation by Five Criteria<sup>4</sup>

The following is the summary of the review results based on the five evaluation criteria described in 1-5. Details are indicated in Annex 1-3.

### 2-3-1. Relevance

The relevance of the Project is high since the project objectives not only remain consistent with the development policy but also are in line with needs of the Government of DRC. The Ordinance no.206 (June 29, 1964) authorized the establishment of INPP in DRC. Since the enforcement of the Ordinance, INPP was placed as the center of professional training. DSCR 2 (2011-2015) also states the need of increasing the level of employment through professional training.

INPP is an acting member of the Inter-Ministerial Commission<sup>5</sup>, which is the governing and implementation body in charge of technical education and vocational training within DRC. The Commission is comprised of the following ministries:

- Ministry of Employment, Labor and Social Security<sup>6</sup>
- Ministry of Higher, Academic Education and Scientific Research
- Ministry of Elementary, Secondary and Vocational Education
- Ministry of Social Affairs, Humanitarian Actions and National Solidarity
- Ministry of Youth and Sports

The Commission is the platform at policy-level for better coordination among the ministries listed above for improvement of the field of technical education and vocation training in DRC. Under the leadership of the Commission, INPP is in a better position for realizing its objectives.

The Government of Japan (GOJ) has not changed its priority of assistance to DRC. One of the top priorities is economic development. During TICAD IV held in 2008, the importance to develop

---

<sup>4</sup> The Team applied the following ratings: high, relatively high, fair, relatively low, and low.

<sup>5</sup> The responsibilities given to the Commission are 1) to establish a synergy of actions, 2) to exchange experiences between Ministries and involved institutions by technical education and vocational training, 3) to support the Government of DRC to advocate towards stakeholders to raise increasingly crosscutting funds related to technical education and vocational training, and 4) to encourage the improvement of pedagogy, programs of training for systems of evaluation in taking in account needs of economy and labor market.

<sup>6</sup> INPP comes under the Ministry of Employment, Labor and Social Security.

the field of secondary and higher education. In the field identified as the key sector includes vocational training, which is critical tool to create skilled labor for the development of DRC. Hence, the Project is consistent with the assistance policy of GOJ for DRC. The aspects listed above were dealt with in the Project.

### **2-3-2. Effectiveness**

The effectiveness of the Project can be assessed as relatively high. The reason is that the first phase of the Project for the core-trainers is in progress. The second phase of the Project on trainers training by the core-trainers to the trainers from other INPP schools has just commenced, so that the Team cannot make comprehensive assessment of the adequacy and quality of such outputs. However, the Team believes that the project purpose is going to be achieved if the same level of commitment demonstrated by the counterparts and the experts continues until the project termination.

There was no major problem in regard to dispatch of the Japanese and experts as well as the equipment procurement from Japanese side. According to INPP, the trainings in Japan were an effective approach to expose some of the counterparts to the methods practiced for a long time in the field of vocational training. Yet, there is a room for improvement in 1) designing the content of the training course, and 2) the process of the training implementation. For example, the expectations of the participants were not fully met. Similarly, adequate time for preparing teaching materials in French might not have been secured.

According to the results of the interviews conducted to both sides, all the trainings planned and in progress are found to be very useful to the trainers at INPP.

Shortage of tools and equipment at INPP was considered as the biggest constraint for the project implementation, especially by the Congo side. The Project partly overcame the obstacle by utilizing the tools and equipment provided by the Project.

Method of Curriculum Development Based on Vocational Ability Structure (CUDBAS) was found to be an appropriate method for the development of training curricula including modules and teaching materials. Hence, the Team found the method as an effective model of the capacity development of trainers at INPP.

### **2-3-3. Efficiency**

Efficiency of the Project is assessed as relatively high since the achievement levels of the outputs are going smooth. The main factor for the assessment is that the project activities have been carried out as planned for the most part. According to the experts, there are some delays in the progress of Output 2 and 3. However, they expect that the remaining activities would be

completed before the project termination.

The inputs from the Japanese side have been provided as stated in the R/D. Upon the proposal made by the experts, the number of experts dispatched to DRC from Japanese side was increased. From a view point of DRC, there is no major concern in regard to the inputs provided by Japanese side. According to the counterparts and the experts, equipment, knowledge and experience transferred from Japanese side to Congo side have been appropriate and useful.

According to the participants in C/P training, the duration of training in Japan was too short to meet the needs and expectations that each participant had. Hence, some participants already addressed their recommendations to the experts before and upon returning to DRC.

The inputs from DRC side have been provided to the Project as planned for the most part. At the time of the mid-term review, the Team has observations regarding the direct working relationships between the experts and concerned INPP HQ personnel in particular for securing sustainability of the Project. At the same time, assistance extended by the JICA advisor for vocational training to the Project should be highlighted as one of the crucial contributing factors.

Securing time without disturbance from the regular day-to-day duties of the trainers may be sought during the remaining time of the project implementation. According to the experts, the core-trainers when conducting trainings were called for matters in regard to their regular duties. Hence, new rules and environment may be needed to create time for the trainers to give completely focus on the project activities.

#### **2-3-4. Impact (prospects)**

Impact of the Project is fair.

It is likely that the trainings planned and implemented in the Project will be a contributing factor for the achievement of the overall goal by the Congo side. The counterparts suggested that the trainings provide to the trainers at INPP have boosted their confidence. Although it is not clear how much is attributable to the Project, the top management of INPP observed that the quality of performance of the trainers at INPP who are involved in the Project is improving. One example is FEC is more interested in strengthening the partnership with INPP. Another example is the similar demands from ANEP and the students enrolled in INPP.

At the time of the mid-term review, the Team found both positive and negative factors in respect to the attainment status. The contributing and hindering factors identified by the Project are shown in Table 1. The project outputs are expected to contribute to improvement of the quality of trainers at INPP across the country although there is still a great need for further intervention to



overcome the obstacles faced by INPP in the coming years. Hence, the Team evaluated that there are sufficient contributing factors to forecast the achievement of the overall goal.

Table 1 Contributing and hindering factors identified by the Team

Contributing factors	Hindering factors
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Image of INPP is changed to more reliable training institute by FEC and ANEP.</li> <li>• Assistance of other development partners is moving forward in the field of vocational training.</li> <li>• Establishment of new bureau responsible to build a structure to monitor whereabouts of the trainees completed courses from INPP.</li> <li>• Recruitment of new trainers is already thought at INPP HQ level.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Shortage of tools and equipment needed for the trainings offered at INPP.</li> <li>• Limited funds allocation to INPP to rehabilitate the school buildings, including classrooms and laboratories.</li> </ul>

**2-3-5. Sustainability (prospects)**

Although it may be too early to evaluate the sustainability of the Project at the time of mid-term review, the Team found it is relatively high based on the results of the interviews conducted to the project members from both Congo and Japanese sides.

(1) Organizational and policy aspects

The project's sustainability from organization and policy aspects are high.

In Section II Responsibility in the Training – Article 5 in the Ordinance no.71-055 (March 26, 1971), it is stated that INPP will bring 1) trainings aligned to the needs of industries, 2) to train skilled trainers in accordance with the provisions of Article 5 of Labor Code. In Article 6 in the Ordinance, it is said that INPP will organize trainings when called upon by ministers in charge of Labor. Hence, the Team identified INPP as the organization responsible for creating skilled trainers and labors in DRC. DSCR 2 (2011-2015) also states the need of increasing the level of employment through professional training.

(2) Financial aspect

The project sustainability from a financial view point is fair.

It is difficult to assess the project's sustainability from a financial view point at the time of mid-term review since the frequency and the level of needs to conduct the trainings after the project termination are not yet determined by INPP. According to the interviews conducted to the counterparts, INPP is trying to procure some of the tools and/or equipment required by the counterparts during the project implementation and after the project termination. Yet, the exact date of realizing the attempt is not clear at the time of mid-term review.

According to INPP, controllers who are responsible in collecting the required fees from the member companies are more capable to illustrate the kind of service INPP can provide to them owing to the side effect of the Project. This is one of the positive behaviour changes. This change can be translated as an indicator for high probability of increase on the revenue of INPP. Table 2 shows the current percentage of financial contributions mandated to INPP by the member companies.

Table 2 Percentage (%) of financial contributions from the member companies

Number of employees	% of mandate per company (against the total number of employees)
1 to 50	3%
51 to 300	2%
300 and above	1%

Despite the finding mechanism established for INPP, the results of the interviews to INPP HQ indicated some financial challenges faced by them. Both FEC and ANEP, which are the key partners of INPP from the financial view point, these entities addressed the difficulties to provide more financial contributions to meet the needs of INPP. There may be a need for these entities and INPP come together to develop a strategy for the objective of INNP modernization before the project termination. Otherwise, ways forward to meet the needs and the demands addressed by these entities and INPP will not be taken care based on the actual conditions these organizations are placed.

### (3) Technical aspect

The project's sustainability from a technical view point is relatively high.

The Team collected both qualitative and quantitative data when conducting baseline survey and follow-up survey before the commencement of the mid-term review. According to the experts, technical capacity of the counterparts is strengthening owing to the Project. Furthermore, they believe that the capacity of the counterparts will be further enhanced during the remaining duration of the Project. INPP is expected to continue to carry out the same, if not, similar trainings by themselves after the project termination, as/when necessary.

As part of the enhancement of the management capacity of INPP Kinshasa, the Project recommended to develop inventory database. INPP Kinshasa is expected to maintain the list to monitor how the equipment is used and maintained. This structured monitoring method is expected to be institutionalized in INPP. In addition, INPP introduced 5S approach. At INPP Kinshasa, the Deputy Director is acting as the focal point, and is, step by step, applying 5S. 5S is a low-cost intervention to improving the working/learning environment of INPP. The Team valued the fact that INPP understood the need for 5S application to INPP.

### **3. Revision of PDM**

Based on the review, both sides agreed that there is no need for modification of PDM ver.2 as attached in ANNEX2

### **4. Conclusion**

Generally, the Project has been carried out as planned so far in the line with needs of the Government of DRC. Some progress of the Project has been observed, such as the core- trainers training by the Japanese and Senegalese experts, trainings in Japan and trainings in Senegal. The TOT programs conducted by the trained Core-trainers are established and commenced. The review and modification of the training modules and materials are in progress. Motivation of the Congo side is high in developing capacity of INPP trainers through the Project. Therefore, if the project members from both Congo and Japanese sides continuously work together in the implementation of the project activities, the project purpose would be successfully achieved at the end of the Project.

### **5. Recommendations**

In order to improve the implementation mechanism and environment of the activities during the remaining period, the following recommendations are made by the Team.

#### **5-1.Assurance the quality of the trainings**

Some of the participants of the TOTs were taken away from the training time to time because of the responsibilities that they are given. For assurance of the quality of trainings, securing time without disturbance from regular duties of the trainers is recommended. New rules and working environment may be needed to create time for the trainers to give completely focus on the project activities. At the same time, both side, Cong side and Japanese side recognized the necessity to establish the trainers qualification system at the end of each training. It is recommended to realise that system before the end of the Project, in collaboration between both sides.

#### **5-2 Development of the inventory database of tools and equipment**

According to the results of the interviews to the Congo side, shortage of tools and equipment at INPP was mentioned at various levels. The Project partly provided based on the needs of the project activities and commenced the develop inventory database of tools and equipment at INPP Kinshasa as a part of enhancement of management capacity. The completion the database development at earliest possible is recommended not only to identify the shortage and clarify the necessity of the additional procurement for the Project, but also to establish the plan and determination by INPP to roll out these activities to outside of Kinshasa even after the Project.

### **5-3 Improvement of the specialized skills training in Japan**

According to the participants of the trainings in Japan in the field of Automobile and Refrigeration and Air-conditioning, some recommendations for improvement were addressed. The suggestions included; 1) the duration of the training, 2) the reflection of the needs and expectations by participants. The Project team is expected to review carefully the method and contents of the trainings which are going to be conducted in the remaining project period to maximize the effects of the trainings.

### **5-4 Establishment of TOT implementation cycle**

The project activities in the remaining duration will be focused on the implementation of TOTs to expand the core-trainers' experience and additional technical knowledge, which they obtained through the Project so far. For effective implementation, it is recommended to establish detailed schedule and clarify series of the processes for preparation, execution, and feedback to the next training, and proper execution would be recommended.

### **5-5 Reinforcement of collaboration between decision-making level and implementation level**

For effective implementation of the planned TOTs, the close communication and solid collaboration are needed between INPP HQ, Diffusion Commission as decision-making level, and INPP Kinshasa, Committee of Management and Improvement as implementation level. The main reason is for preventing from the confusion such happened at the beginning of the national training implementation.

### **5-6 Finalization of the training execution manual**

The Japanese expert team proposed development of the training execution manual. The manual is used to share the process and quality management system, plan-do-check-action-plan cycle, for effective execution the national training, The Dissemination Committee tried to use the manual. Considering the future application of the manual in INPP Kinshasa and INPP schools outside of Kinshasa, the manual is expected to be finalized as soon as possible in collaboration with the counterparts and Japanese experts. Thereafter, the manual should be disseminated to all schools.

### **5-7 Prospect of the INPP activities to outside Kinshasa**

The project outputs are expected to contribute to improvement of the quality of trainers at INPP across the country. Though the project period and activities under the framework of the Project are limited, INPP is expected to establish the continuous implementation plan with using the fruits of this Project before the end of the Project. For the planning, it is expected to assess the actual situation and needs of each INPP school. The assessment points may be focused on 1) expected level of for conducting TOTs, 2) needs of rehabilitation of the school buildings, 3) availability of

tools and equipment. To establish the overview for expansion of the project activities to INPP schools, which are located outside Kinshasa is needed for sustainable capacity development of INPP trainers. The Japanese experts are expected to provide advice to INPP from technical and pedagogical viewpoint during the remaining duration of the Project.

## **ANNEXES**

### **ANNEX 1. Evaluation**

- 1-1. Achievement of the Project
- 1-2. Progress of the project activities –as of October 2012
- 1-3. Evaluation by Five Criteria

### **ANNEX 2. PDM (ver.2)**

### **ANNEX 3. Inputs to the Project**

- 3-1. List of Japanese Experts
- 3-2 List of Training executed by Japanese Experts (Pedagogy)
- 3-3 List of Training executed by Japanese Experts (Automobile)
- 3-4 List of Training in Japan (Refrigeration and Air conditioning)
- 3-5 List of Training in Japan (Automobile)
- 3-6 List of Training executed by Senegal CFPT Experts
- 3-7 List of Training in Senegal
- 3-8 List of Equipment procured under the Project
- 3-9 Local cost from Japanese side
- 3-10 List of DRC counterparts
- 3-11 List of working groups organized under the Project
- 3-12 Local cost from DRC side

## 2. 評価グリッド（英・仏）

### Project on Development Capacity of Instructors at National Institute of Professional Preparation

#### Evaluation Grid

Item	Evaluation Question		Source of Information
	Main Question	Sub-Question	
Relevancy	Relevance of priority	Are the overall goal and the purpose of the Project consistent with national strategy/plan/policy of the Congolese government?	<ul style="list-style-type: none"> <li>National plan(s) of the Congolese government</li> <li>Policy document(s) and plan(s) related to flood management prepared by the concerned Ministry, if available.</li> <li>Interview to the JCC members</li> </ul>
	Relevance of needs	Does the Project meet the needs of the Congolese government?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to the JCC members</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Commitment of Congolese side	Is the commitment level from Congo side for successful project implementation high?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to JICA Congo Office</li> <li>Project progress report(s)</li> <li>Interview to the JCC members</li> </ul>
	Relevance to the Japanese ODA policy	Are the overall goal and the purpose of the Project consistent with Japanese ODA policy of for Congo?	MOFA strategy/policy documents related to Congo
	Relationship with other development partner(s)	Are there comparability/synergy between the Project (JICA) and other development partner(s) in the field of vocational training in Congo?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to the project members from Congo side</li> <li>Interview to other development partners(i.e., Belgium and France)</li> </ul>
	Advantage of Japanese technology	Do the Japanese experience, technology, techniques have the comparative advantage?	Project preliminary study report
Effectiveness	Prospect of achieving the project purpose	What is the possibility of achieving the project purpose at the time of mid-term review?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Project progress report(s)</li> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		What are the special measures taken in order to achieve the project purpose, if any?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Adequacy of cause/effect of the project purpose, outputs and external factors/important assumption(s)	What is the achievement level of the project purpose in relation to achievement levels of the expected outputs and external factor(s)/important assumption(s)?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		What are the external factor(s) and important assumption(s) in regard to the Project?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Project progress report(s)</li> <li>Questionnaire</li> </ul>
	Project management structure	Are the monitoring structure, decision making structure, and communications adequate/appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Factor(s) might affected the achievement of the project purpose	Are there any promoting factors for achieving the project purpose?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Are there any hindering factors for achieving the project purpose?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview to the Japanese experts</li> <li>Interview to the project members from Congo side</li> </ul>

Item	Evaluation Question		Source of Information
	Main Question	Sub-Question	
Efficiency	Achievement level of Outputs	Are the expected outputs going to be realized as planned?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Is each output contributing to achieve outcome(s) of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Are the verifiable indicators set for the outputs adequate?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		How are the textbooks and guidelines developed in the Project utilized by Congo side?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Timing of implementation of project activities and placement of inputs	Are the dispatch timing of Japanese experts and other inputs adequate?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project progress report(s)</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		Is the placement of the project members from Congo side timely and adequate?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project progress report(s)</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		Did the equipment procured in the Project meet the needs of Congo side?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Appropriateness of quantity, quality, and time of inputs	Experts and the project members from Congo side	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Equipment	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Training in Japan	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project progress report</li> <li>• Interview to the participants of training in Japan</li> </ul>
	Contributing and/or hindering factor(s) to increase efficiency	Are there any contributing factor(s) to increase the project efficiency?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
		Are there any hindering factor(s) to increase the project efficiency?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> </ul>
	Collaboration with other ODA project	Were there any collaboration/coordination with other JICA project(s), assistance of the Japanese Government, and/or other development partner(s) in the same or similar field?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the Japanese Experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Interview to any other concerned person(s)</li> </ul>

Impact	Prospects of achieving the overall goal in 3-5 years after project termination	Is the achievement of the overall goal of the Project high?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		What are the external factors and the important assumptions?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Relationship with other assistance provided by JICA	Are the roles and responsibilities clearly defined between the JICA advisor and the Project?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the JICA advisor</li> </ul>
		What kind of synergy and coordination is made between the JICA advisor and the Project?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the JICA advisor</li> </ul>
What kind of side effects is expected due to the delay in the progress of the JICA grant project?		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to JICA HQ</li> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview to the Japanese experts</li> <li>• Interview to the JICA advisor</li> </ul>	
Sustainability	Organizational and policy aspects	Are the policies/act(s)/system(s) to sustain the project effects adequately in effect/place?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the JCC members</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Human resource aspect	Is it like that that Congo side will allocate adequate person(s) to sustain the project effects after the project termination?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Financial aspect	Is it likely that Congo side will allocate adequate funds to sustain the project effects after the project termination?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the JCC members</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Technical aspect	Is the technology/technique(s) required for Congo side to sustain the project effects by itself adequately developed?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the JCC members</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Lessons learned	What are the lessons learned of which the Project found so far in regard to the project design, implementation process and sustainability, if any?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview to the Japanese Experts</li> <li>• Interview to the project members from Congo side</li> <li>• Interview to any other concerned person(s)</li> </ul>



**Projet du Renforcement de Capacité des Formateurs de l'Institut National de Préparation Professionnelle**

**Grille d'évaluation**

Article	Question d'évaluation		Source d'information
	Question principale	Sous-Question	
Pertinence	Pertinence prioritaire	L'objectif global et le but du Projet sont-ils conforme à la stratégie/au plan/à la politique nationale du gouvernement congolais?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Plan(s) national du gouvernement congolais</li> <li>Document(s) et plan(s) de la politique en rapport avec la gestion des inondations préparé(s) par le Ministère concerné, si c'est disponible.</li> <li>Interview aux membres de JCC</li> </ul>
	Pertinence des besoins	Le Projet satisfait-il aux besoins du gouvernement congolais?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres de JCC</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	Engagement du côté RDC	Le niveau d'engagement du côté RDC pour la réussite de la mise en œuvre du Projet est-il élevé?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview au Bureau de JICA Congo</li> <li>Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>Interview aux membres de JCC</li> </ul>
	Pertinence de la politique de l'Assistance Officielle japonaise au Développement (ODA)	L'objectif global et le but du Projet sont-ils conforme à la politique de l'ODA japonaise pour la RDC?	Les documents de la stratégie/politique de MOFA sur la RDC
	Relation avec d'autres partenaires de développement	Y'a-t-il comparabilité/synergie entre ce Projet (JICA) et d'autres partenaires de développement dans le domaine de la formation professionnelle en RDC?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> <li>Interview aux autres partenaires de développement (par ex. la Belgique et la France)</li> </ul>
	Les avantages de la technologie japonaise	L'expérience, la technologie, les techniques japonaises ont-elles des avantages comparatifs?	Rapport d'étude préliminaire du Projet
Efficacité	Perspective pour atteindre le but du Projet	Quelle est la probabilité d'atteindre le but du Projet à la période de la revue à mi-parcours?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Quelles sont les mesures particulières prises pour atteindre le but du Projet, s'il y'en a?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	A propos de cause/effet du but du Projet, des résultats et des facteurs externes/hypothèse(s) importante(s)	Quel est le niveau de réalisation du but du Projet en rapport avec les niveaux de réalisation des résultats attendus et les facteurs externes/des hypothèses importantes?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Quels sont les facteurs externes et les hypothèses importantes en ce qui concerne le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>Questionnaire</li> </ul>
	Structure de gestion du Projet	La structure de suivi, la structure de prise de décision et les communications sont-elles adéquates/appropriées?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	Les facteurs pourraient avoir affecté la réalisation du but du Projet	Y'a-t-il des facteurs qui promeuvent la réalisation du but du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Y'a-t-il des facteurs qui empêchent la réalisation du but du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Questionnaire</li> <li>Interview aux experts japonais</li> <li>Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>

<b>Efficience</b>	Niveau de réalisation des résultats	Les résultats attendus vont-ils se réaliser comme prévu?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Chaque résultat contribue-t-il à atteindre l'aboutissement du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Les indicateurs vérifiables établis pour ces résultats sont-ils adéquats?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Comment le côté RDC se sert-il des manuels et directives élaborés dans le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	Calendrier de la mise en œuvre des activités du Projet et du placement des apports	Le calendrier d'envoi des experts japonais et d'autres apports est-il adéquat?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		Le placement des membres du projet côté RDC est-il opportun et adéquat?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport(s) sur le progrès du Projet</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		Les outillages procurés dans ce Projet ont-ils satisfait aux besoins du côté RDC?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	La convenance de la quantité, de la qualité et de la période des apports	Les experts et les membres du Projet côté RDC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Outillage	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Formation au Japon	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport sur le progrès du Projet</li> <li>• Interview aux participants de la formation au Japon</li> </ul>
	Les facteurs contribuant et/ou empêchant l'accroissement de l'efficience	Y'a-t-il des facteurs contribuant à l'accroissement de l'efficience du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
		Y'a-t-il des facteurs empêchant l'accroissement de l'efficience du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> </ul>
	Collaboration avec d'autres projets ODA	Y'avait-il collaboration/ coordination avec d'autres projets de JICA, une autre aide du gouvernement japonais, et/ou d'autres partenaires de développement dans le même domaine ou dans un domaine similaire?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> <li>• Interview à toute autre personne concernée</li> </ul>

<b>Impact</b>	Perspectives de réalisation de l'objectif global dans 3-5 ans après la fin du Projet	La réalisation de l'objectif global du Projet est-elle élevée?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
		Quels sont les facteurs externes et les hypothèses importantes?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres du Projet côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Relation avec d'autres aides accordées par la JICA	Les rôles et les responsabilités sont-ils clairement définis entre la Conseillère de JICA et le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview à la Conseillère de JICA</li> </ul>
		Quel genre de synergie et de coordination y'a-t-il entre la Conseillère de JICA et le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview à la Conseillère de JICA</li> </ul>
	À quel genre d'effets secondaires s'attend-on vu le retard dans le progrès du projet d'aide de JICA?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview au QG de JICA</li> <li>• Questionnaire</li> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview à la Conseillère de JICA</li> </ul>	
<b>Durabilité</b>	Aspects organisationnel et politique	Les politiques/lois/systèmes du maintien des effets du Projet sont-ils suffisamment en vigueur/en place?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres de JCC</li> <li>• Interview aux membres du Project côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Aspect ressources humaines	Est-il probable que le côté RDC désigne des personnes qui sont à la hauteur pour maintenir les effets du Projet après la fin du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres du Project côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Aspect financier	Est-il probable que le côté RDC affecte des fonds suffisants pour maintenir les effets du Projet après la fin du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres de JCC</li> <li>• Interview aux membres du Project côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Aspect technique	La technologie/technique requise pour que le côté RDC, lui-même, maintienne les effets du Projet est-elle suffisamment développée?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux membres de JCC</li> <li>• Interview aux membres du Project côté RDC</li> <li>• Questionnaire</li> </ul>
	Leçons tirées	Quelles sont les leçons tirées que le Projet a trouvées jusque là en ce qui concerne le plan du Projet, la mise en œuvre du processus et la durabilité, s'il y'en a?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interview aux experts japonais</li> <li>• Interview aux membres du Project côté RDC</li> <li>• Interview à toute autre personne concernée</li> </ul>

3. カウンターパートリスト

組織	氏名	役職
INPP 本部	Maurice Tshikuya Kayembe	総裁／プロジェクトディレクター
	Paul Nkongolo Badikila	技術部長／プロジェクトマネージャー
INPP キンシャサ校	Joseph Bondjeke Mwenindaka	校長／プロジェクトコーディネーター
	Makumbi	副校長 (5S 活動担当)
	Mbongo Lokole Joseph Mbonda Tete Monsevigna Albert Ntambwe Jean Mpiana Lutondo lukiese Joly Kalala Mwadia Nvita Ngongo Kashisha Jean Louis	基礎共通研修ワーキング・グループメン ンバー 基礎共通研修ワーキング・グループメン ンバー 基礎共通研修コア・トレーナー 基礎共通研修コア・トレーナー 基礎共通研修コア・トレーナー 基礎共通研修コア・トレーナー
	Lutete Mufu Booto Bola Ikamba Bolekila Booto Wiyambe Mavinga Wila Pambu	指導技法学科長 指導技法コア・トレーナー 指導技法コア・トレーナー 指導技法コア・トレーナー 指導技法コア・トレーナー 指導技法コア・トレーナー
	Mwangatayi Makumbi Mbiya Mukania Egolo Mosau Mpoyi Pikalaku Kavul Mpasi Nguzi Mpasi	自動車学科長 自動車学科監査担当 自動車学科ワーキング・グループリー ダー 自動車学科コア・トレーナー 自動車学科コア・トレーナー 自動車学科コア・トレーナー (カタン ガ校) 自動車学科コア・トレーナー (ボマ校)
	Mokomba Nkialulendo Ponde Junior Nsoni Mansanga Jules Lema Lubanzadio Fabien Ngoma Nzita Aaron Mokomba Mata Joel	冷凍・空調学科長 冷凍・空調学科コア・トレーナー 冷凍・空調学科コア・トレーナー 冷凍・空調学科コア・トレーナー 冷凍・空調学科コア・トレーナー 冷凍・空調学科コア・トレーナー

REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO



INSTITUT NATIONAL DE  
PREPARATION PROFESSIONNELLE



Agence Japonaise de  
Coopération Internationale

### ACTIVITES DE L'INPP AVEC L' APPUI DE LA JICA

### Négociation de la formation de tronc commun entre INPP,CFPT et la JICA

DAKAR



KINSHASA



### ACTIVITES REALISEES AVEC L'APPUI DE LA JICA

Pour améliorer la qualité de la formation, 3 dispositifs ont été mis en place pour renforcer les capacités des formateurs :

1. En tronc commun
2. Formation spécialisées en froid et motorisation
3. Formation pédagogique

### Signature d'accord de partenariat entre INPP, CFPT et JICA



## 1. Formation des maîtres formateurs en tronc commun au Sénégal (CFPT)

- Première phase : du 04/01 au 19/02/2011
- Deuxième phase : du 11/07 au 19/08/2011

## B. TRONC COMMUN / ELECTROTECHNIQUE

Maîtres formateurs formés en électrotechnique : 8

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEURS	LIEU	DURÉE
1	MOKOMBA MATA	FROID ET CLIMATISATION	ELECTRICITE ORGANISATION PNEUMATIQUE ELECTRONIQUE ANALOGIQUE ET NUMERIQUE TRAVAUX MAQUETTES	EXPERTS CFPT	CFPT	Du 04/01 au 19/02/2011
2	NSONI MANSANGA	FROID ET CLIMATISATION				
3	MBONGO LOKOLE	ELECTRICITE				
4	TSHIBAMBE NYENGIE	ELECTRICITE				
5	TETE MBONDA	ELECTRICITE				
6	MONSEVINYA ALBERT	ELECTRONIQUE				
7	NGONGO KASHISHA	ELECTRONIQUE				
8	LUBWIKA NZEMBELENGE	ELECTRONIQUE				

## 1<sup>ère</sup> PHASE

### A. TRONC COMMUN MECANIQUE

Maîtres formateurs formés en Mécanique : 8

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEURS	LIEU	DURÉE
1	MBIKAYI TSHIBAWU	MOTORISATION	ELECTRICITE ORGANISATION PNEUMATIQUE DESSIN INDUST SOUDAGE	EXPERTS CFPT	CFPT	Du 04/01 au 26/02/2011
2	DIMBU MUKINSONA	MOTORISATION				
3	MBIYA MUKANIA	MOTORISATION				
4	DIASILUA MUBETO	MOTORISATION (BOMA)				
5	NTIKALA BIONGO	MECAGE				
6	LUTONDO LUKIESE	MECAGE				
7	NTAMBWE MPIANA	TOLERIE SOUDURE				
8	KALALA MWADIA MVITA	CONTRÔLE AUTOMOBILE				


Réalisations pratiques en électronique




câblage en électropneumatique



Oxy-coupage



Soudage TIG



### B. TRONC COMMUN / ELECTROTECHNIQUE

Maîtres formateurs formés en électronique : 8

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEURS	LIEU	DURÉE
1	MOKOMBA MATA	FROID ET CLIMATISATION	AUTOMATIQUE	EXPERTS CFPT	CFPT	Du 03/08 au 19/02/2011
2	NSONI MANSANGA	FROID ET CLIMATISATION				
3	MBONGO LOKOLE	ELECTRICITE				
4	TSHIBAMBE NYENGIE	ELECTRICITE				
5	TETE MBONDA	ELECTRICITE				
6	MONSEVINYA ALBERT	ELECTRONIQUE				
7	NGONGO KASHISHA	ELECTRONIQUE				
8	LUBWIKA NZEMBELENGE	ELECTRONIQUE				


### 2<sup>ème</sup> PHASE

### A. TRONC COMMUN / MECANIQUE


Maîtres formateurs formés en Mécanique : 8

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	INSTRUCTEUR	LIEU	DURÉE
1	MBIKAYI TSHIBAWU	MOTORISATION	METROLOGIE AJUSTAGE TECHNOLOGIE AUTOMOBILE HYDRAULIQUE	EXPERTS CFPT	CFPT	Du 11/09/2010 au 11/01/11
2	DIMBU MUKINSIONA	MOTORISATION				
3	MBIYA MUKANIA	MOTORISATION				
4	DIASILUA MUBETO	MOTORISATION (BOMA)				
5	NTIKALA BIONGO	MECAGE				
6	LUTONDO LUKIESE	MECAGE				
7	NTAMBWE MPIANA	TOLERIE SOUDURE				
8	KALALA MWADIA MVITA	CONTRÔLE AUTOMOBILE				

Câble en hydraulique



Pilotage du simulateur d'un système de production industriel



## 2. Formation de restitution de Kinshasa du 05/05 au 28/06/2011

N°	NOMS	SERVICE	INSTRUCTEUR	LIEU	PERIODE
1	MPOYI PIKALAKU	MOTORISATION	DIMBU MUKINSONA MBIYA MUKANIA NTIKALA BIONGO LUTONDO LUKIESE NTAMBWE MPIANA KALALA MWADIA MVITA MAKOMBO MATA NSONI MANSANGA MBONGO LOKOLE TSHIBAMBE NYENGEIE TETE MBONDA MONSEVINYA ALBERT NGONGO KASHISHA LUBWIKA NZEMBELENGE	INPP KINSHASA	DU 05/05 AU 28/06/2011
2	NKOREMEN LASONG	MOTORISATION			
3	MASHI MASHIKI	TOLERIE-SOUDURE			
4	NDUNGE MIPHASI	TOLERIE-SOUDURE			
5	BOOTO BOLABIKA	MECAGE			
6	TSHISWAKA TSHIKUYA	MECAGE			
7	MBUYA MUTOMBO	ELECTRICITE			
8	MWAMBA MUKINAYI	ELECTRICITE			
9	KADIMA KABUYA	ELECTRONIQUE			
10	MUKENDI KAPUSU	ELECTRONIQUE			
11	MWAMBA MUKENDI	ELECTRONIQUE			
12	KIKONGO MBOUM	FROID CLIMATISATION			
13	BOKAMBANDIA LOMBOTO	FROID CLIMATISATION			
14	MWANZA GIZENGA	FROID CLIMATISATION			
15	KABONGO	CONTRÔLE AUTOMOBILE			
16	MIZIAMO MOPATIBI	CONTRÔLE AUTOMOBILE			

## 3. Formation de restitution au Bas Congo

N°	NOMS	SERVICE	INSTRUCTEUR	LIEU	PERIODE
1	ENGOMBA MOTOLU	MECAGE	MBONGO LOKOLE DIASILUA ELIE LUTONDO LUKIESE	IRPP KINSHASA	DU 13/06 AU 24/06/2011
2	MVUEZELI MBAMBI	MECAGE			
3	MPOYI BOYO	MECAGE			
4	MAYIMONA SOLO	MECAGE			
5	NGUZI MPASI	MECANIQUE AUTO			
6	NGOMA NGOMA	MECANIQUE AUTO			
7	MAKABA YIMBU	MECANIQUE AUTO			
8	MATONDO KONDE	MECANIQUE AUTO			
9	NSINGA KIMFLUTA	ELECTROTECHNIQUE			
10	BEWA LUTETE	ELECTROTECHNIQUE			
11	NDOMBA SITA KINA	ELECTROTECHNIQUE			
12	MOPERI M'FAMBALI	ELECTROTECHNIQUE			
13	NLANDU A MAMBU	ELECTROTECHNIQUE			
14	KUNDA WELO	ELECTRONIQUE			

## Formation de restitution de Kinshasa Du 05/05 au 28/06/2011



## Formation de restitution au Bas Congo (Boma) du 13 au 24/06/2011





#### 4. Elaboration du programme national de formation en tronc commun version INPP



#### Formation de diffusion du tronc commun Phase 1 du 16/07 au 10/08/2012



#### 5. Formation de diffusion du tronc commun Phase 1 du 16/07 au 10/08/2012

N°	NOMS	SERVICE	INSTRUCTEUR	LIEU	PERIODE
1	BONGO BASSA	MOTORISATION KINSHASA	DIMBU MUKINSIONA	INPP KINSHASA	DU 16/07 AU 10/08/2012
2	PAMBU PANZU	MOTORISATION KINSHASA	MBIYA MUKANIA		
3	NSIMO IYEWANZA	MECAGE KINSHASA	NTIKALA BIONGO		
4	NDUENGISA MUNZELE	MECAGE KINSHASA	LUTONDO LUKIESE		
5	KUSA KUTOU	TOLERIE ET SOUDURE KINSHASA	NTAMBWE MPIANA		
6	KIKUENA DIETA	ELECTRICITE KINSHASA	KALALA MWADIA MVITA		
7	MWAMBA	ELECTRICITE KINSHASA	MAKOMBO MATA		
8	KIMUNTU SI SING	ELECTRONIQUE KINSHASA	NSONI MANSANGA		
9	MUKENDI KAPUSU	ELECTRONIQUE KINSHASA	MBONGO LOKOLE		
10	MIZIAMO MOPATIBI	CONTRÔLE AUTOMOBILE KINSHASA	TSHIBAMBE NYENGEIE		
			TETE MBONDA		
			MONSEVINYA ALBERT		
			NGONGO KASHISHA		
			LUBWIKA NZEMBELENGE		

#### 6. Formation de diffusion du tronc commun Phase 2 du 01 au 26/10/2012

N°	NOMS	SERVICE	INSTRUCTEUR	LIEU	PERIODE
1	MPENDA KIBUMBU	AT DIPRO LUBUMBASHI	DIMBU MUKINSIONA MBIYA MUKANIA NTIKALA BIONGO LUTONDO LUKIESE NTAMBWE MPIANA KALALA MWADIA MVITA MAKOMBO MATA NSONI MANSANGA MBONGO LOKOLE TSHIBAMBE NYENGEIE	INPP KINSHASA	DU 1/11 AU 26/10/2012
2	KASONGO SAIDI	MECAGE LUBUMBASHI			
3	TSHIMANGA TSHENDELA	ELECTRONIQUE MBUII MAYI			
4	MUAMBA DIBA	MOTORISATION GOMA			
5	MWANI KANYOLE	MECAGE BUKAVU			
6	EKAME MASENDU	MECAGE KISANGANI			
7	TITO MASHI	MOTORISATION MANIEMA			
8	NSINGA KIMFUTA	ELECTRICITE BOMA			
9	KALONJI MBIKAYI	TOLERIE SOUDURE KINSHASA			
10	NZOKO PALUKWA	MECAGE KIKWIT			

### Formation de diffusion du tronc commun phase 2 du 01 au 26/10/2012



### Formation de diffusion du tronc commun

Phase 3 du 05 au 30/11/2012



### 7. Formation de diffusion du tronc commun Phase 3 du 05 au 30/11/2012

N°	NOMS	SERVICE	INSTRUCTEUR	LIEU	PERIODE
1	KUUDRI BATAKU	CFCTA KINSHASA			
2	NGOMA NGOMA	BOMA			
3	KUNDA GBUWELO	BOMA	DIMBU MUKINSIONA		
4	TSHILO MAKIJILA	KATANGA	MBIYA MUKANIA		
5	KABWIKA KAMUANGA	KATANGA	NTIKALA BIONGO		
6	KASENDE MARIPAWA	KISANGANI	LUTONDO LUKIESE		
7	LUFWA MBASU	GOMA	NTAMBWE MPIANA		
8	BATUMIKE MULUMEODERHWA	BUKAVU	MAKOMBA MATA		
9	BEYA MUTOTO	MBUJI MAYI	NSONI MANSANGA		
10	KABOLO META	KIKWIT	MBONGO LOKOLE		
			TSHIBAMBE NYENGIE	INPP KINSHASA	Z10Z/11/0E NV 5 DU

### 8. Formation spécialisées de base avec l'appui DES EXPERTS DU CFPT À KINSHASA

Maîtres formateurs formés en Hydraulique et soudage TIG : 5

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DUREE
1	NTAMBWE MPIANA	TOLERIE SOUDURE				
2	NTIKALA BIONGO	MECAGE				
3	KALALA MWADIAMVITA	CFCTA	Hydraulique Soudage TIG	Mor PADANE Jean MANCORE		
4	DIMBU MUKINSIONA	MECAGE				
5	LUTONDO LUKIESE	MECAGE				
					INPP KINSHASA	Du 27/08 au 03/09/2012

## Formation spécialisées de base avec l'appui des experts du CFPT

Hydraulique



## Formation spécialisées de base avec l'appui des experts du CFPT



## 9. Formation spécialisées de base avec l'appui des experts du CFPT

Maîtres formateurs formés en Pneumatique et PLC : 6

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	LUBWIKI NZEMBELENGE	ELECTRONIQUE	Pneumatique Automatique (PLC)	Yoro BARRY Mor PADANE	INPP KINSHASA	Du 7/09 au 07/09/2012 (pneumatique) Du 18/09 au 22/09/2012 (soudage TIG)
2	NGONGO KASHISHA	ELECTRONIQUE				
3	MONSE VINYA NSANEMA	ELECTRONIQUE				
4	TSHIBAMBE NYENGIE	ELECTRICITE				
5	LUTONDO LUKIESE	MECAGE				
6	TETE MBONDA	ELECTRICITE				

## 10. Formation des maîtres formateurs en froid et climatisation au Japon

- Première phase : du 16/05 au 1/07/2011
- Deuxième phase : du 18/08 au 28/09/2012

## Formation des maîtres formateurs en froid et climatisation au Japon phase 1

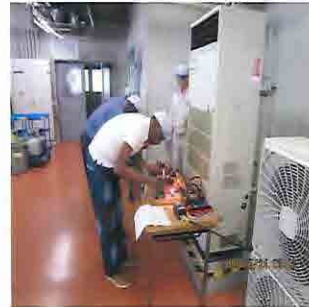
Maîtres formateurs formés en froid et climatisation : 5

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	MOKOMBA MATA	FROID ET CLIMATISATION			OSAKA / JAPON	Du 16 /05 au 1:07/2011
2	NKIALULENDO PONDA	FROID ET CLIMATISATION				
3	NSONI MANSANGA	FROID ET CLIMATISATION				
4	LEMA LUBANZADIO	FROID ET CLIMATISATION				
5	NGOMA NZITA	FROID ET CLIMATISATION				

- Démontage et remontage des compresseurs semi-industriels
- Démontage et remontage des compresseurs industriels



## Câblage des climatiseurs chez daikin



## Charge en fluide frigorigène d'une installation frigorifique industrielle



### Formation de restitution en froid et climatisation phase 1 : du 23/07 au 10/08/2012

N°	NOMS	ENTITE	FORMATEURS	LIEU	PERIODE
1	MBIKAYI NYEMBWE	KATANGA	MOKOMBA MATA LEMA LUBANZADIO NKIALULENDO PONDA NSONI MANSANGA NGOMA NZIITA	INPP KINSHASA	du 23/07 au 10/08/2012
2	NGONGO HUBERT	KATANGA			
3	NDOMBA EMMANUEL	BOMA			
4	NTOTO EHTIR	BOMA			
5	BEWA AUGUY	BOMA			
6	MOPERO M'FAMBALI	BOMA			
7	BAENDE BOMPATE	BOMA			
8	MUKENDI BEYA	MBUJI MAYI			
9	NDJIBU LOVE	MBUJI MAYI			
10	SAMULANGI EYOLANZI	KINSHASA			
11	MWANZA GIZENGA	KINSHASA			
12	KALOBO KABWIKA	KINSHASA			
13	NGWANGU INGALA	KINSHASA			
14	GAPUTU TAMBWE	KINSHASA			

### Formation des maîtres formateurs en froid et climatisation au Japon phase 2

Maîtres formateurs formés en froid et climatisation : 5

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	MOKOMBA MATA	FROID ET CLIMATISATION			OSAKA / JAPON	Du 18 /08 au 28/09/2012
2	NKIALULENDO PONDA	FROID ET CLIMATISATION				
3	NSONI MANSANGA	FROID ET CLIMATISATION				
4	LEMA LUBANZADIO	FROID ET CLIMATISATION				
5	NGOMA NZITA	FROID ET CLIMATISATION				

### Formation de restitution en froid et climatisation phase 1 : du 23/07 au 10/08/2012



### Formation des maîtres formateurs en froid et climatisation au Japon phase 2



## 11. Formation des maîtres formateurs en Motorisation par l'expert Japonais

- Première phase : du 23/01 au 15/03/2012
- Deuxième phase : du 23/07 au 17/09/2012

## Formation des maîtres formateurs en motorisation par l'expert Japonais phase 2 à Kinshasa

Maîtres formateurs formés en motorisation : 8

N°	NOMS	ENTITE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	EGBOLO MOSAU	KINSHASA			INPP / KINSHASA	Du 23/07 au 17/09/2012
2	MPOYI PIKALAKU	KINSHASA				
3	MBIYA MUKANIA	KINSHASA				
4	NKORMEN LASONG	KINSHASA				
5	KULE KIMINYA	KINSHASA		Syuma SEKI		
6	KAVUL MWAMBA	KATANGA				
7	NGUZI MPASI	BOMA				
8	DIASILUA MUMBETO	BOMA				

## Formation des maîtres formateurs en motorisation par l'expert Japonais phase 1 à Kinshasa

Maîtres formateurs formés en motorisation : 3

N°	NOMS	SERVICE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	EGBOLO MOSAU	MOTORISATION			INPP / KINSHASA	Du 23/01 au 15/03/2012
2	MPOYI PIKALAKU	MOTORISATION		Syuma SEKI		
3	MBIYA MUKANIA	MOTORISATION				

## Formation des maîtres formateurs en motorisation par l'expert Japonais à Kinshasa



### Formation des maîtres formateurs en motorisation au Japon phase 1

Maîtres formateurs formés en motorisation : 5

N°	NOMS	ENTITE	MODULE	FORMATEUR	LIEU	DURÉE
1	EGBOLO MOSAU	MOTORISATION			CHIBA / JAPON	Du 21/09 au 18/10/2012
2	MPOYI PIKALAKU	MOTORISATION				
3	MBIYA MUKANIA	MOTORISATION				
4	NGUZI MPASI	BOMA				
5	KAVUL MWAMB	KATANGA				

### 12. Formation des maîtres formateurs en pédagogie par l'expert Japonais à Kinshasa

- Première phase : du 4 au 28/04/2011
- Deuxième phase : du 27/10 au 17/11/2011
- Troisième phase : du 30/01 AU 15 /02/2012
- Quatrième phase : du 11/07 au 31/08/2012

### Formation des maîtres formateurs en motorisation au Japon phase 1

Du 21/09 au 18/10/2012



### Formation des maîtres formateurs en pédagogie par l'expert Japonais à Kinshasa

Maîtres formateurs formés en pédagogie : 7

N°	NOMS	ENTITE	FORMATEUR	LIEU	PERIODE
1	LUTETE MUFU	DIPRO KIN	UEDA	INPP KINSHASA	du 4 au 28/04/2011 du 27/10 au 17/11/2011 du 30/01 AU 15 /02/2012 11/07 au 31/08/2012
2	BOOTO WIYAMBE	DIPRO KIN			
3	MAVINGA WILA	DIPRO KIN			
4	IKAMBA BOLIKILI	DIPRO KIN			
5	BOLA IWULA	DIRECTION DES ETUDES			
6	MUKAMBU KANDOLO	INSPECTION TECHNIQUE / DG			
7	PAMBU NLANDU	DIPRO BAS CONGO			

## Formation de maitres formateurs en pédagogie à Kinshasa



## Formation de restitution en pédagogie du 29 /10 au 16/11/2012



## Formation de restitution en pédagogie phase 1 : du 29/10 au 16/11/2012

N°	NOMS	ENTITE	FORMATEURS	LIEU	PERIODE
1	MOKOMBA MATA	KINSHASA			
2	LEMA LUBANZADIO	KINSHASA	LUTETE MUFU	INPP KINSHASA	du 29/10 au 16/11/2012
3	KIALULENDO PONDA	KINSHASA	BOOTO WIYAMBE		
4	NSONI MANSANGA	KINSHASA	MAVINGA WILA		
5	TETE MBONDA	KINSHASA	IKAMBA BOLIKILI		
6	MWANGATAYI LUKUSA	KINSHASA	BOLA IWULA		
7	MONSEVINYA N'SANEMA	KINSHASA	MUKAMBU KANDOLO		
8	NTAMBWE MPIANA	KINSHASA	PAMBU NLANDU		
9	OFODIA ELANGA	KINSHASA	LUTETE MUFU		
10	LUTONDO LUKIESE	KINSHASA	BOOTO WIYAMBE		
			MAVINGA WILA		

## 13. Formation en 5 S

AVANT



APRES





## 14. Acquisition du matériel et équipements



## Fabrication des poubelles publique pour l'assainissement de la ville



## 15. Intervention dans les entreprises

Hôpital Marie Biamba

Ministère des affaires étrangères



## D. SYNTHÈSE GLOBALE DE L'INTERVENTION DE LA JICA A L'INPP

Avec le partenariat INPP-JICA la formation professionnelle est sensiblement renforcée :

- ❖ la partie congolaise dispose de 15 maîtres formateurs formés au Sénégal et en RDC en Tronc commun et techniques spécialisées de base, avec l'appui de la JICA;
- ❖ le Sénégal a déjà formé 7 formateurs dans le cadre des pays tiers dont 4 en électronique et 3 en mécanique;
- ❖ la partie Japonaise forme actuellement 5 maîtres formateurs en froid et climatisation et 5 maîtres formateurs en mécanique automobile au bénéfice de la RDC;
- ❖ actuellement la partie congolaise dispose de 7 maîtres formateurs en pédagogie formés par la partie japonaise;
- ❖ la RDC bénéficie de la présence régulière des experts japonais pour le suivi et la mise en œuvre du projet de renforcement des capacités;

- ❖ la partie japonaise continue à former les cadres et agents de l'INPP dans les domaines ci-après:
  - formation sur la gestion de la formation professionnelle (7)
  - formation sur l'amélioration de la formation professionnelle (6)
  - formation sur l'administration du développement des ressources humaines (2)
  - formation de la contrepartie sur la relation avec les entreprises et appui à l'appui (6)
  - formation des jeunes leaders (6)
- ❖ l'INPP dispose d'équipement modernes de formation en froid et climatisation et en mécanique auto fournis par la JICA.

• Merci pour votre bonne attention

